

「第三期大竹市子ども・子育て支援事業計画」
策定に係るニーズ調査結果報告書

令和6年3月

和可奈エンジニアリング株式会社

目次

1 章 ニーズ調査の概要	1
1. ニーズ調査の概要	1
2 章 集計結果	2
1. 就学前児童	2
1-1 居住地域について	2
1-2 子どもと家族の状況について	2
1-3 子育てをめぐる環境について	4
1-4 母親・父親の就労状況について	6
1-5 平日の「定期的な教育・保育事業」の利用状況について	12
1-6 地域子育て支援拠点事業の利用状況について	17
1-7 土曜・休日や長期休暇の「定期的な教育・保育事業」の利用希望について	20
1-8 子どもの病気の際の対応について	22
1-9 不定期の預かり事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について	24
1-10 子育ての悩みや相談先などについて	28
1-11 子育て施策全般について	31
2. 小学生児童	42
2-1 居住地域について	42
2-2 子どもと家族の状況について	42
2-3 子育てをめぐる環境について	44
2-4 母親・父親の就労状況について	46
2-5 放課後児童クラブなどの子育て支援サービスの利用について	54
2-6 子どもの病気の際の対応について	64
2-7 子育ての悩みや相談先などについて	66
2-8 子育て施策全般について	69
3 章 自由記述	80
1. 就学前児童	80
1-1 その他意見	80
1-2 自由記述	86
2. 小学生児童	100
2-1 その他意見	100
2-2 自由記述	106

1章 ニーズ調査の概要

1. ニーズ調査の概要

「第三期大竹市子ども・子育て支援事業計画」（2025～2029 年度）を策定するにあたり、市民の皆様の子育てに関する事業の利用状況や今後の利用意向等を把握するため、本調査を実施いたしました。

《ニーズ調査の概要》

対象者	● 就学前児童が属する 800 世帯 ● 小学生児童が属する 800 世帯 ※無作為抽出による
調査方法	● 調査票の郵送配布・郵送回収 ● WEB アンケート(Google フォームを使用)
調査期間	● 令和 6 年 1 月 16 日～1 月 31 日
有効回収率	● 配布数 1,600 件(就学前児童 800 人、小学生児童 800 人) ● 有効回収数 871 件(就学前児童 429 人、小学生児童 442 人) (郵送回答 555 件、WEB 回答 316 件) ● 有効回収率 54.4%(就学前児童 53.6%、小学生児童 55.3%) (郵送回答 34.7%、WEB 回答 19.8%)

※ニーズ調査結果の割合は、小数点第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない箇所があります。

※グラフ・表中の「n」はアンケートの有効回収数を示しています。

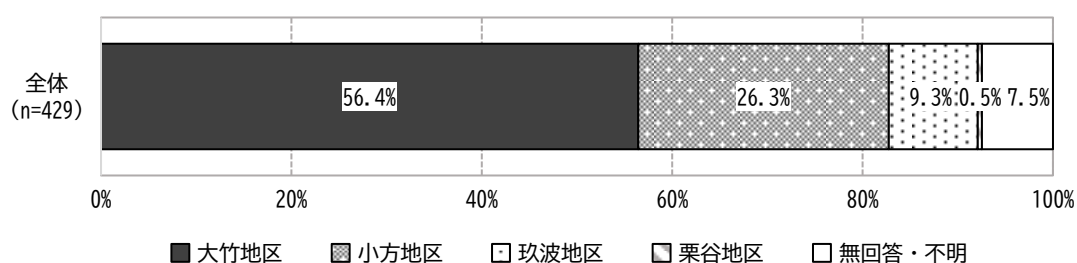
2章 集計結果

1. 就学前児童

1-1 居住地域について

問1 居住地域はどこか

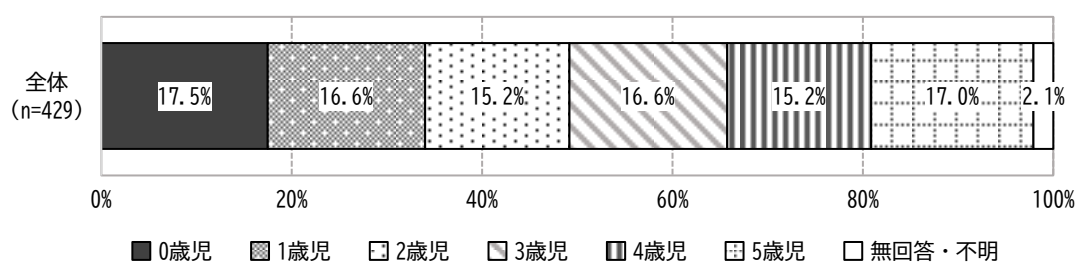
居住地域は、「大竹地区」が56.4%と最も高く、次いで「小方地区」(26.3%)、「玖波地区」(9.3%)、「栗谷地区」(0.5%)が続いています。



1-2 子どもと家族の状況について

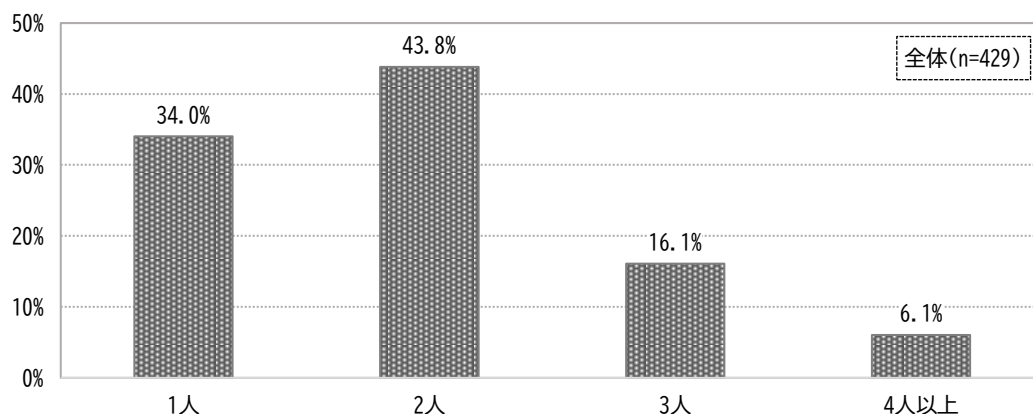
問2 子どもの年齢区分

子どもの年齢は、「0歳児」が17.5%と最も多く、以下「5歳児」(17.0%)、「1歳児」・「3歳児」(ともに16.6%)、「2歳児」・「4歳児」(ともに15.2%)の順となっています。



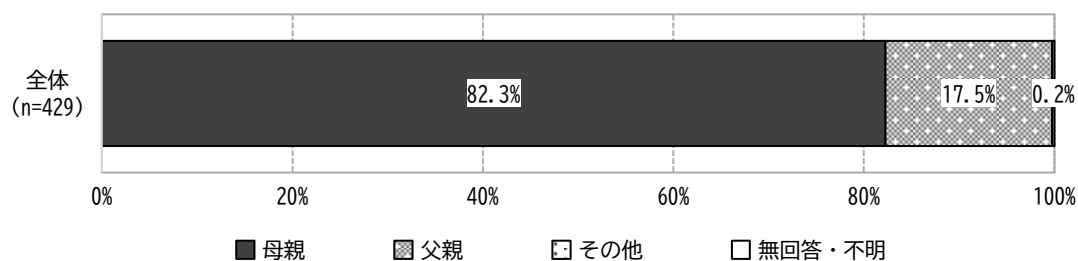
問3 子どもの人数

子どもの人数は、「2人」が43.8%と最も多く、次いで「1人」(34.0%)、「3人」(16.1%)、「4人以上」(6.1%)の順となっています。



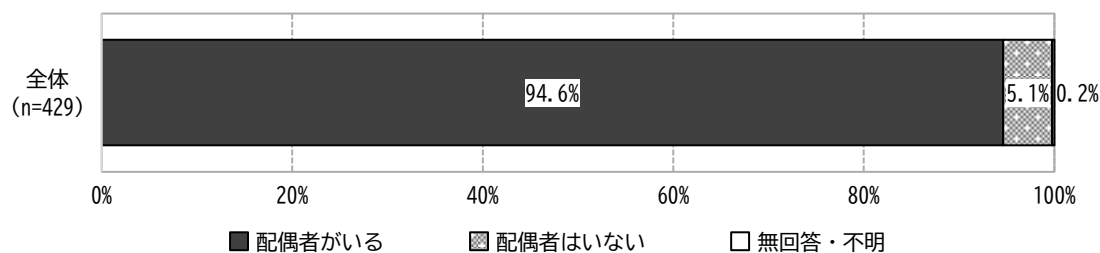
問4 回答者はどなたか

この調査の回答者は、「母親」が82.3%、「父親」が17.5%、「その他」が0.2%となっています。



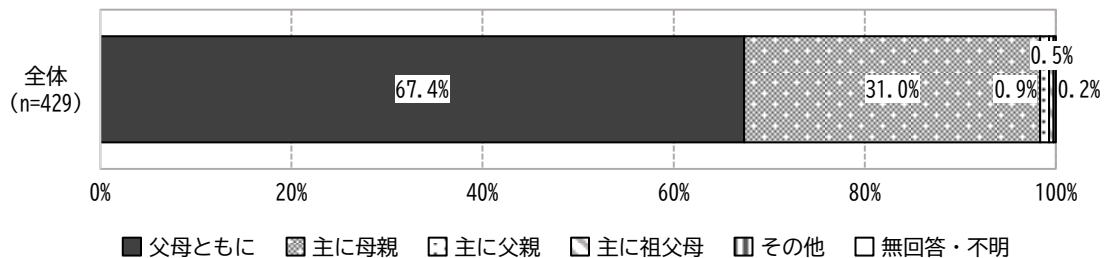
問5 回答者の配偶関係

回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が94.6%、「配偶者はいない」が5.1%となっています。



問6 子どもの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたか

子どもの子育てや教育を主に行っているのは、「父母ともに」が67.4%と最も多く、次いで「主に母親」（31.0%）、「主に父親」（0.9%）、「主に祖父母」（0.5%）の順となっています。

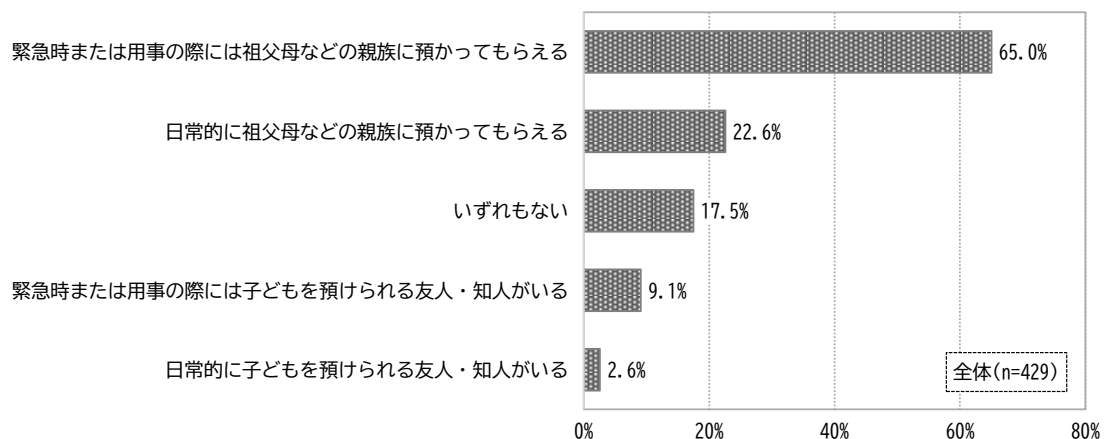


1-3 子育てをめぐる環境について

問7 日頃、子どもを預かってもらえる人がいるか【MA】

子どもを預かってもらえる人の有無は、「緊急時または用事の際には祖父母などの親族に預かってもらえる」が最も多く、7割近くに上っています。次いで「日常的に祖父母などの親族に預かってもらえる」(22.6%)、「緊急時または用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」(9.1%)、「日常的に子供を預けられる友人・知人がいる」(2.6%)が続いています。

一方、「いずれもない」と回答した人の割合は2割弱となっています。

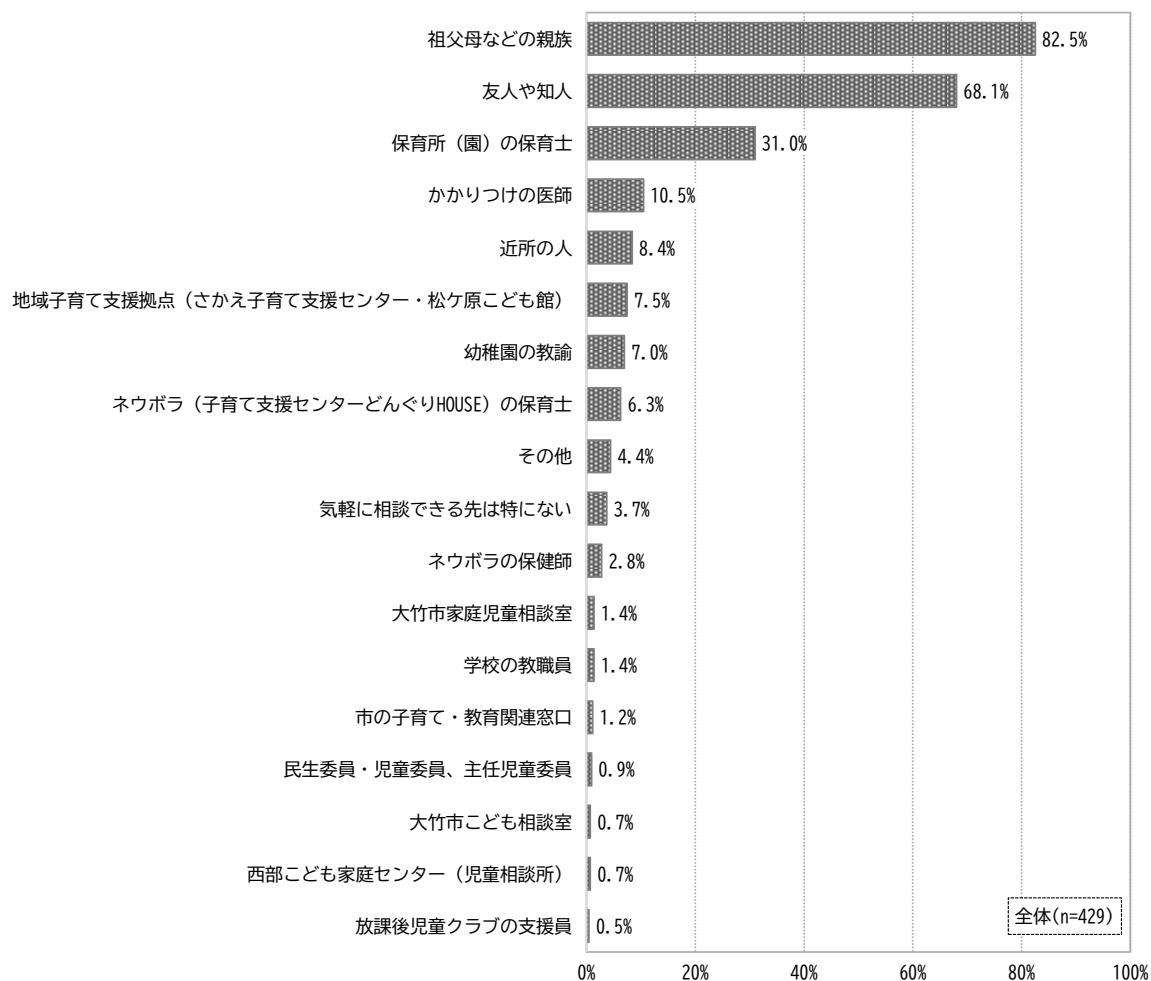


※MA：マルチアンサーの略。1つの設問に対して、該当する回答を複数選択することができる回答形式。

問8 子どもの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）か【MA】

子どもの子育てや教育に関して気軽に相談できる人や場所は、「祖父母などの親族」が82.5%と最も多く、次いで「友人や知人」（68.1%）、「保育所（園）の保育士」（31.0%）、「かかりつけの医師」（10.5%）が続いています。

一方、「気軽に相談できる先は特にない」と回答された方は3.7%となっています。

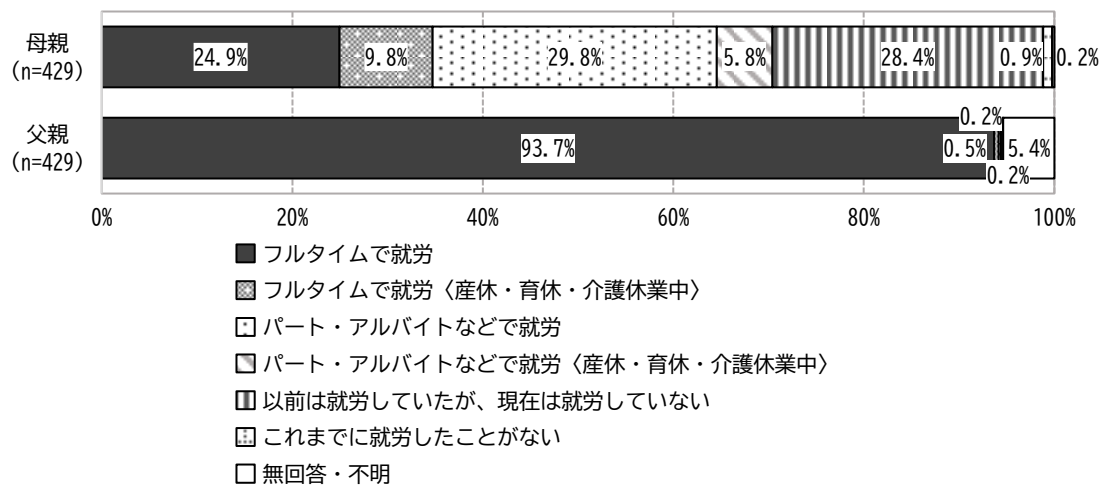


1-4 母親・父親の就労状況について

問 9 及び 問 10 母親・父親の現在の就労状況

母親の就労状況は、「パート・アルバイトなどで就労」が 29.8%と最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」(28.4%)、「フルタイムで就労」(24.9%)が続いています。

父親の就労状況は、「フルタイムで就労」が 93.7%と最も多く、次いで「フルタイムで就労<産休・育休・介護休業中>」(0.5%)、「パート・アルバイトなどで就労」、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(ともに 0.2%)が続いています。



<前回調査との比較>

母親の場合、「フルタイムで就労」、「パート・アルバイトなどで就労<産休・育休・介護休業中>」の人の割合が、前回調査時より増加しています。

表「母親の就労状況」の比較

回答	前回	今回
フルタイムで就労	18.8%	24.9%
フルタイムで就労<産休・育休・介護休業中>	9.0%	9.8%
パート・アルバイトなどで就労	28.5%	29.8%
パート・アルバイトなどで就労<産休・育休・介護休業中>	1.6%	5.8%
以前は就労していたが、現在は就労していない	39.4%	28.4%
これまでに就労したことがない	1.6%	0.9%

<前回調査との比較>

父親の場合、「フルタイムで就労」の人の割合が、前回調査時より増加しています。「フルタイムで就労〈産休・育休・介護休業中〉」、「パート・アルバイトなどで就労〈産休・育休・介護休業中〉」の人の割合も、前回調査時より若干増加しています。

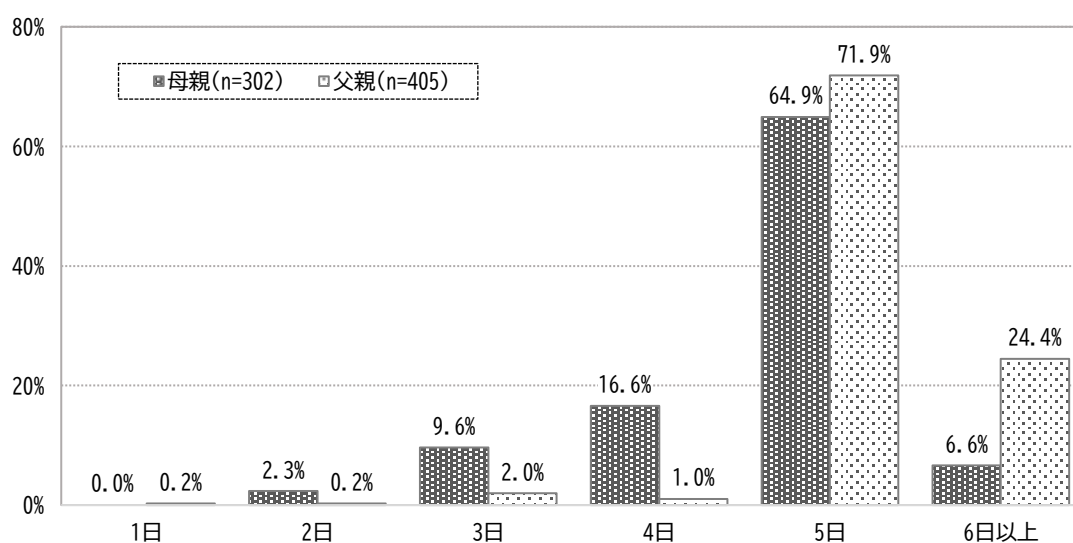
表「父親の就労状況」の比較

回答	前回	今回
フルタイムで就労	89.8%	93.7%
フルタイムで就労〈産休・育休・介護休業中〉	-	0.5%
パート・アルバイトなどで就労	0.2%	0.2%
パート・アルバイトなどで就労〈産休・育休・介護休業中〉	-	0.2%
以前は就労していたが、現在は就労していない	0.2%	-
これまでに就労したことがない	-	-
無回答・不明	9.8%	5.4%

問9（1）及び問10（1） 就労している方の1週当たりの就労日数

母親の1週当たりの就労日数は、「5日」で64.9%と最も多く、次いで「4日」（16.6%）、3日（9.6%）が続いています。

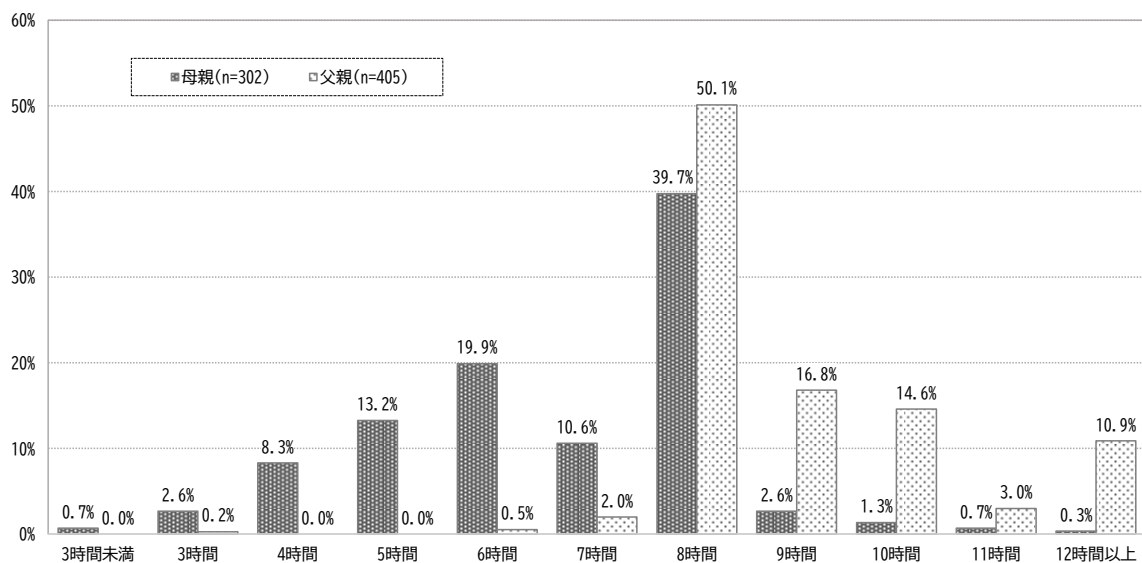
父親の1週当たりの就労日数は、「5日」が71.9%と最も多く、次いで「6日以上」（24.4%）、「3日」（2.0%）が続いています。



問9（1）及び問10（1） 就労している方の1日当たりの就労時間

母親の1日当たりの就労時間は、「8時間」が39.7%と最も多くなっています。次いで「6時間」（19.9%）、「5時間」（13.2%）が続いています。

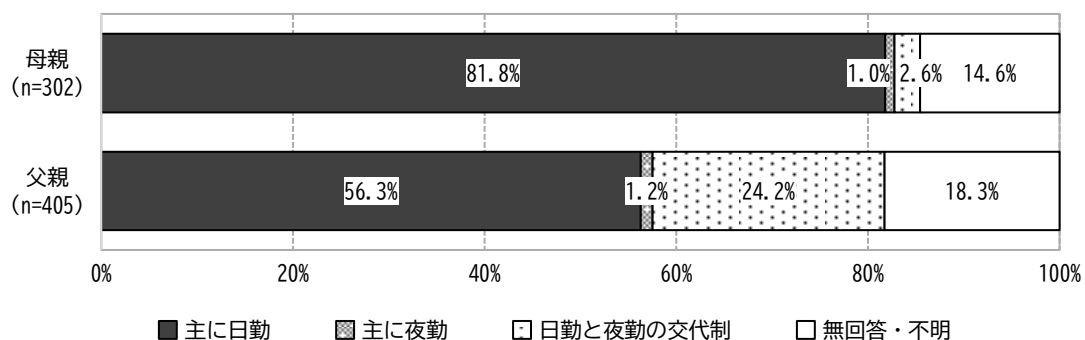
父親の1日当たりの就労時間は、「8時間」が50.1%と最も多くなっています。次いで「9時間」（16.8%）、「10時間」（14.6%）が続いています。



問9（1）及び問10（1） 就労している方の勤務時間帯

母親の勤務時間帯は「主に日勤」が81.8%、次いで「日勤と夜勤の交代制」（2.6%）、「主に夜勤」（1.0%）が続いています。

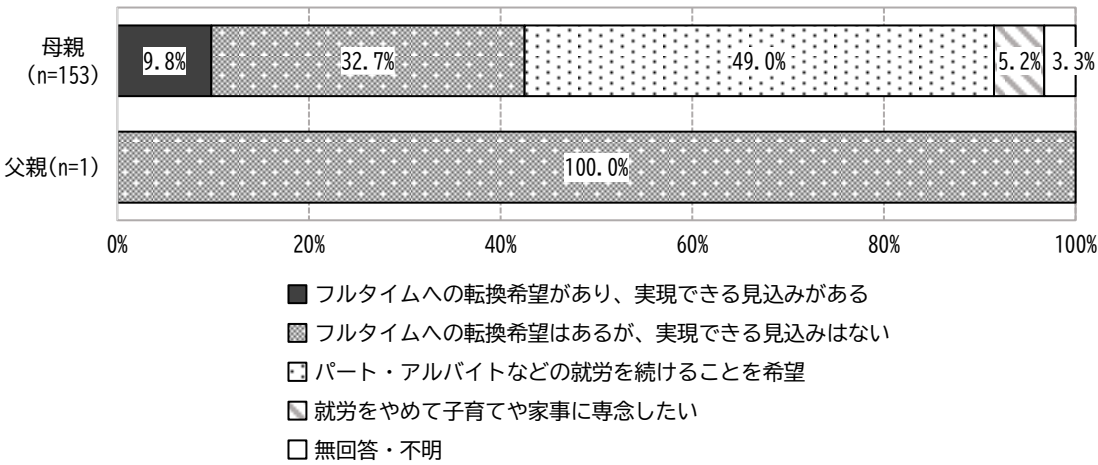
父親の勤務時間帯は、「主に日勤」が56.3%、次いで「日勤と夜勤の交代制」（24.2%）、「主に夜勤」（1.2%）が続いています。



問9（2）及び問10（2） パート・アルバイトなどで就労している方のフルタイムへの転換希望

パート・アルバイトなどで就労している人のフルタイムへの転換希望は、母親は「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望」が最も多く、約半数が現在の就労形態の継続を希望しています。フルタイムへの転換希望は42.5%で、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が9.8%である一方、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が32.7%に上っています。

父親は、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と1人が回答しています。



※父親はサンプル数が少ないため留意が必要。

< 前回調査との比較 >

「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」人の割合が、前回調査時より増加しています。

表「パート・アルバイト等からフルタイムへの転換希望」の比較

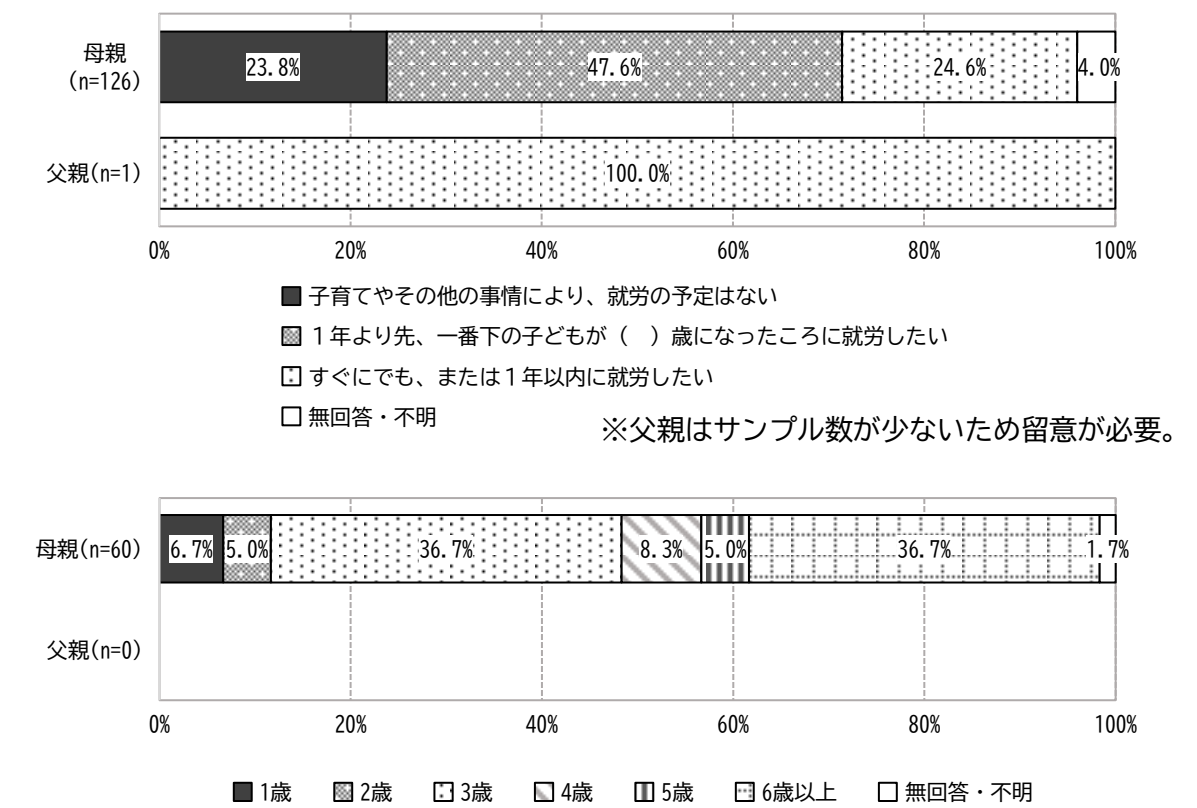
回答	前回	今回
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	12.3%	9.8%
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	21.5%	32.7%
パート・アルバイトなどでの就労を続けることを希望	56.2%	49.0%
就労をやめて子育てや家事に専念したい	5.4%	5.2%

問9（3）及び問10（3） 就労していない方の就労希望

現在就労していない人の今後の就労希望は、母親は「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったら就労したい」が47.6%と最も多く、約半数を占めています。次いで「すぐにでも、または1年以内に就労したい」(24.6%)、「子育てやその他の事情により、就労の予定はない」(23.8%)と続いています。

希望する就労時期の末子の年齢は、「3歳」・「6歳以上」（ともに36.7%）が最も多く、次いで「4歳」(8.3%)、「1歳」(6.7%)の順となっています。

現在就労していない父親の今後の就労希望は、「すぐにでも、または1年以内に就労したい」と1人が回答しています。



<前回調査との比較>

母親の場合、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」人の割合が、前回調査時より増加しています。

表「就労していない人の就労希望」の比較

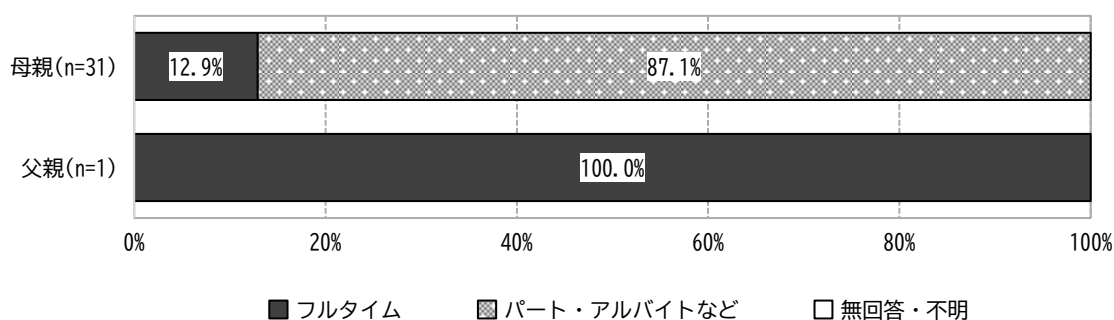
回答	前回	今回
子育てやその他の事情により、就労の予定はない	24.3%	23.8%
1年よりも先、一番下の子どもが（ ）歳になったら就労したい	43.5%	47.6%
すぐにでも、または1年以内に就労したい	20.9%	24.6%
無回答・不明	11.3%	4.0%

問9（3）及び問10（3） 「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方の希望する就労形態

母親の希望する就労形態は、「パート・アルバイトなど」が87.1%と最も多く、次いでフルタイムが12.9%となっています。父親は「フルタイム」と1人が回答しています。

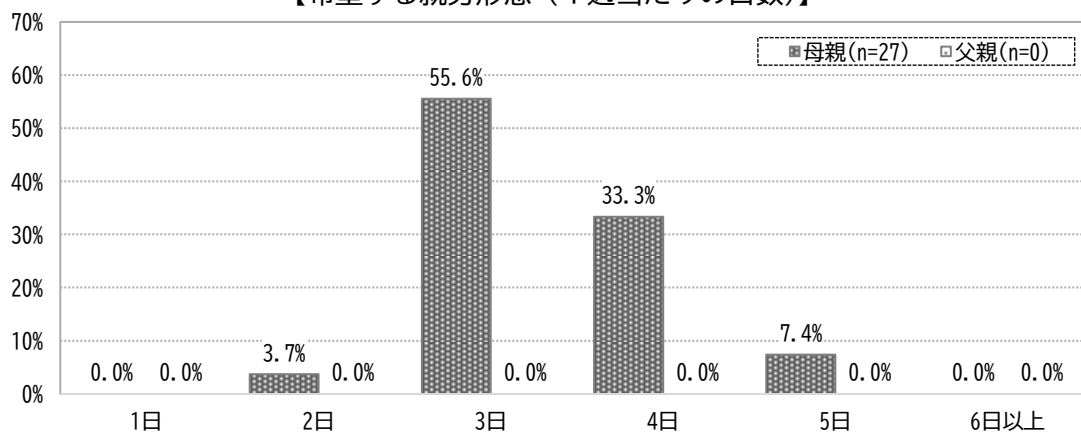
1週当たりの希望就労日数は、母親は「3日」が55.6%と最も多く、次いで「4日」(33.3%)、「5日」(7.4%)の順となっています。

1日当たりの希望就労時間は、母親は「4時間」が44.4%と最も多く、次いで「5時間」(37.0%)、「6時間」(14.8%)が続いています。

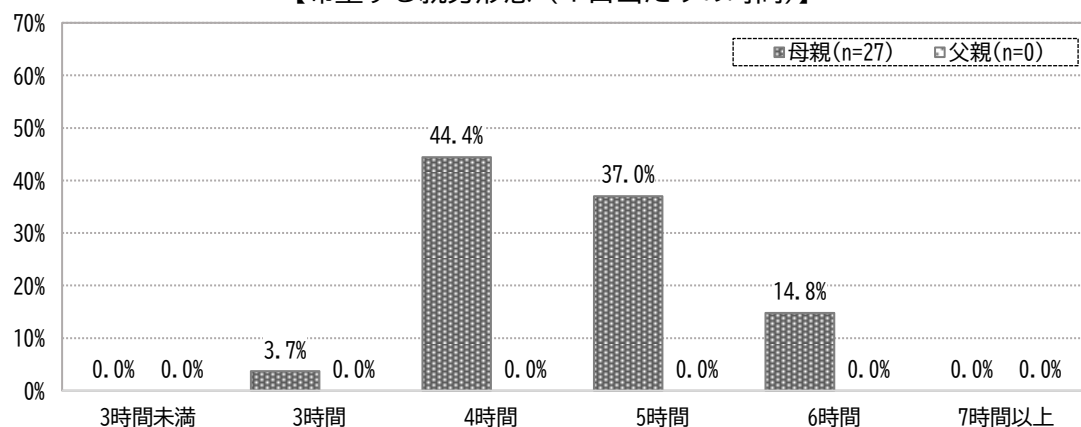


※父親はサンプル数が少ないため留意が必要。

【希望する就労形態（1週当たりの日数）】



【希望する就労形態（1日当たりの時間）】

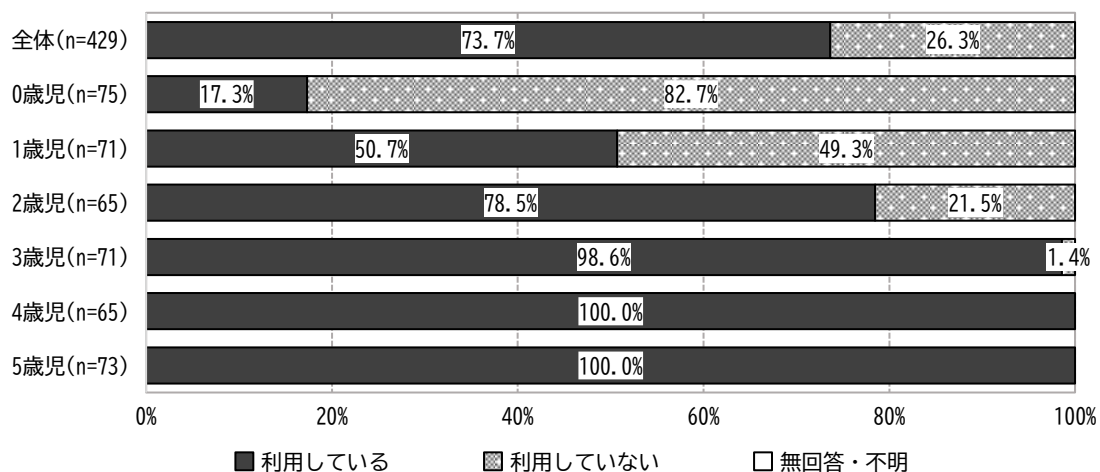


1-5 平日の「定期的な教育・保育事業」の利用状況について

問 11 現在、「定期的な教育・保育事業」を利用しているか

定期的な教育・保育事業の利用状況は、全体では「利用している」が 73.7%、「利用していない」が 26.3%となっています。

年齢別にみると、年齢が上がるごとに「利用している」が多くなっており、「3歳児」で 98.6%、「4歳児」と「5歳児」は 100.0%となっています。



< 前回調査との比較 >

「利用している」人の割合が、前回調査時より増加しています。

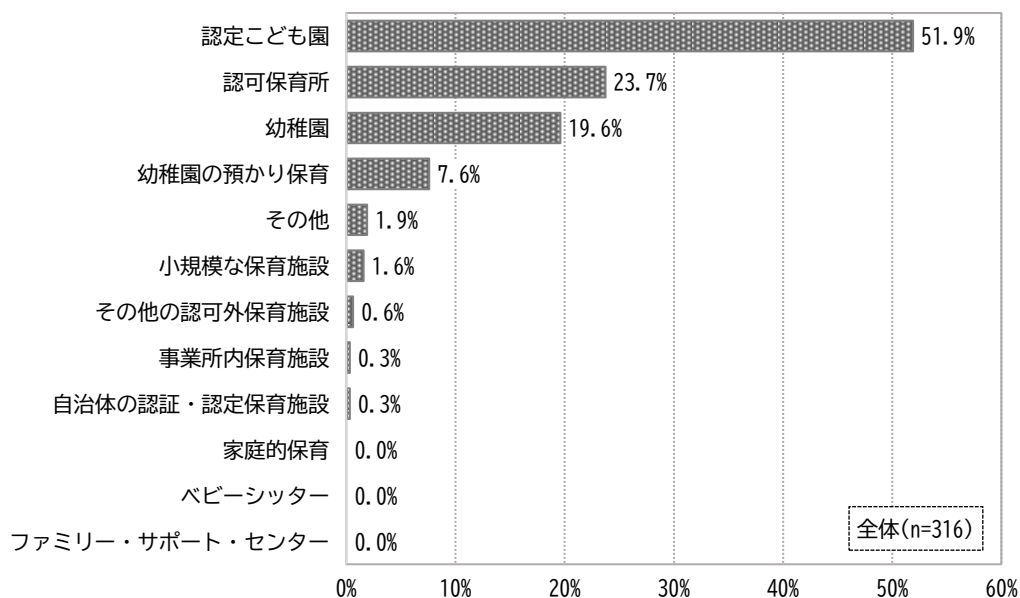
表「定期的な教育・保育事業の利用状況」の比較

回答	前回	今回
利用している	66.6%	73.7%
利用していない	33.2%	26.3%
無回答・不明	0.2%	0.0%

※問 11 で「1.利用している」と回答した方

問 11-1 平日どのような「定期的な教育・保育事業」を利用しているか【MA】

定期的にご利用している教育・保育事業は、「認定こども園」が 51.9%と最も高く、次いで「認可保育所」(23.7%)、「幼稚園」(19.6%)の順となっています。



※問 12 で「1.利用している」と回答した方

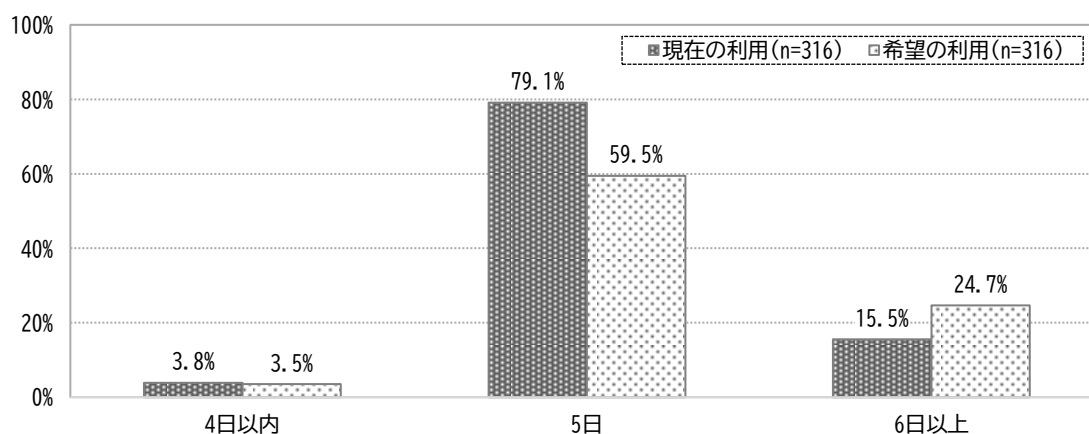
問 11-2 平日に利用している「定期的な教育・保育事業」について、どのくらい利用しているか。また、希望はどのくらい利用したいか

定期的に利用している教育・保育事業について、1 週当たりの利用日数は「5 日」が現在で 79.1%、希望で 59.5%と最も多くなっています。次いで、「6 日以上」が現在で 15.5%、希望で 24.7%と利用希望が現在の利用状況を上回っています。

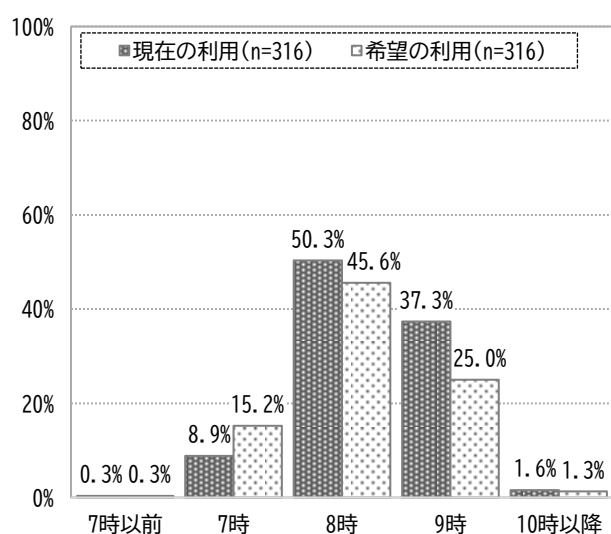
利用開始時刻は「8 時」が現在で 50.3%、希望で 45.6%と最も多くなっています。

利用終了時刻は、「16 時以前」が現在で 46.5%、希望で 28.2%と最も多くなっています。ただし、希望の利用終了時刻は「16 時以前」、「17 時」、「18 時」で大きな差はありません。

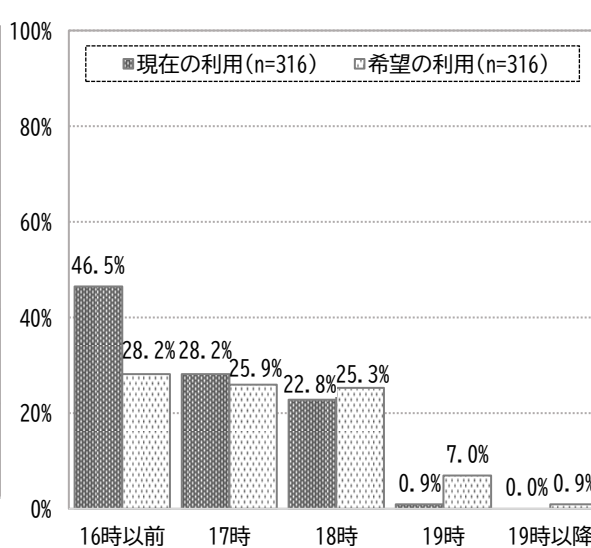
【1 週当たりの利用日数】



【利用開始時刻】



【利用終了時刻】

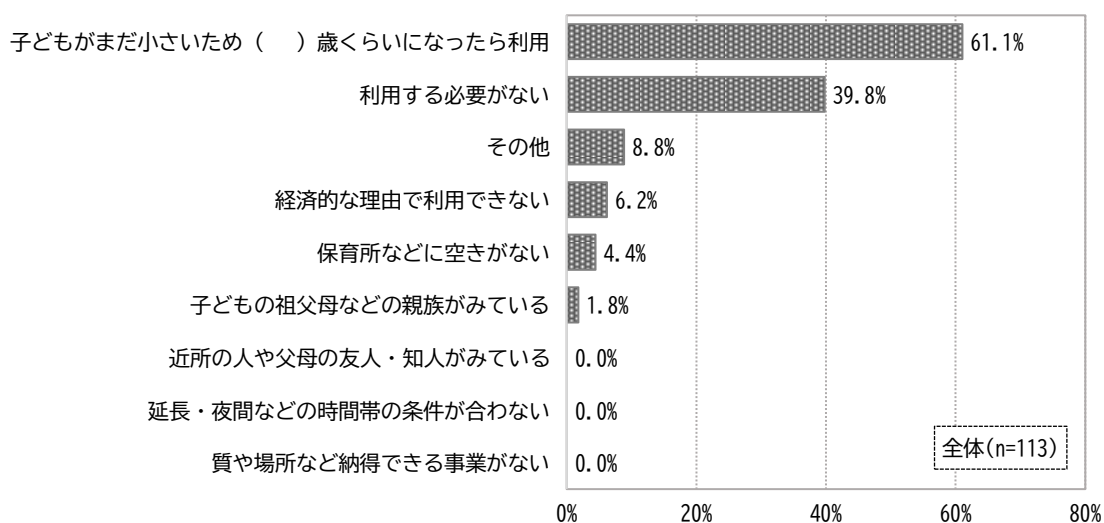


※問 11 で「2.利用していない」と回答した方

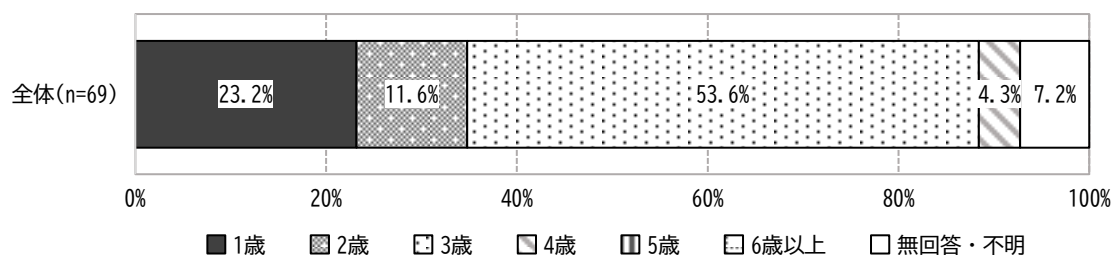
問 11-3 平日に「定期的な教育・保育事業」を利用していない理由【MA】

定期的な教育・保育事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用」が 61.1%と最も高く、次いで「利用する必要がない」(39.8%)、「その他」(8.8%)、「経済的な理由で利用できない」(6.2%)と続いています。

事業の利用を希望する子どもの年齢は、「3 歳」が 53.6%と最も多く、次いで「1 歳」(23.2%)、「2 歳」(11.6%)の順となっています。

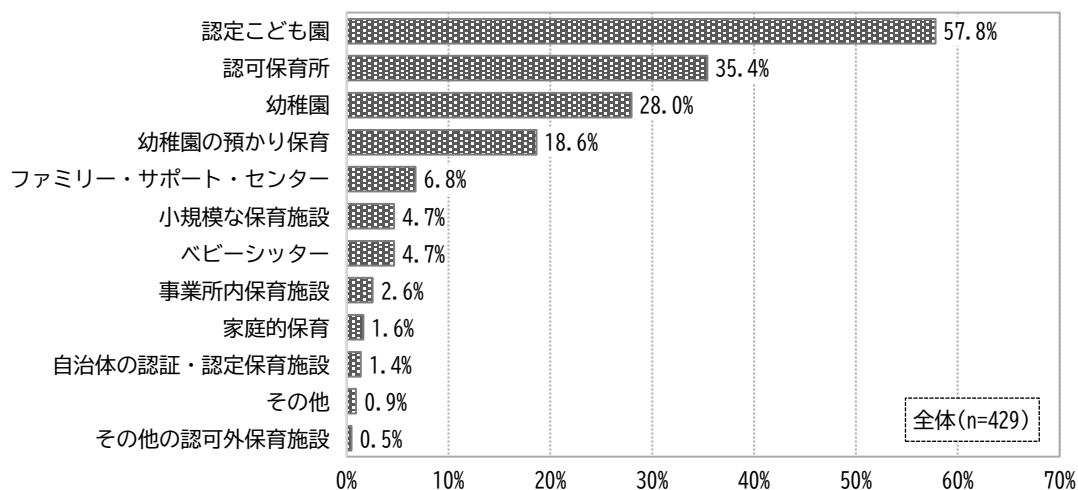


【何歳くらいになったら利用したいか】



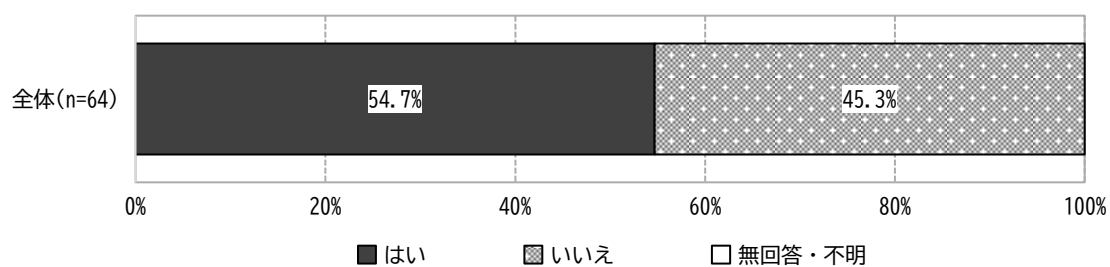
問 12 平日に「定期的に利用したい」と考える事業【MA】

定期的に利用したい教育・保育事業は、「認定こども園」が 57.8%と最も多く、次いで「認定保育所」(35.4%)、「幼稚園」(28.0%)、「幼稚園の預かり保育」(18.6%)と続いています。



※問 12 で「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」を選び、かつ、そのほかにも○をつけた方
問 12-1 特に幼稚園の利用を強く希望するか

幼稚園利用への強い希望の有無は、「はい」が 54.7%、「いいえ」が 45.3%となっています。



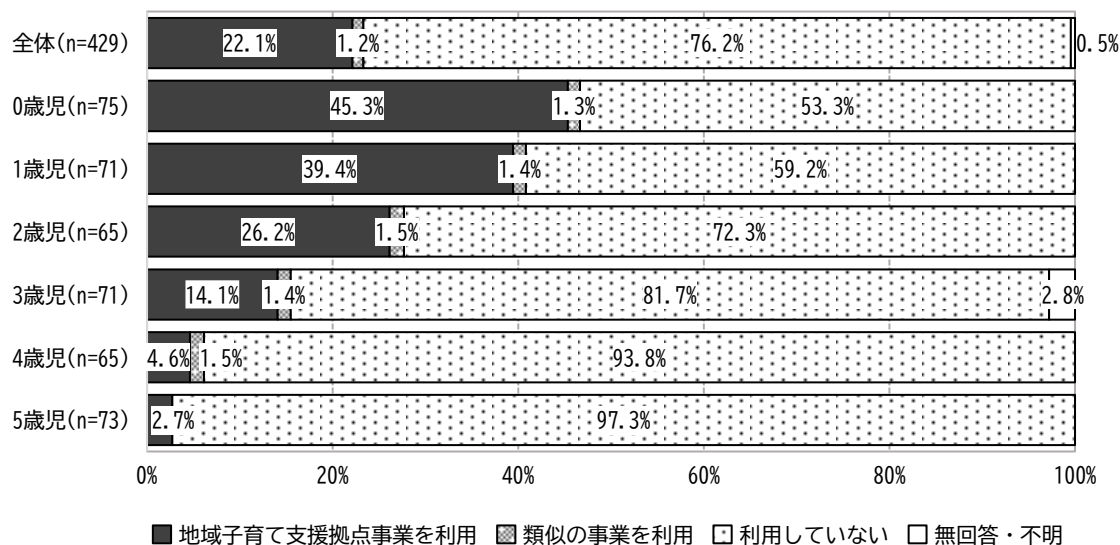
1-6 地域子育て支援拠点事業の利用状況について

問 13 現在の地域子育て支援事業の利用状況

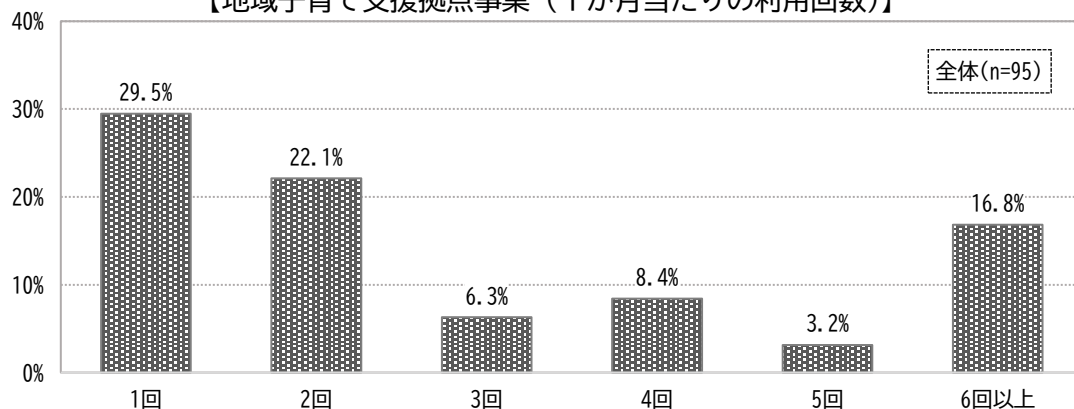
地域子育て支援拠点事業の利用状況は、全体では「利用していない」が76.2%と最も多く、次いで「地域子育て支援拠点事業を利用」(22.1%)となっています。

年齢別にみると、0歳児の利用が45.3%と最も多くなっています。年齢が高いほど利用率は減少しており、4歳児以降は1割未満となっています。

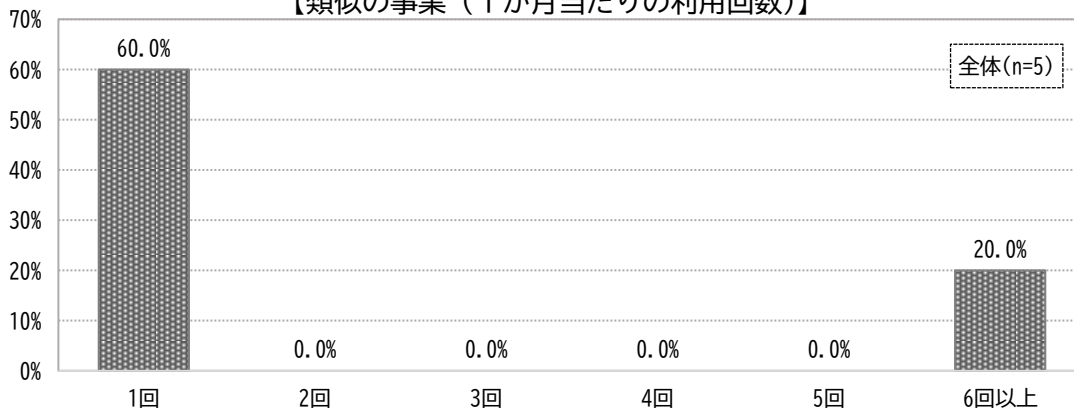
1か月当たりの利用回数は、「1回」が29.5%と最も多く、次いで「2回」(22.1%)、「6回以上」(16.8%)と続いています。



【地域子育て支援拠点事業（1か月当たりの利用回数）】



【類似の事業（1か月当たりの利用回数）】

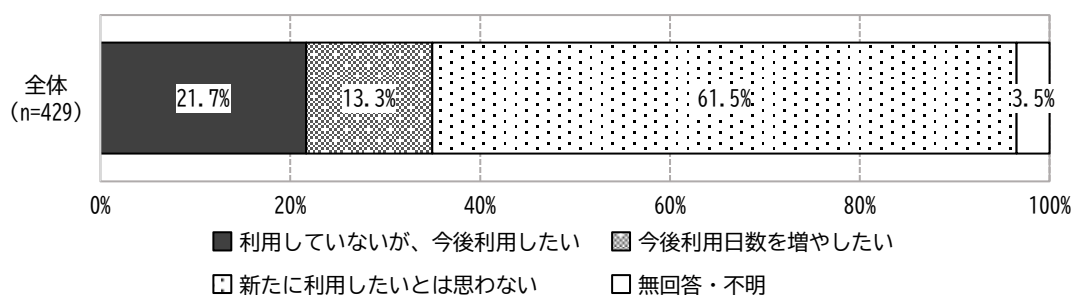


問 14 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向

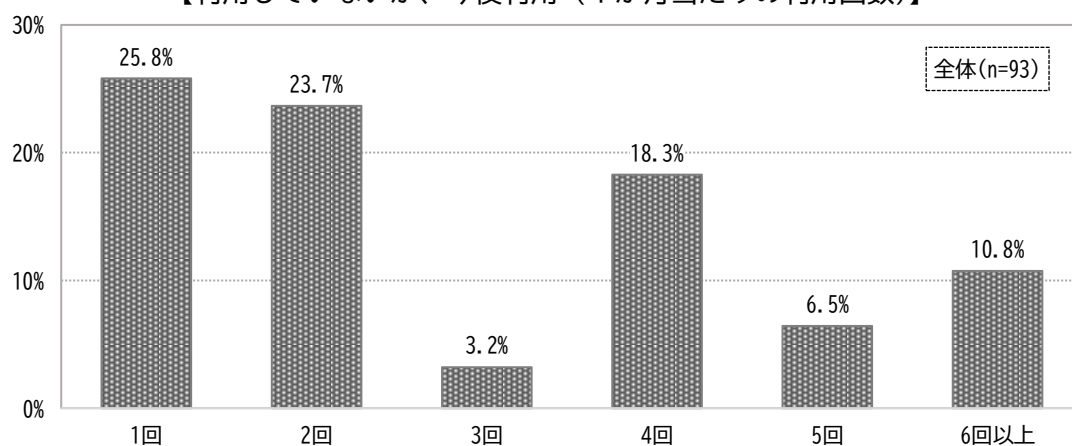
地域子育て支援拠点事業の利用意向は、「新たに利用したいとは思わない」が 61.5%と最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」(21.7%)、「今後利用日数を増やしたい」(13.3%)が続いています。

「利用していないが、今後利用したい」と回答された方について、1 か月あたりの利用希望回数は「1 回」(25.8%) が最も高く、次いで「2 回」(23.7%)、「4 回」(18.3%)が続いています。

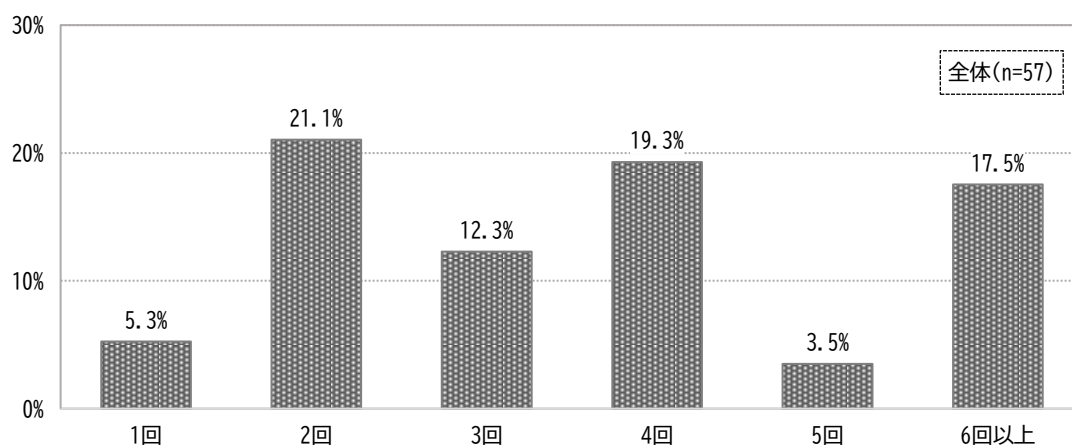
「今後利用日数を増やしたい」と回答された方について、1 か月あたりの利用希望回数は「2 回」(21.1%) が最も高く、「4 回」(19.3%)、「6 回以上」(17.5%)となっています。



【利用していないが、今後利用（1 か月あたりの利用回数）】



【今後、利用日数を増やしたい（1 か月あたりの利用回数）】



<前回調査との比較>

特に「今後利用日数を増やしたい」人の割合が、前回調査時より増加しています。

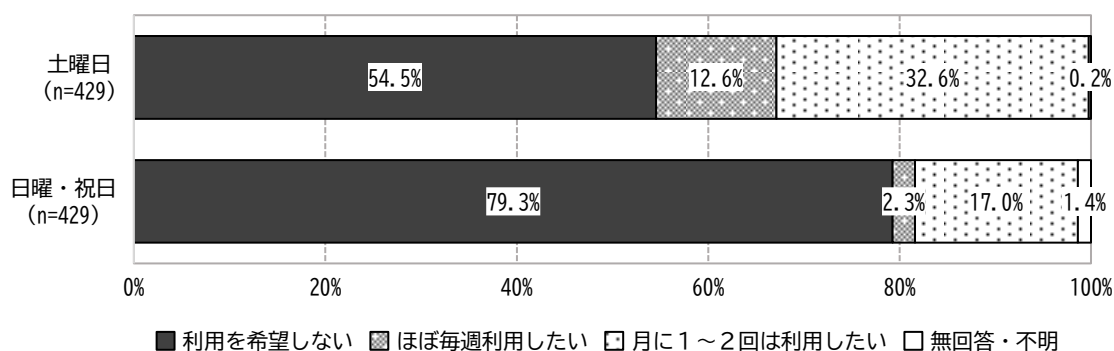
表「地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向の利用状況」の比較

回答	前回	今回
利用していないが、今後利用したい	20.0%	21.7%
今後利用日数を増やしたい	10.4%	13.3%
新たに利用したいとは思わない	60.1%	61.5%
無回答・不明	9.5%	3.5%

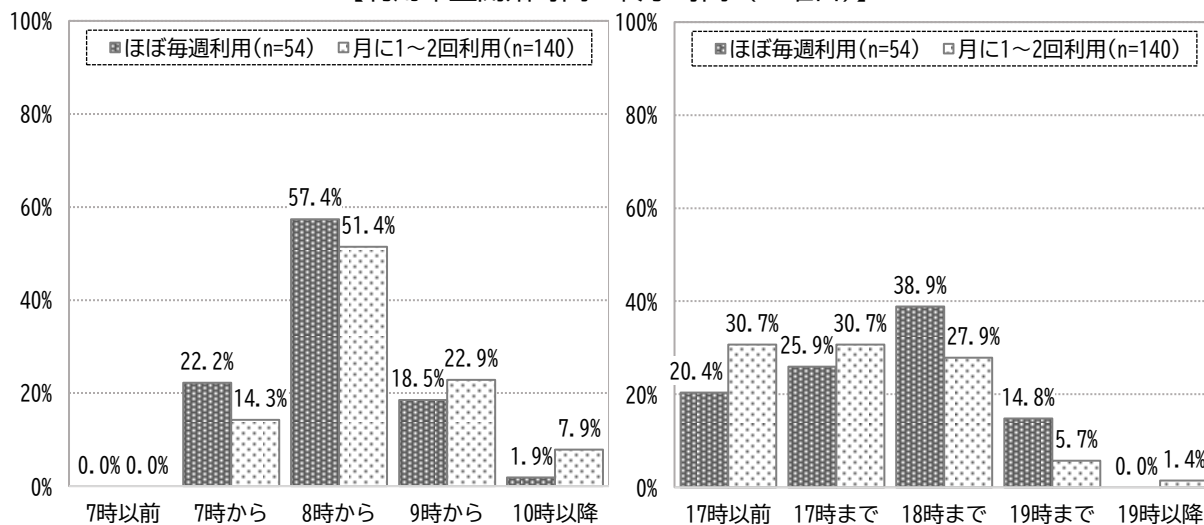
1-7 土曜・休日や長期休暇の「定期的な教育・保育事業」の利用希望について

問 15 土曜日、日曜日・祝日における「定期的な教育・保育事業」の利用希望

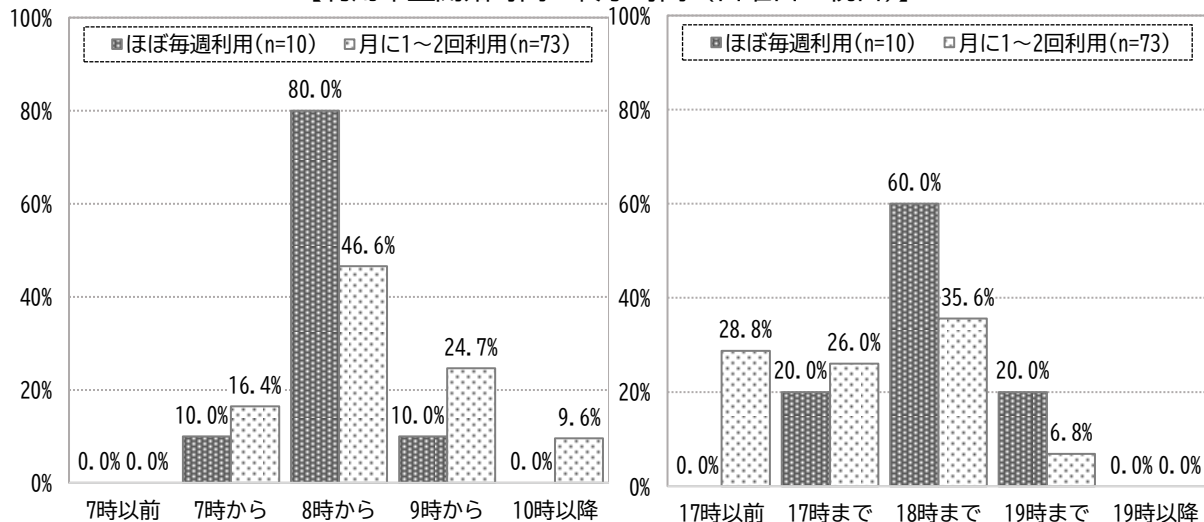
土曜日、日曜日、祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせた“利用したい”は、土曜日が45.2%、日曜・祝日で19.3%で、土曜日の利用希望が多くなっています。



【利用希望開始時間と終了時間（土曜日）】



【利用希望開始時間と終了時間（日曜日・祝日）】

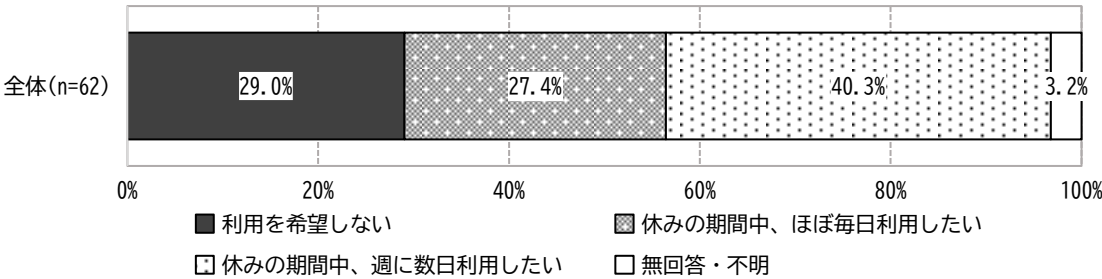


※「幼稚園」を利用している方

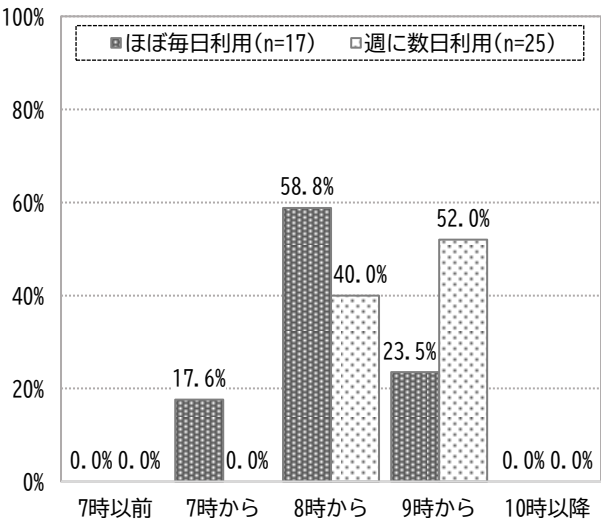
問 16 長期休暇期間中における「定期的な教育・保育事業」の利用希望

長期休暇期間中の定期的な教育・保育事業の利用希望は、“利用したい”が7割近くを占めています。利用希望のうち、「休みの期間中、週に数日利用したい」は40.3%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」は27.4%となっています。

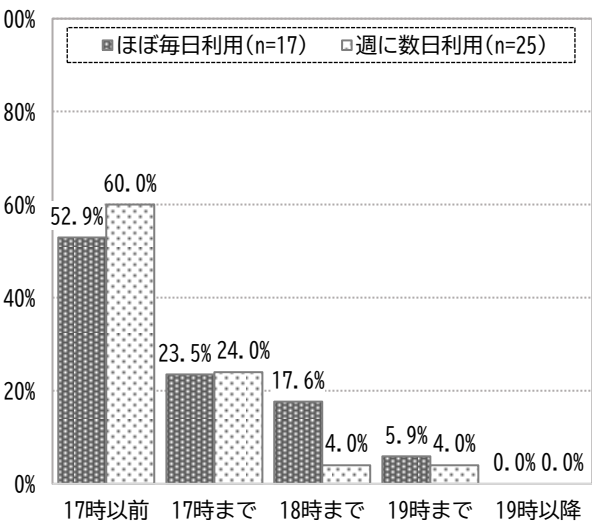
一方、「利用を希望しない」とする方も29.0%に上っています。



【利用希望開始時刻】



【利用希望終了時刻】

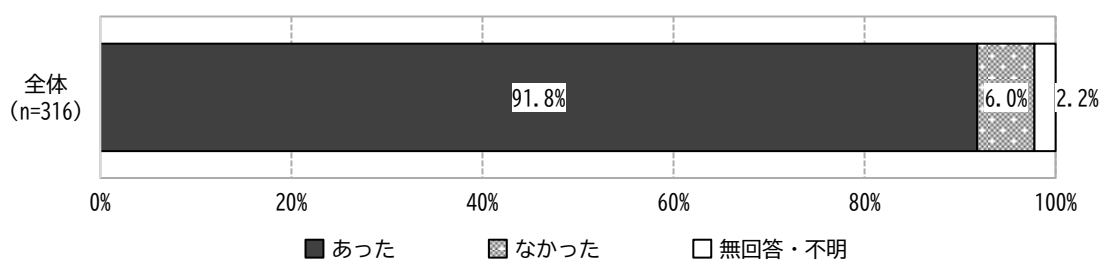


1-8 子どもの病気の際の対応について

※問 11 で「1.利用している」と回答した方

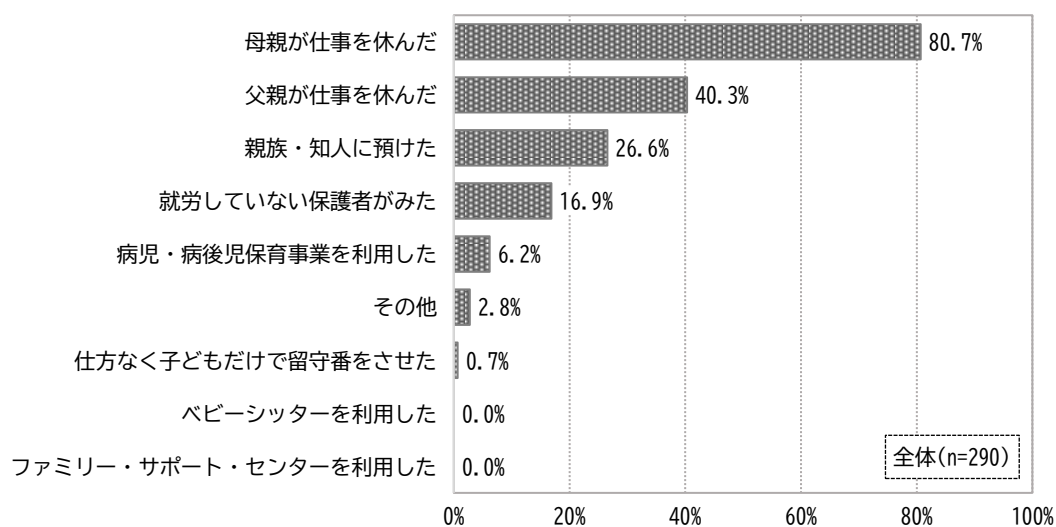
問 17 この1年間に、子どもが病気やけがで幼稚園や保育所を休まなければならなかったことがあったか

子どもが病気やけがで教育・保育事業が利用できなかったことの有無は、「あった」が 91.8%、「なかった」が 6.0%となっています。



問 17-1 子どもが病気やけがで幼稚園や保育所を休まなければならなかった時、この1年間に行った対処方法【MA】

子どもが教育・保育事業を利用できなかった時、この1年間に行った対処法は、「母親が仕事を休んだ」が 80.7%と最も多く、次いで「父親が仕事を休んだ」(40.3%)、「親族・知人に預けた」(26.6%)、「就労していない保護者がみた」(16.9%)となっています。



問 17-1 子どもが病気やけがで教育・保育の事業が利用できなかった時に、この1年間に
対処した日数

教育・保育事業を利用できなかった時に対処した日数（1年間）は、母親が仕事を休んだ日数は「10日以上」が58.1%、父親が仕事を休んだ日数は「5日」が24.8%で最も多くなっています。

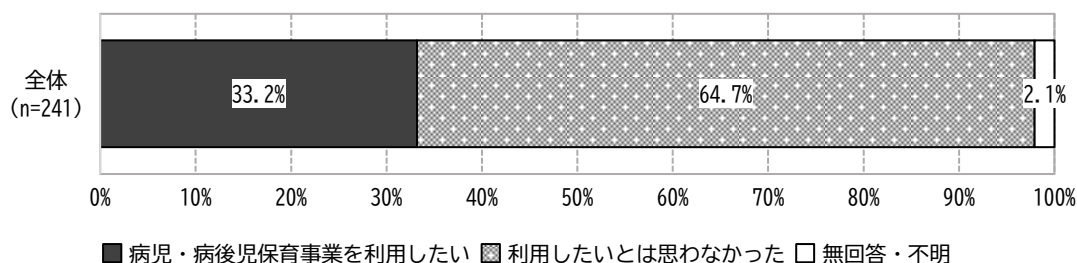
回答項目	全体(n=)	1日	2日	3日	4日	5日	6～9日	10日以上	無回答・不明
母親が仕事を休んだ	234	5 2.1%	8 3.4%	14 6.0%	5 2.1%	40 17.1%	22 9.4%	136 58.1%	4 1.7%
父親が仕事を休んだ	117	22 18.8%	20 17.1%	21 17.9%	1 0.9%	29 24.8%	6 5.1%	14 12.0%	4 3.4%
親族・知人に預けた	77	8 10.4%	14 18.2%	10 13.0%	1 1.3%	22 28.6%	6 7.8%	14 18.2%	2 2.6%
就労していない保護者が みだ	49	1 2.0%	6 12.2%	2 4.1%	1 2.0%	5 10.2%	4 8.2%	26 53.1%	4 8.2%
病児・病後児保育事業 を利用した	18	3 16.7%	6 33.3%	2 11.1%	1 5.6%	4 22.2%	1 5.6%	0 0.0%	1 5.6%
ベビーシッターを 利用した	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
ファミリー・サポート・ センターを利用した	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
仕方なく子どもだけで 留守番をさせた	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
その他	8	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	1 12.5%	4 50.0%	0 0.0%

※問 17-1 で「1.」または「2.」（父親または母親が仕事を休んだ）に○をつけた方

問 17-2 その際、「病児・病後児保育事業を利用したい」と思ったか

病児・病後児保育事業の利用希望は、「病児・病後児保育事業を利用したい」が33.2%、「利用したいとは思わなかった」が64.7%となっています。

病児・病後児保育事業の利用希望日数は、「5日」が36.3%と最も多く、次いで「10日以上」(31.3%)、「3日」(13.8%)が続いています。



【病児・病後児保育事業を利用したい日数】

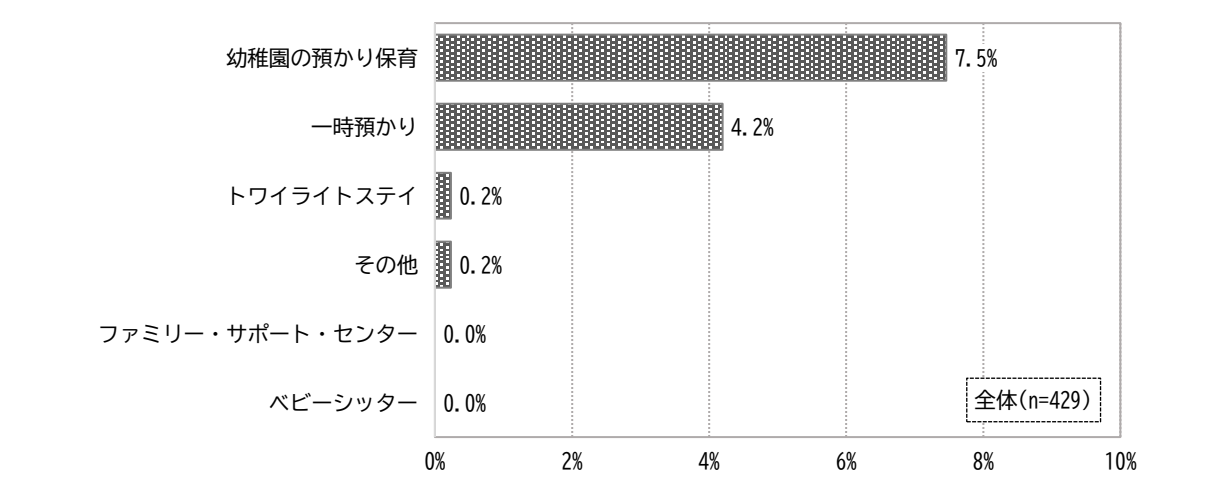
回答項目	全体(n=)	1日	2日	3日	4日	5日	6～9日	10日以上	無回答・不明
病児・病後児保育事業 を利用したい	80	3 3.8%	3 3.8%	11 13.8%	1 1.3%	29 36.3%	4 5.0%	25 31.3%	4 5.0%

1-9 不特定の預かり事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

問 18 私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、不定期的に利用している事業はあるか【MA】

様々な事情によって不定期的に利用している一時預かりなどの事業の有無は、「幼稚園の預かり保育」が7.5%と最も多く、次いで「一時預かり」(4.2%)、「トワイライトステイ」(0.2%)が続いています。

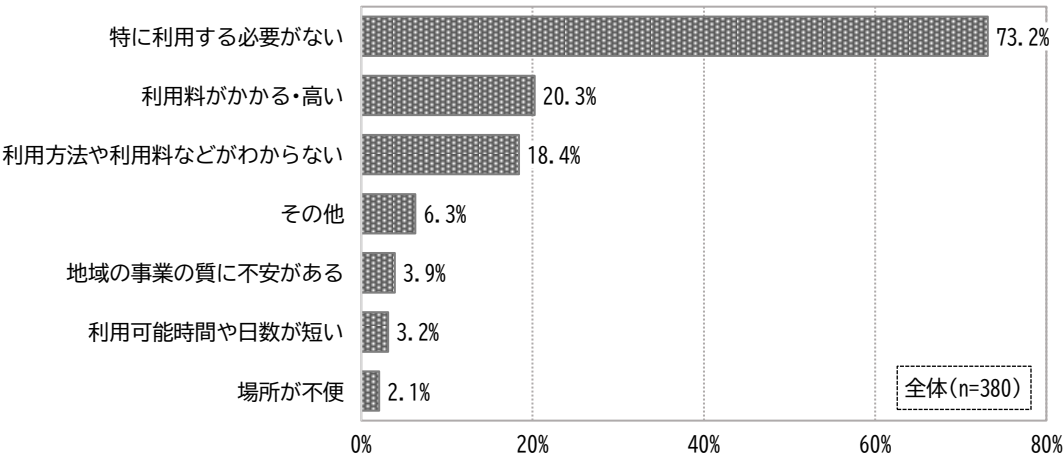
保育園の預かり保育は「10 日以上」が 50.0%、一時預かりは「2 日」・「10 日以上」(ともに 27.8%)が最も多くなっています。



回答項目	全体(n=)	1日	2日	3日	4日	5日	6～9日	10日以上	無回答・不明
一時預かり	18	4	5	0	0	3	0	5	1
		22.2%	27.8%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	27.8%	5.6%
幼稚園の預かり保育	32	1	6	2	0	5	1	16	1
		3.1%	18.8%	6.3%	0.0%	15.6%	3.1%	50.0%	3.1%
ファミリー・サポート・センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
トワイライトステイ	1	1	0	0	0	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ベビーシッター	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	1	0	0	0	0	0	0	1	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

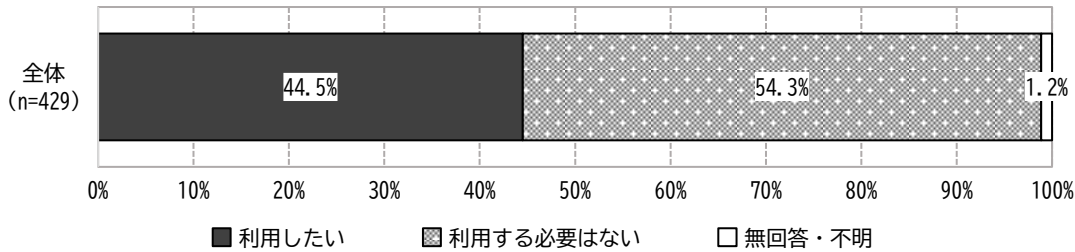
※問 18 で「7. 利用していない」に○をつけた方
問 18-1 現在利用していない理由【MA】

不定期に一時預かり等の事業を利用していない理由は、「特に理由する必要がない」が 73.2%と最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」(20.3%)、「利用方法や利用料などがわからない」(18.4%)、「その他」(6.3%)が続いています。



問 19 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で事業を利用したいか

不定期な一時預かり等の事業利用の希望は、「利用したい」が 44.5%、「利用する必要はない」が 54.3%となっています。



<前回調査との比較>

「利用したい」人の割合が前回調査時より増加し、「利用する必要はない」人の割合が減少しています。

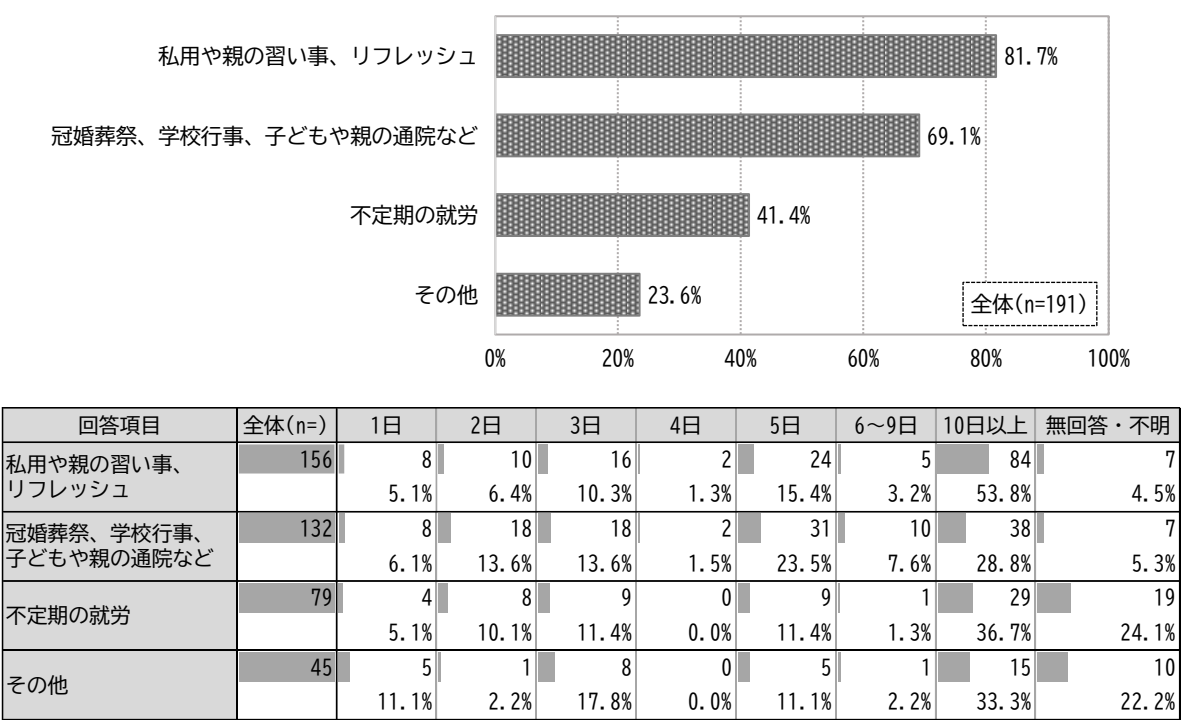
表「不定期な一時預かり等の事業利用の希望」の比較

回答	前回	今回
利用したい	36.0%	44.5%
利用する必要はない	58.9%	54.3%
無回答・不明	5.1%	1.2%

問 19 事業を利用したい理由とその日数（内訳）【MA】

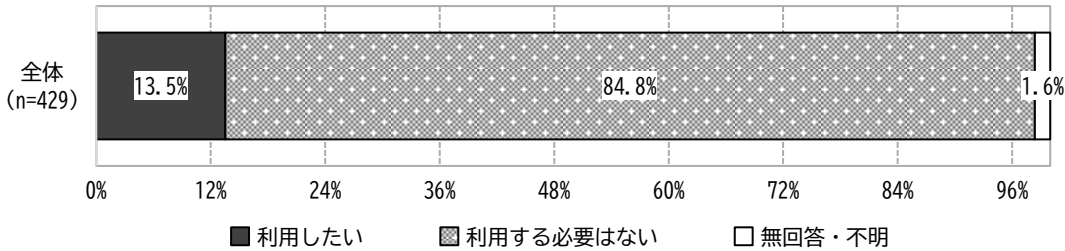
不定期な一時預かり等の事業の利用理由は、「私用や親の習い事、リフレッシュ」が 81.7%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など」(69.1%)、「不定期の就労」(41.4%)が続いています。

事業の利用日数は、「私用や親の習い事、リフレッシュ」、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など」、「不定期の就労」のいずれも「年間 10 日以上」が最も多くなっています。



問 20 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、子どもを泊まりがけで預ける必要がある場合、ショートステイ（児童養護施設等で一定期間、子どもを預かってもらう事業）の利用希望の有無

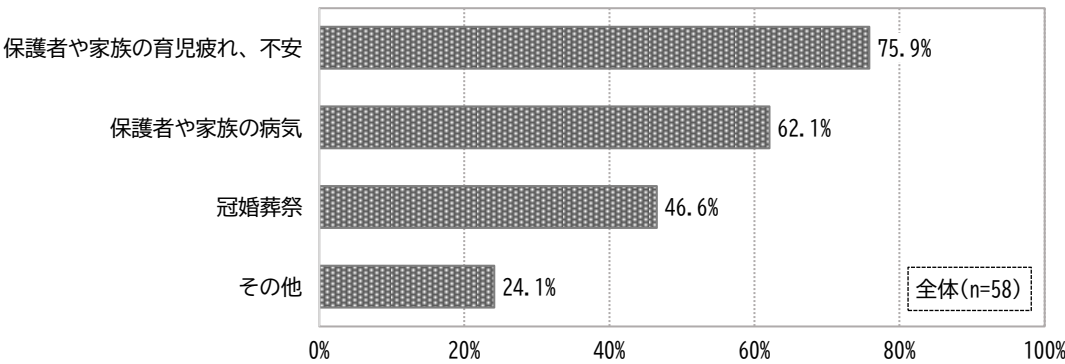
子どもを泊りがけで預ける必要がある場合、児童養護施設等で一定期間子どもを預かってもらうショートステイ事業の利用希望の有無について、「利用したい」が13.5%、「利用する必要はない」が84.8%となっています。



問 20 事業を利用したい理由とその日数（内訳）【MA】

ショートステイ事業の利用理由は、「保護者や家族の育児疲れ、不安」が75.9%で最も多く、次いで「保護者や家族の病気」（62.1%）、「冠婚葬祭」（46.6%）が続いています。

事業の利用日数は、「保護者や家族の育児疲れ、不安」・「保護者や家族の病気」ではともに「3泊」が、「冠婚葬祭」では「1泊」が最も多くなっています。

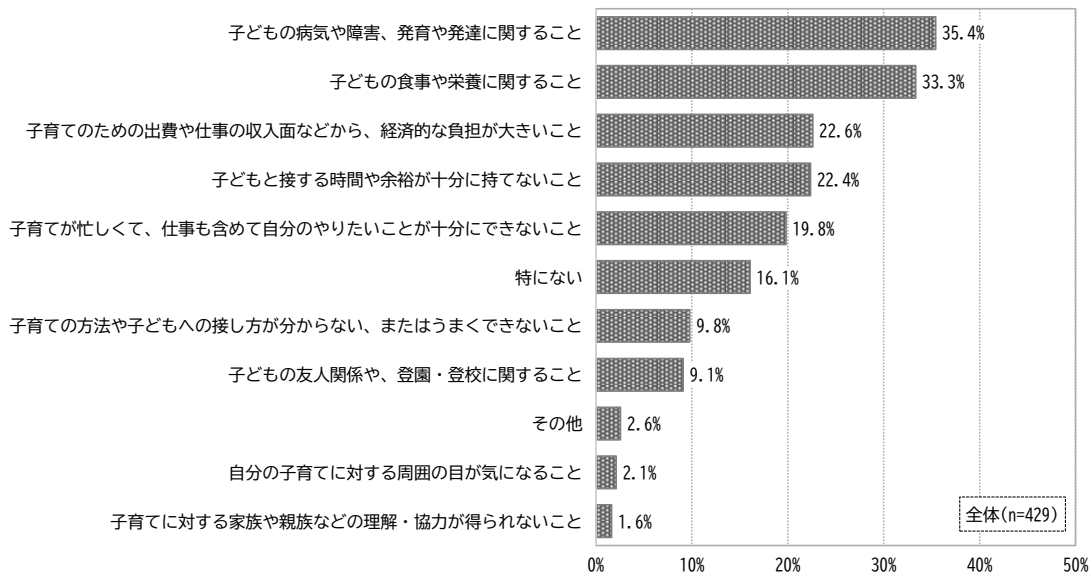


回答項目	全体(n=)	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6～9泊	10泊以上	無回答・不明
冠婚葬祭	27	12	5	1	0	4	0	0	5
		44.4%	18.5%	3.7%	0.0%	14.8%	0.0%	0.0%	18.5%
保護者や家族の 育児疲れ、不安	44	7	9	10	0	6	3	3	6
		15.9%	20.5%	22.7%	0.0%	13.6%	6.8%	6.8%	13.6%
保護者や家族の 病気	36	2	4	12	2	4	3	5	4
		5.6%	11.1%	33.3%	5.6%	11.1%	8.3%	13.9%	11.1%
その他	14	5	1	2	0	1	1	0	4
		35.7%	7.1%	14.3%	0.0%	7.1%	7.1%	0.0%	28.6%

1-10 子育ての悩みや相談先などについて

問 21 子育てについて、日頃悩んでいることや気になること【MA】

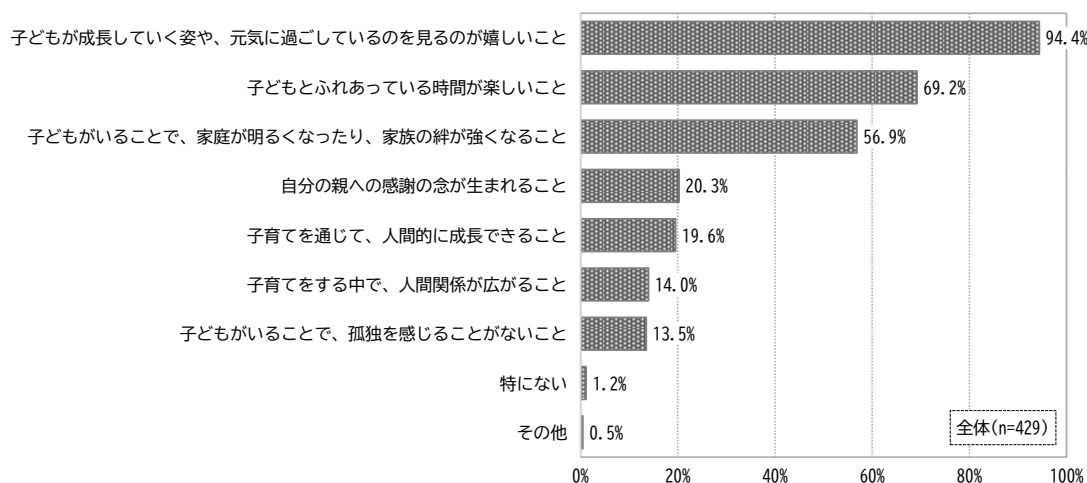
子育てに関する悩みや気になることは、「子どもの病気や障害、発育や発達に関すること」が35.4%で最も多く、次いで「子どもの食事や栄養に関すること」(33.3%)、「子育てのための出費や仕事の収入面などから、経済的な負担が大きいこと」(22.6%)が続いています。



回答項目	障害 子どもの 発育や病 気発達や	子 どもの 食事や 栄養	子 ども の登園・ 友人登 校関係	子 ども への接 し方方 法	子 ども と接 する 時間 や余 裕	自 分 の 分 に よ り で き な い こ と	家 族 や 理 解 族 な 協 力 の	自 分 の 子 育 て に 対 する 周 囲 の 目	経 済 的 な 負 担	そ の 他	特 に な い	無 回 答	回 答 者 数
全体(n=429)	35.4%	33.3%	9.1%	9.8%	22.4%	19.8%	1.6%	2.1%	22.6%	2.6%	16.1%	0.2%	100.0%
【居住地域】													
大竹地区(n=242)	37.6%	33.5%	9.5%	10.3%	19.0%	20.7%	1.2%	2.1%	17.4%	2.5%	15.3%	0.0%	100.0%
小方地区(n=113)	38.1%	35.4%	8.0%	9.7%	24.8%	15.0%	2.7%	2.7%	31.9%	1.8%	13.3%	0.0%	100.0%
玖波地区(n=40)	25.0%	37.5%	12.5%	10.0%	35.0%	30.0%	0.0%	0.0%	25.0%	7.5%	15.0%	0.0%	100.0%
栗谷地区(n=2)	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%
【年齢区分】													
0歳児(n=75)	37.3%	44.0%	0.0%	9.3%	9.3%	25.3%	0.0%	1.3%	34.7%	0.0%	14.7%	0.0%	100.0%
1歳児(n=71)	36.6%	28.2%	4.2%	9.9%	23.9%	23.9%	1.4%	0.0%	19.7%	8.5%	14.1%	0.0%	100.0%
2歳児(n=65)	36.9%	43.1%	12.3%	10.8%	23.1%	27.7%	1.5%	4.6%	27.7%	0.0%	10.8%	0.0%	100.0%
3歳児(n=71)	35.2%	26.8%	8.5%	12.7%	26.8%	21.1%	4.2%	1.4%	19.7%	2.8%	22.5%	1.4%	100.0%
4歳児(n=65)	38.5%	27.7%	6.2%	10.8%	23.1%	12.3%	0.0%	3.1%	15.4%	1.5%	16.9%	0.0%	100.0%
5歳児(n=73)	30.1%	30.1%	24.7%	5.5%	28.8%	8.2%	2.7%	2.7%	16.4%	1.4%	19.2%	0.0%	100.0%
【配偶者の有無】													
配偶者がいる(n=406)	36.5%	33.7%	9.4%	9.9%	21.7%	19.7%	1.7%	2.0%	21.9%	2.5%	15.5%	0.2%	100.0%
配偶者がいない(n=22)	18.2%	27.3%	4.5%	4.5%	31.8%	18.2%	0.0%	4.5%	36.4%	4.5%	27.3%	0.0%	100.0%
【母親の就労状況】													
フルタイム(n=107)	28.0%	22.4%	14.0%	8.4%	48.6%	33.6%	2.8%	2.8%	23.4%	3.7%	11.2%	0.0%	100.0%
フルタイム(休業中)(n=42)	45.2%	50.0%	4.8%	11.9%	7.1%	14.3%	0.0%	0.0%	23.8%	0.0%	21.4%	0.0%	100.0%
パート・アルバイト(n=128)	33.6%	34.4%	9.4%	7.8%	18.8%	12.5%	3.1%	0.8%	25.0%	3.1%	18.8%	0.8%	100.0%
パート・アルバイト(休業中)(n=25)	20.0%	32.0%	8.0%	4.0%	20.0%	24.0%	0.0%	4.0%	36.0%	0.0%	16.0%	0.0%	100.0%
以前は就労していたが、現在はしていない(n=122)	42.6%	36.1%	6.6%	13.9%	9.8%	17.2%	0.0%	3.3%	16.4%	1.6%	16.4%	0.0%	100.0%
就労したことがない(n=4)	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%

問 22 子育ての中で、喜びを感じたことや良かったこと【MA】

子育ての中で喜びを感じたことや良かったことは、「子どもが成長していく姿や、元気に過ごしているのを見るのが嬉しいこと」が94.4%で最も多く、次いで「子どもとふれあっている時間が楽しいこと」(69.2%)、「子どもがいることで、家庭が明るくなったり、家族の絆が強くなること」(56.9%)と続いています。

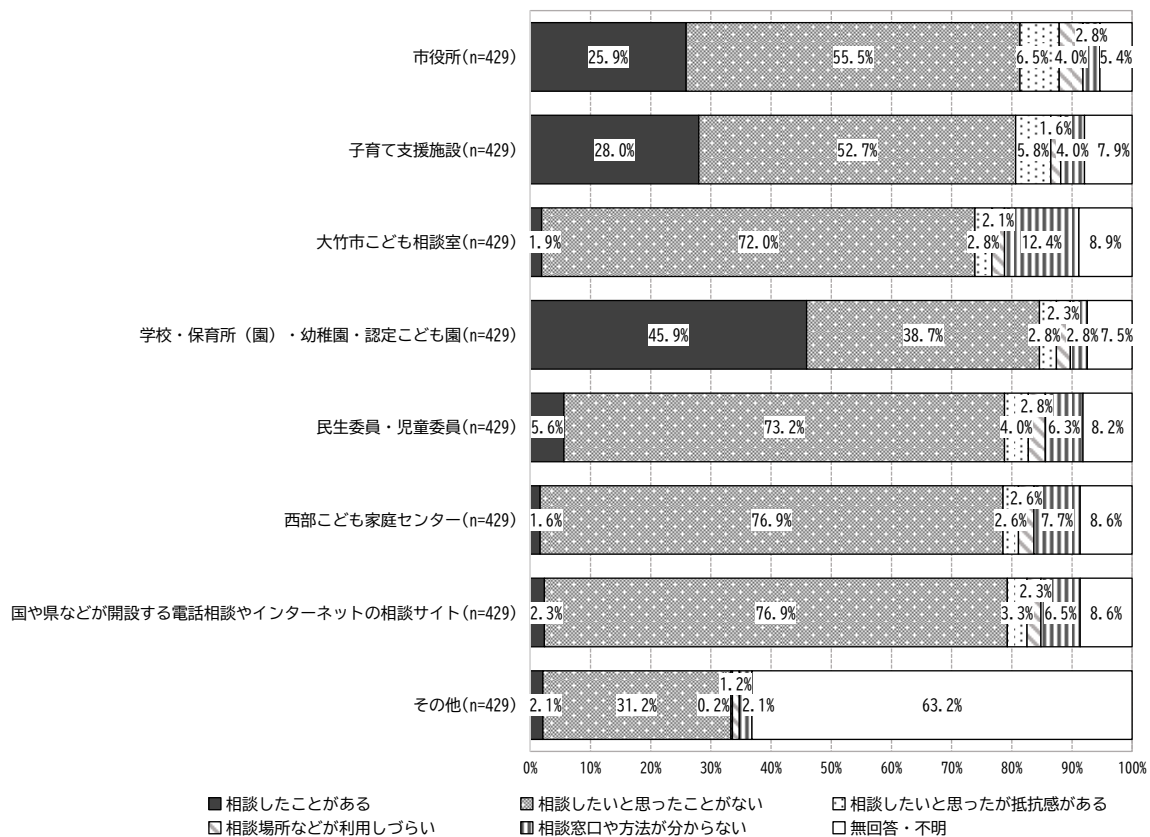


回答項目	子どもとふれあっている時間	子どもが成長していく姿	人間関係が広がる	人間的に成長できる	家庭の絆が強くなる	孤独を感じることがない	自分の親への感謝の念が生まれる	その他	特にな	無回答	回答者数
全体(n=429)	69.2%	94.4%	14.0%	19.6%	56.9%	13.5%	20.3%	0.5%	1.2%	0.2%	100.0%
【居住地区】											
大竹地区(n=242)	68.6%	94.2%	12.8%	21.1%	59.9%	10.7%	21.5%	0.0%	1.7%	0.0%	100.0%
小方地区(n=113)	70.8%	94.7%	13.3%	13.3%	53.1%	18.6%	20.4%	0.9%	0.9%	0.0%	100.0%
玖波地区(n=40)	72.5%	97.5%	20.0%	25.0%	40.0%	12.5%	20.0%	2.5%	0.0%	0.0%	100.0%
栗谷地区(n=2)	100.0%	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
【年齢区分】											
0歳児(n=75)	84.0%	96.0%	9.3%	21.3%	53.3%	14.7%	24.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
1歳児(n=71)	71.8%	97.2%	5.6%	11.3%	63.4%	9.9%	19.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2歳児(n=65)	72.3%	93.8%	20.0%	23.1%	64.6%	10.8%	13.8%	1.5%	1.5%	0.0%	100.0%
3歳児(n=71)	63.4%	93.0%	15.5%	23.9%	60.6%	9.9%	18.3%	0.0%	1.4%	1.4%	100.0%
4歳児(n=65)	56.9%	90.8%	16.9%	23.1%	50.8%	15.4%	27.7%	1.5%	1.5%	0.0%	100.0%
5歳児(n=73)	61.6%	95.9%	19.2%	15.1%	53.4%	19.2%	16.4%	0.0%	2.7%	0.0%	100.0%
【配偶者の有無】											
配偶者がいる(n=406)	69.7%	94.6%	14.5%	19.0%	58.1%	12.3%	20.4%	0.5%	1.0%	0.2%	100.0%
配偶者がいない(n=22)	63.6%	90.9%	4.5%	31.8%	36.4%	36.4%	18.2%	0.0%	4.5%	0.0%	100.0%
【母親の就労状況】											
フルタイム(n=107)	59.8%	95.3%	17.8%	22.4%	62.6%	18.7%	19.6%	1.9%	1.9%	0.0%	100.0%
フルタイム(休業中)(n=42)	90.5%	97.6%	11.9%	23.8%	45.2%	14.3%	19.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
パート・アルバイト(n=128)	72.7%	93.0%	13.3%	17.2%	51.6%	11.7%	17.2%	0.0%	1.6%	0.8%	100.0%
パート・アルバイト(休業中)(n=25)	64.0%	100.0%	12.0%	16.0%	56.0%	16.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
以前は就労していたが、現在はしていない(n=122)	70.5%	92.6%	12.3%	19.7%	62.3%	9.0%	23.8%	0.0%	0.8%	0.0%	100.0%
就労したことがない(n=4)	0.0%	100.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

問 23 子育ての悩みなどを次の場所や人に相談したことがあるか【MA】

子育ての悩みなどの相談先と相談経験は、「学校・保育所（園）・幼稚園・認定こども園」が45.9%で最も多く、次いで「子育て支援施設」（28.0%）、「市役所」（25.9%）となっています。一方で、市役所と子育て支援施設は「相談したいと思ったが抵抗感がある」とする割合が他と比べて高くなっています。

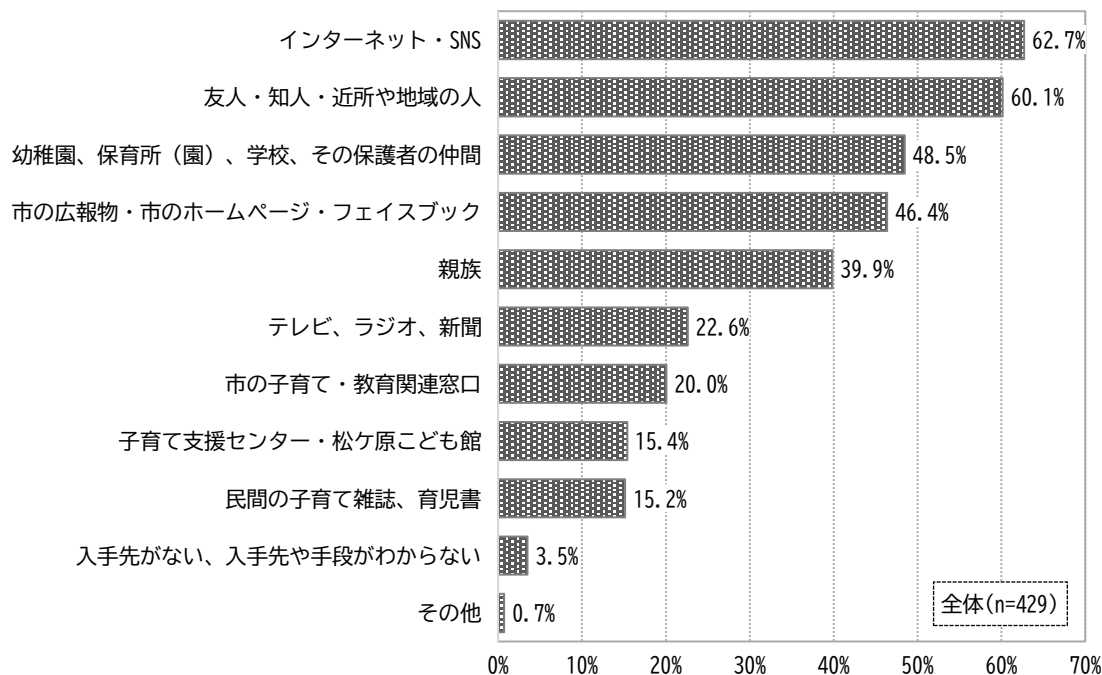
また、「相談窓口や方法が分からない」とする回答が「大竹市こども相談室」で12.4%、「西部こども家庭センター」で7.7%と他の施設に比べて高くなっています。



1-11 子育て施策全般について

問 24 子育てに必要な情報の入手先【MA】

子育てに必要な情報の入手先は、「インターネット・SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）」が62.7%で最も多く、次いで「友人・知人・近所や地域の人」（60.1%）、「幼稚園、保育所（園）、学校、その保護者の仲間」（48.5%）、「市の広報物・市のホームページ・フェイスブック」（46.4%）が続いています。

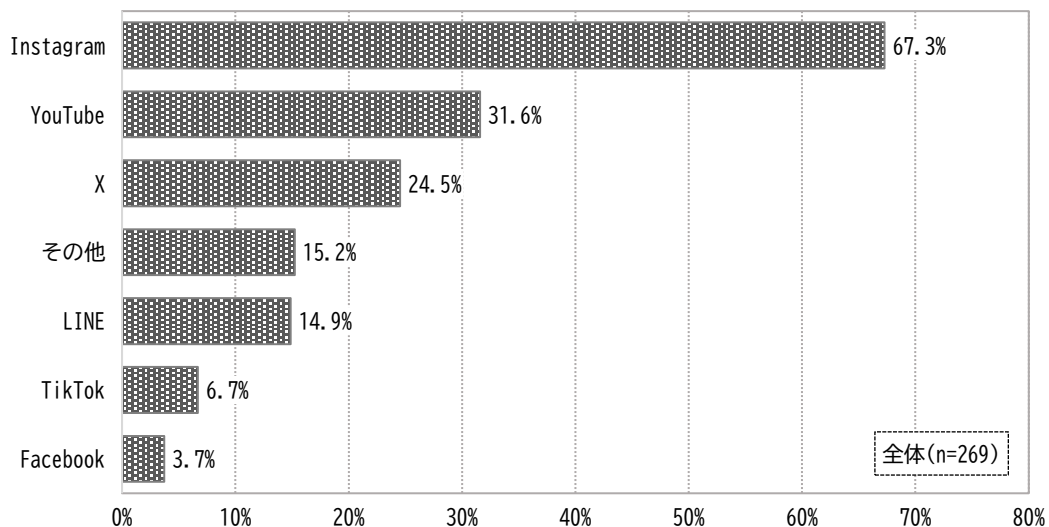


回答項目	市の子育て・教育関連窓口	市の広報物・市のホームページ・フェイスブック	民間の子育て雑誌、育児書	テレビ、ラジオ、新聞	友人・知人・近所や地域の人	親族	インターネット・SNS	幼稚園、その保護者の仲間	子育て支援センター・松ヶ原こども館	その他	入手先がない、入手先や手段がわからない	無回答	回答者数
全体(n=429)	20.0%	46.4%	15.2%	22.6%	60.1%	39.9%	62.7%	48.5%	15.4%	0.7%	3.5%	0.2%	100.0%
【居住地区】													
大竹地区(n=242)	21.1%	47.1%	14.9%	22.3%	59.1%	40.5%	64.0%	44.2%	15.3%	0.8%	3.7%	0.0%	100.0%
小方地区(n=113)	16.8%	43.4%	14.2%	17.7%	61.1%	38.9%	59.3%	56.6%	14.2%	0.9%	3.5%	0.0%	100.0%
玖波地区(n=40)	20.0%	57.5%	17.5%	32.5%	57.5%	47.5%	72.5%	60.0%	17.5%	0.0%	5.0%	0.0%	100.0%
栗谷地区(n=2)	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
【年齢区分】													
0歳児(n=75)	30.7%	45.3%	22.7%	20.0%	54.7%	48.0%	73.3%	17.3%	24.0%	0.0%	2.7%	0.0%	100.0%
1歳児(n=71)	29.6%	45.1%	14.1%	22.5%	57.7%	42.3%	62.0%	43.7%	25.4%	0.0%	5.6%	0.0%	100.0%
2歳児(n=65)	20.0%	43.1%	12.3%	16.9%	50.8%	32.3%	67.7%	50.8%	23.1%	0.0%	3.1%	0.0%	100.0%
3歳児(n=71)	9.9%	49.3%	19.7%	23.9%	73.2%	33.8%	63.4%	54.9%	12.7%	0.0%	2.8%	1.4%	100.0%
4歳児(n=65)	13.8%	46.2%	12.3%	24.6%	56.9%	35.4%	60.0%	58.5%	6.2%	4.6%	1.5%	0.0%	100.0%
5歳児(n=73)	16.4%	46.6%	8.2%	27.4%	65.8%	43.8%	47.9%	67.1%	2.7%	0.0%	5.5%	0.0%	100.0%
【配偶者の有無】													
配偶者がいる(n=406)	20.0%	47.0%	15.0%	23.2%	60.6%	40.4%	63.1%	49.5%	15.8%	0.7%	3.4%	0.2%	100.0%
配偶者がいない(n=22)	18.2%	36.4%	18.2%	13.6%	54.5%	31.8%	59.1%	31.8%	9.1%	0.0%	4.5%	0.0%	100.0%
【母親の就労状況】													
フルタイム(n=107)	17.8%	52.3%	14.0%	20.6%	56.1%	30.8%	59.8%	56.1%	3.7%	0.9%	7.5%	0.0%	100.0%
フルタイム(休業中)(n=42)	26.2%	64.3%	33.3%	23.8%	66.7%	59.5%	71.4%	31.0%	33.3%	0.0%	2.4%	0.0%	100.0%
パート・アルバイト(n=128)	10.9%	40.6%	11.7%	23.4%	63.3%	39.8%	63.3%	60.9%	7.8%	0.8%	1.6%	0.8%	100.0%
パート・アルバイト(休業中)(n=25)	40.0%	32.0%	20.0%	20.0%	56.0%	36.0%	68.0%	28.0%	8.0%	0.0%	4.0%	0.0%	100.0%
以前は就労していたが、現在はしていない(n=122)	26.2%	43.4%	13.1%	24.6%	59.8%	42.6%	62.3%	40.2%	29.5%	0.8%	1.6%	0.0%	100.0%
就労したことがない(n=4)	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

※問 24 で「7. インターネット・SNS」に○をつけた方

問 24 子育てに必要な情報の具体的な入手先【MA】

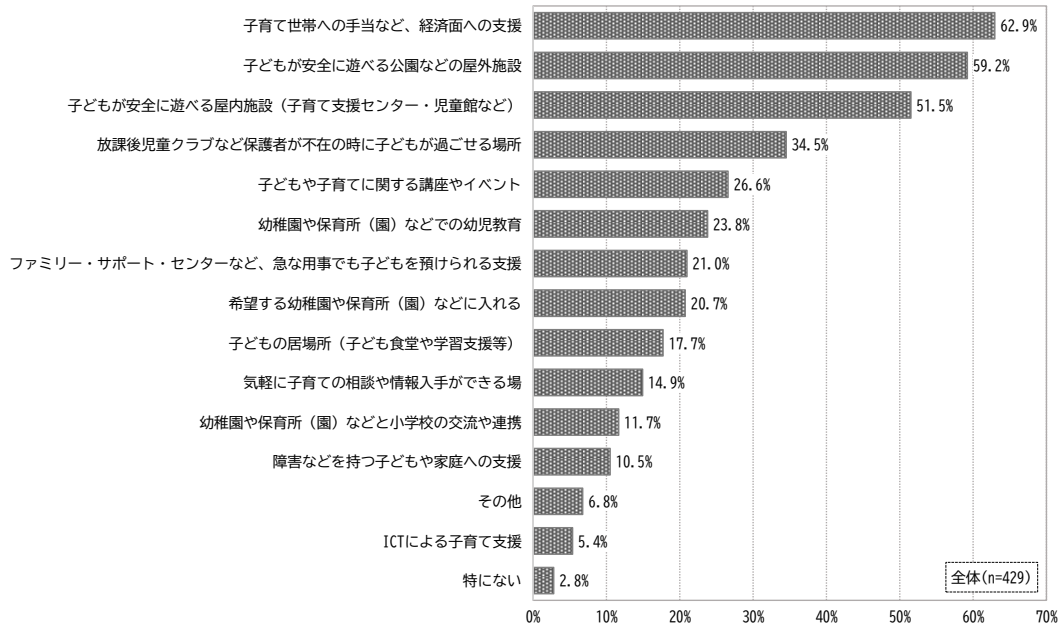
子育てに必要な情報を「インターネット・SNS」から得る場合の具体的な入手先は、「Instagram（インスタグラム）」が67.3%と突出しています。次いで「YouTube（ユーチューブ）」（31.6%）、「X（エックス、旧 Twitter）」（24.5%）が続いています。



回答項目	L I N E	X	F a c e b o o k	I n s t a g r a m	Y o u T u b e	T i k T o k	その他	無回答	回答者数
全体(n=269)	14.9%	24.5%	3.7%	67.3%	31.6%	6.7%	15.2%	8.9%	100.0%
【居住地区】									
大竹地区(n=242)	15.5%	23.9%	3.9%	64.5%	27.1%	4.5%	14.8%	10.3%	100.0%
小方地区(n=113)	20.9%	29.9%	1.5%	71.6%	41.8%	10.4%	13.4%	6.0%	100.0%
玖波地区(n=40)	3.4%	13.8%	10.3%	75.9%	27.6%	6.9%	24.1%	3.4%	100.0%
栗谷地区(n=2)	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
【年齢区分】									
0歳児(n=75)	16.4%	27.3%	3.6%	78.2%	47.3%	12.7%	9.1%	3.6%	100.0%
1歳児(n=71)	15.9%	20.5%	6.8%	70.5%	36.4%	4.5%	11.4%	4.5%	100.0%
2歳児(n=65)	15.9%	27.3%	0.0%	59.1%	22.7%	6.8%	22.7%	6.8%	100.0%
3歳児(n=71)	20.0%	26.7%	4.4%	66.7%	22.2%	4.4%	15.6%	11.1%	100.0%
4歳児(n=65)	10.3%	33.3%	5.1%	64.1%	20.5%	5.1%	15.4%	12.8%	100.0%
5歳児(n=73)	8.6%	5.7%	2.9%	60.0%	34.3%	2.9%	20.0%	17.1%	100.0%
【配偶者の有無】									
配偶者がいる(n=406)	14.5%	24.2%	3.9%	69.1%	31.6%	6.3%	14.8%	7.8%	100.0%
配偶者はいない(n=22)	23.1%	30.8%	0.0%	30.8%	30.8%	15.4%	23.1%	30.8%	100.0%
【母親の就労状況】									
フルタイム(n=107)	15.6%	28.1%	6.3%	62.5%	25.0%	0.0%	18.8%	15.6%	100.0%
フルタイム(休業中)(n=42)	16.7%	20.0%	0.0%	63.3%	30.0%	6.7%	20.0%	6.7%	100.0%
パート・アルバイト(n=128)	13.6%	25.9%	1.2%	65.4%	30.9%	9.9%	14.8%	7.4%	100.0%
パート・アルバイト(休業中)(n=25)	23.5%	11.8%	17.6%	76.5%	41.2%	11.8%	0.0%	11.8%	100.0%
以前は就労していたが、現在はしていない(n=122)	11.8%	25.0%	2.6%	72.4%	36.8%	7.9%	14.5%	5.3%	100.0%
就労したことがない(n=4)	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

問 25 市に対して、どのような子育て支援を充実してほしいか【MA】

本市に対して希望する子育て支援の内容は、「子育て世帯への手当など、経済面への支援を充実させてほしい」が62.9%と最も多く、次いで「子どもが安全に遊べる公園などの屋外施設を充実させてほしい」(59.2%)、「子どもが安全に遊べる屋内施設(子育て支援センター・児童館など)」を充実させてほしい(51.5%)が続いており、経済的な支援や安全に遊べる施設の確保を求める意見が多くなっています。



回答項目	子どもが安全に遊べる公園などの屋外施設	子どもが安全に遊べる屋内施設(子育て支援センター・児童館など)	子どもや子育てに関する講座やイベント	気軽に子育ての相談や情報入手ができる場	希望する幼稚園や保育所(園)などに入れる	幼稚園や保育所(園)などでの幼児教育	幼稚園や保育所(園)などと小学校の交流や連携	放課後児童クラブなどに子どもが過ごせる場所	ファミリー・サポート・センターなど、急な用事で子どもを預けられる支援	障害などを持つ子どもや家庭への支援	子育て世帯への手当など、経済面への支援	子どもの居場所(子ども食堂や学習支援等)	ICTによる子育て支援	その他	特になし	無回答	回答者数
全体(n=429)	59.2%	51.5%	26.6%	14.9%	20.7%	23.8%	11.7%	34.5%	21.0%	10.5%	62.9%	17.7%	5.4%	6.8%	2.8%	0.2%	100.0%
【居住地区】																	
大竹地区(n=242)	59.5%	52.1%	28.9%	14.9%	20.7%	22.3%	10.3%	33.9%	19.4%	9.5%	60.3%	18.2%	6.2%	6.6%	3.7%	0.0%	100.0%
小方地区(n=113)	56.6%	55.8%	24.8%	18.6%	22.1%	31.0%	15.9%	32.7%	23.0%	15.0%	68.1%	19.5%	4.4%	7.1%	1.8%	0.0%	100.0%
玖波地区(n=40)	65.0%	42.5%	32.5%	10.0%	20.0%	25.0%	12.5%	45.0%	27.5%	5.0%	57.5%	20.0%	5.0%	2.5%	0.0%	0.0%	100.0%
栗谷地区(n=2)	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
【年齢区分】																	
0歳児(n=75)	54.7%	61.3%	30.7%	20.0%	36.0%	26.7%	10.7%	24.0%	20.0%	4.0%	72.0%	22.7%	6.7%	6.7%	0.0%	1.3%	100.0%
1歳児(n=71)	60.6%	52.1%	36.6%	12.7%	23.9%	19.7%	9.9%	28.2%	19.7%	14.1%	59.2%	9.9%	7.0%	5.6%	5.6%	0.0%	100.0%
2歳児(n=65)	56.9%	56.9%	32.3%	26.2%	27.7%	26.2%	9.2%	36.9%	24.6%	13.8%	76.9%	20.0%	6.2%	3.1%	1.5%	0.0%	100.0%
3歳児(n=71)	57.7%	45.1%	19.7%	11.3%	18.3%	22.5%	15.5%	36.6%	28.2%	8.5%	53.5%	19.7%	5.6%	9.9%	5.6%	0.0%	100.0%
4歳児(n=65)	61.5%	52.3%	24.6%	10.8%	9.2%	26.2%	9.2%	29.2%	16.9%	12.3%	61.5%	9.2%	4.6%	12.3%	1.5%	0.0%	100.0%
5歳児(n=73)	67.1%	43.8%	13.7%	9.6%	8.2%	19.2%	16.4%	50.7%	17.8%	11.0%	56.2%	24.7%	1.4%	4.1%	2.7%	0.0%	100.0%
【配偶者の有無】																	
配偶者がいる(n=406)	60.3%	51.5%	26.8%	15.0%	20.9%	24.1%	12.1%	34.5%	21.4%	10.6%	62.3%	17.5%	5.4%	6.9%	2.7%	0.0%	100.0%
配偶者がいない(n=22)	40.9%	54.5%	22.7%	9.1%	18.2%	18.2%	4.5%	36.4%	13.6%	9.1%	72.7%	18.2%	4.5%	4.5%	4.5%	0.0%	100.0%
【母親の就労状況】																	
フルタイム(n=107)	52.3%	45.8%	27.1%	15.0%	16.8%	29.0%	14.0%	52.3%	21.5%	11.2%	58.9%	18.7%	5.6%	7.5%	1.9%	0.0%	100.0%
フルタイム(休業中)(n=42)	59.5%	54.8%	38.1%	21.4%	42.9%	31.0%	14.3%	40.5%	19.0%	7.1%	78.6%	31.0%	16.7%	2.4%	2.4%	0.0%	100.0%
パート・アルバイト(n=128)	53.1%	52.3%	22.7%	5.5%	8.6%	19.5%	10.2%	31.3%	21.9%	8.6%	61.7%	18.8%	3.1%	8.6%	6.3%	0.0%	100.0%
パート・アルバイト(休業中)(n=25)	68.0%	56.0%	28.0%	24.0%	24.0%	12.0%	24.0%	24.0%	16.0%	8.0%	68.0%	12.0%	12.0%	4.0%	0.0%	0.0%	100.0%
以前は就労していたが、現在はしていない(n=122)	70.5%	54.1%	27.0%	21.3%	29.5%	24.6%	8.2%	23.8%	22.1%	13.1%	61.5%	12.3%	2.5%	6.6%	0.8%	0.0%	100.0%
就労したことがない(n=4)	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

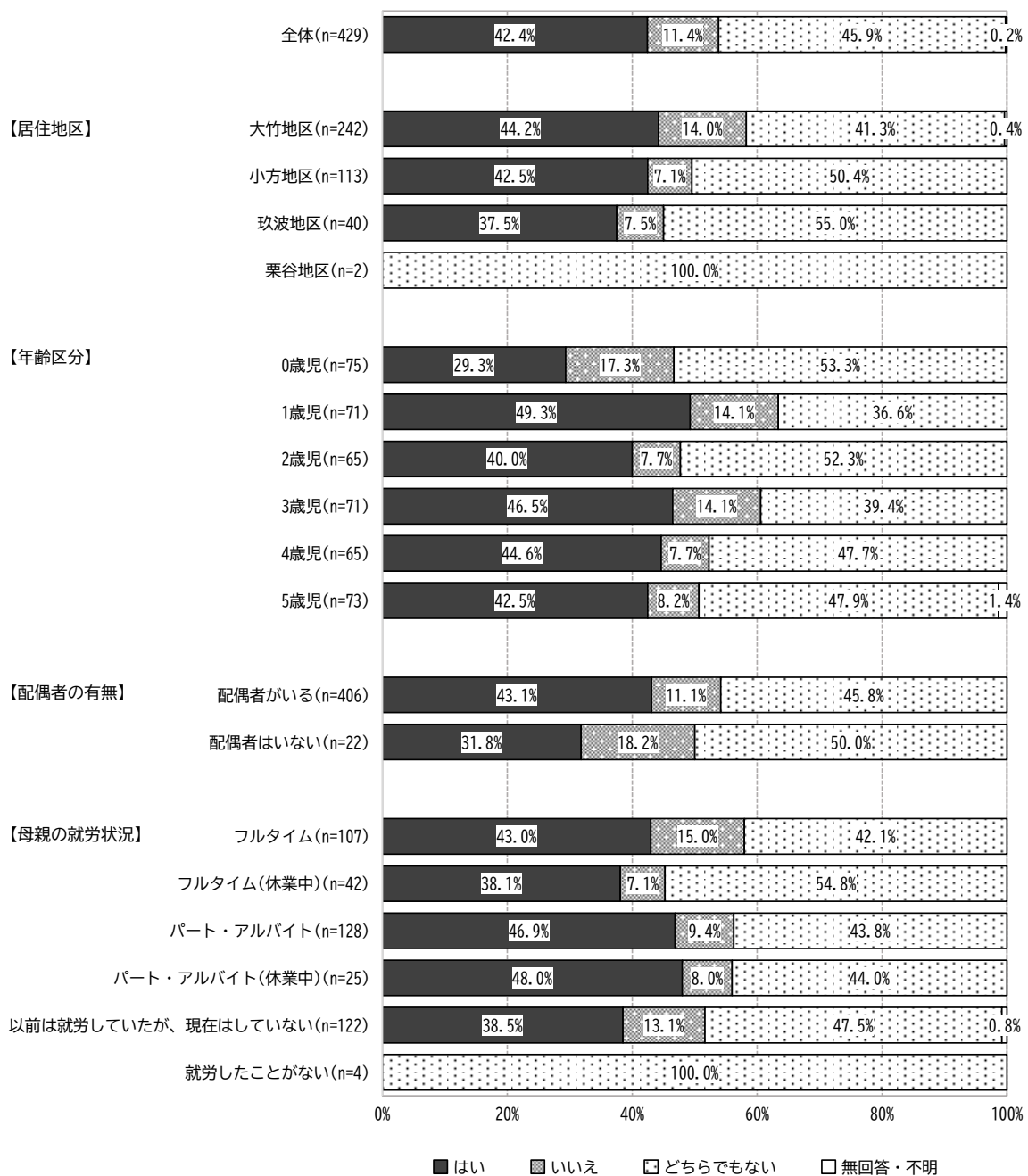
問 26 大竹市での子育てに関して、どのような印象を持っているか

ア 子どもがいても安心して働けるまちだ

本市の子育てに関して、「子どもがいても安心して働けるまちだ」という印象があるかは、全体でみると「はい」が42.4%、「いいえ」が11.4%、「どちらでもない」が45.9%となっています。

年齢別でみると、1～5歳児では「はい」の割合が4割を超えている一方、0歳児では「はい」の割合が3割弱となっています。

配偶者関係でみると、配偶者はいない（ひとり親の）方は「はい」の割合が低くなっています。



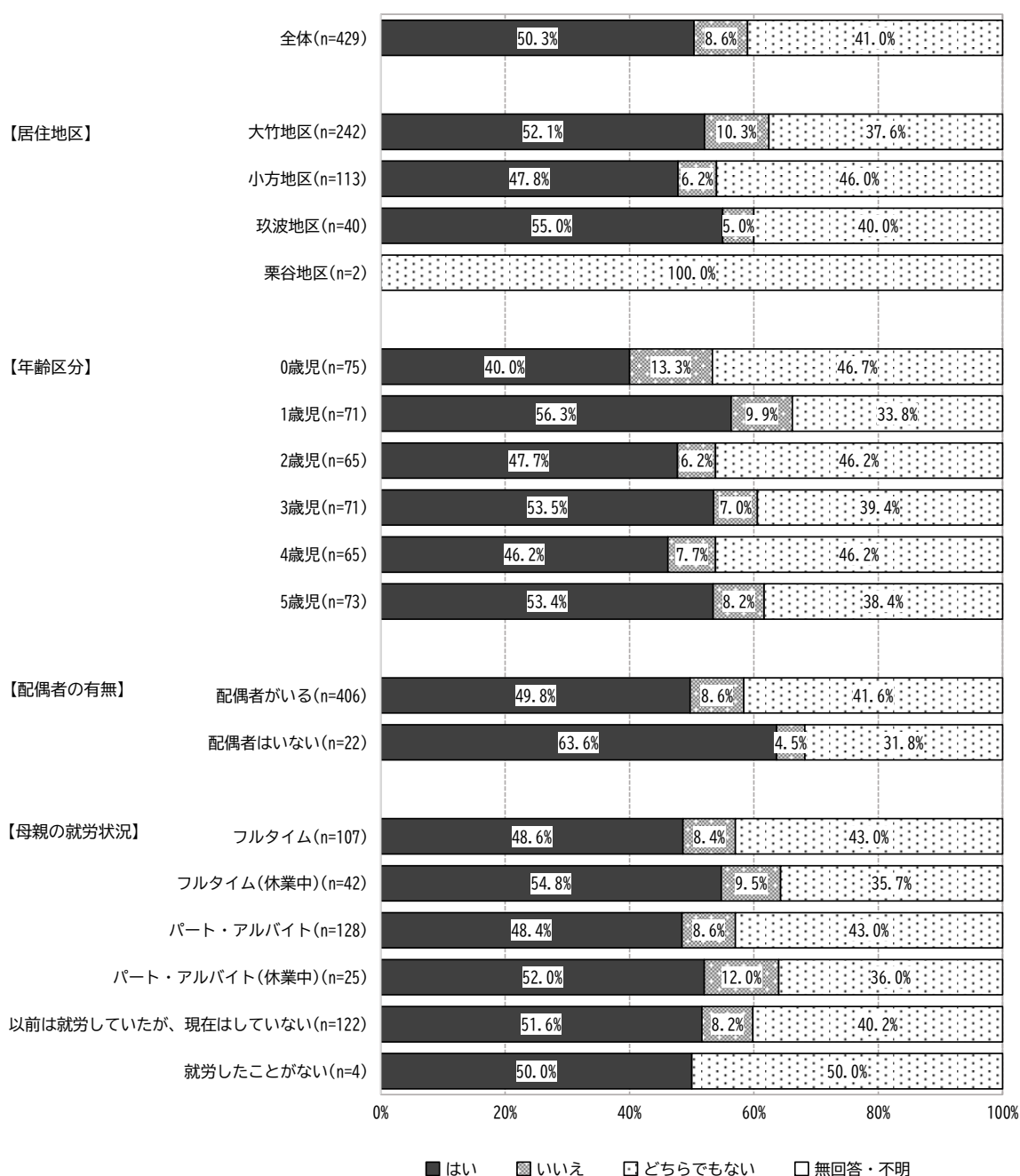
問 26 大竹市での子育てに関して、どのような印象を持っているか
イ 子どもが安全に、健やかに成長できる環境のあるまちだ

本市の子育てに関して、「子どもが安全に、健やかに成長できる環境のあるまちだ」という印象があるかは、全体では「はい」が50.3%、「いいえ」が8.6%、「どちらでもない」が41.0%となっています。

地域別では、玖波地区は「はい」の割合が6割近くとなっており、大竹地区、小方地区ともに約半数が「はい」と回答しています。

年齢別では、1歳児・3歳児・5歳児で「はい」の割合が5割を超えています。

配偶関係では、配偶者はいない（ひとり親の）方の「はい」の割合が6割以上となっています。

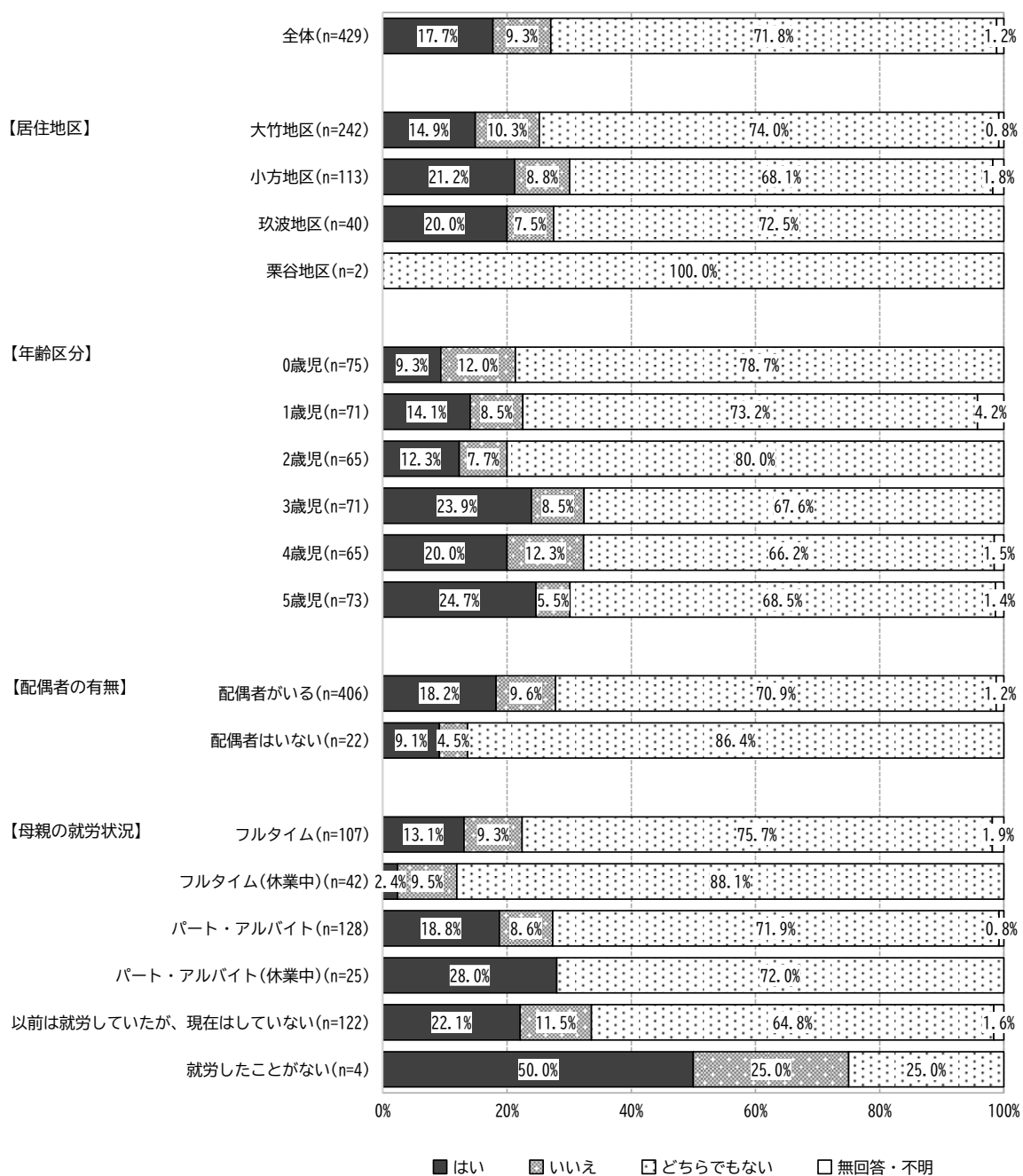


問 26 大竹市での子育てに関して、どのような印象を持っているか
 ウ 障害など配慮の必要な子どもを安心して育てられるまちだ

本市の子育てに関して、「障害など配慮の必要な子どもを安心して育てられるまちだ」という印象があるかは、全体では「はい」が17.7%、「いいえ」が9.3%、「どちらでもない」が71.8%となっています。

年齢別では、3～5歳児で「はい」と答える割合が高くなっています。

配偶関係では、配偶者がいる方が「はい」と答える割合が、配偶者はいない方の2倍となっています。



問 26 大竹市での子育てに関して、どのような印象を持っているか

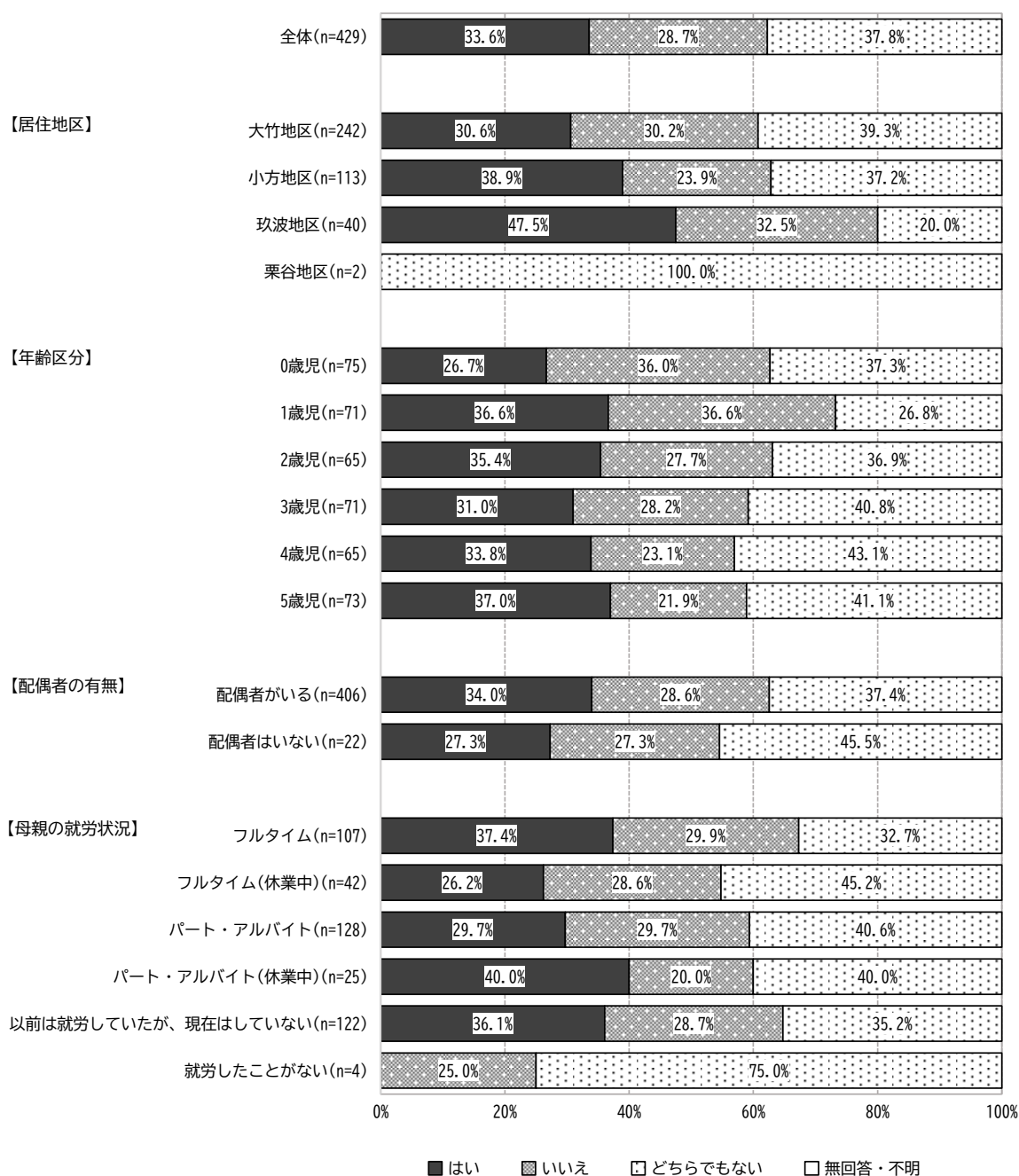
エ 公園や道路、公共施設、店舗などが、子育て世帯に配慮されているまちだ

本市の子育てに関して、「公園や道路、公共施設、店舗などが、子育て世帯に配慮されているまちだ」という印象があるかは、全体では「はい」が33.6%、「いいえ」が28.7%、「どちらでもない」が37.8%となっています。

地域別では、玖波地区で「はい」の割合が約半数となっています。

年齢別では、2～5歳児で「はい」の割合が「いいえ」の割合を上回っています。

就業別では、フルタイム、パート・アルバイト（休業中）、以前は就労していたが現在は就労していない人で「はい」の割合が「いいえ」を上回っています。



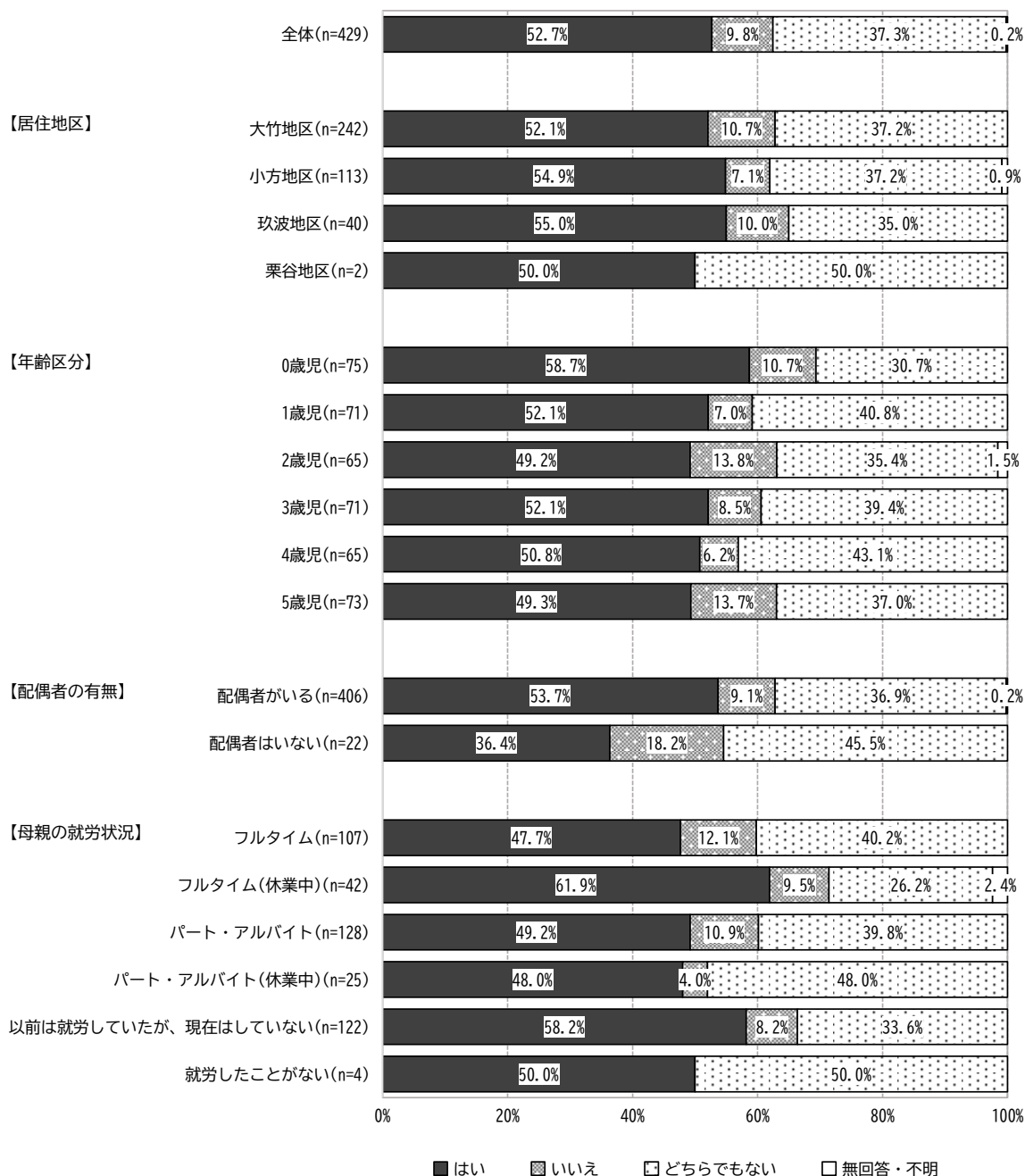
問 26 大竹市での子育てに関して、どのような印象を持っているか
オ 地域や周りの人たちが子育て世帯にやさしいまちだ

本市の子育てに関して、「地域や周りの人たちが子育て世帯にやさしいまちだ」という印象があるかは、全体では「はい」が52.7%、「いいえ」が9.8%、「どちらでもない」が37.3%となっています。

年齢別では、0歳児で「はい」の割合が約6割に上っています。

配偶関係では、配偶者はいない（ひとり親の）方の「はい」の割合が低くなっています。

就労別では、フルタイム（休業中）で「はい」の割合が6割を超えています。

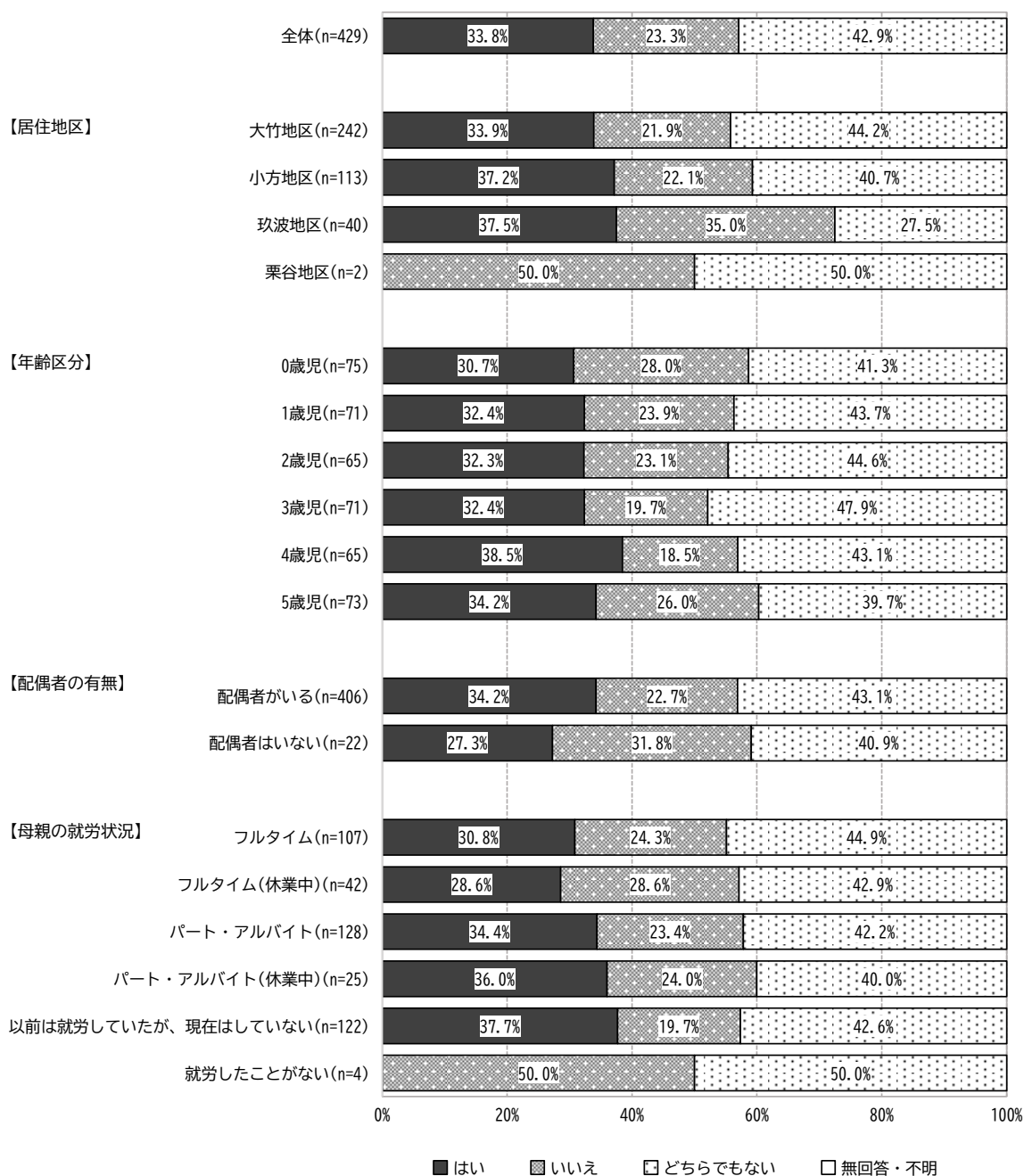


問 26 大竹市での子育てに関して、どのような印象を持っているか

カ 子ども同士や親子で遊んだり過ごす場所が充実しているまちだ

本市の子育てに関して、「子ども同士や親子で遊んだり過ごす場所が充実しているまちだ」という印象があるかは、全体では「はい」が33.8%、「いいえ」が23.3%、「どちらでもない」が42.9%となっています。

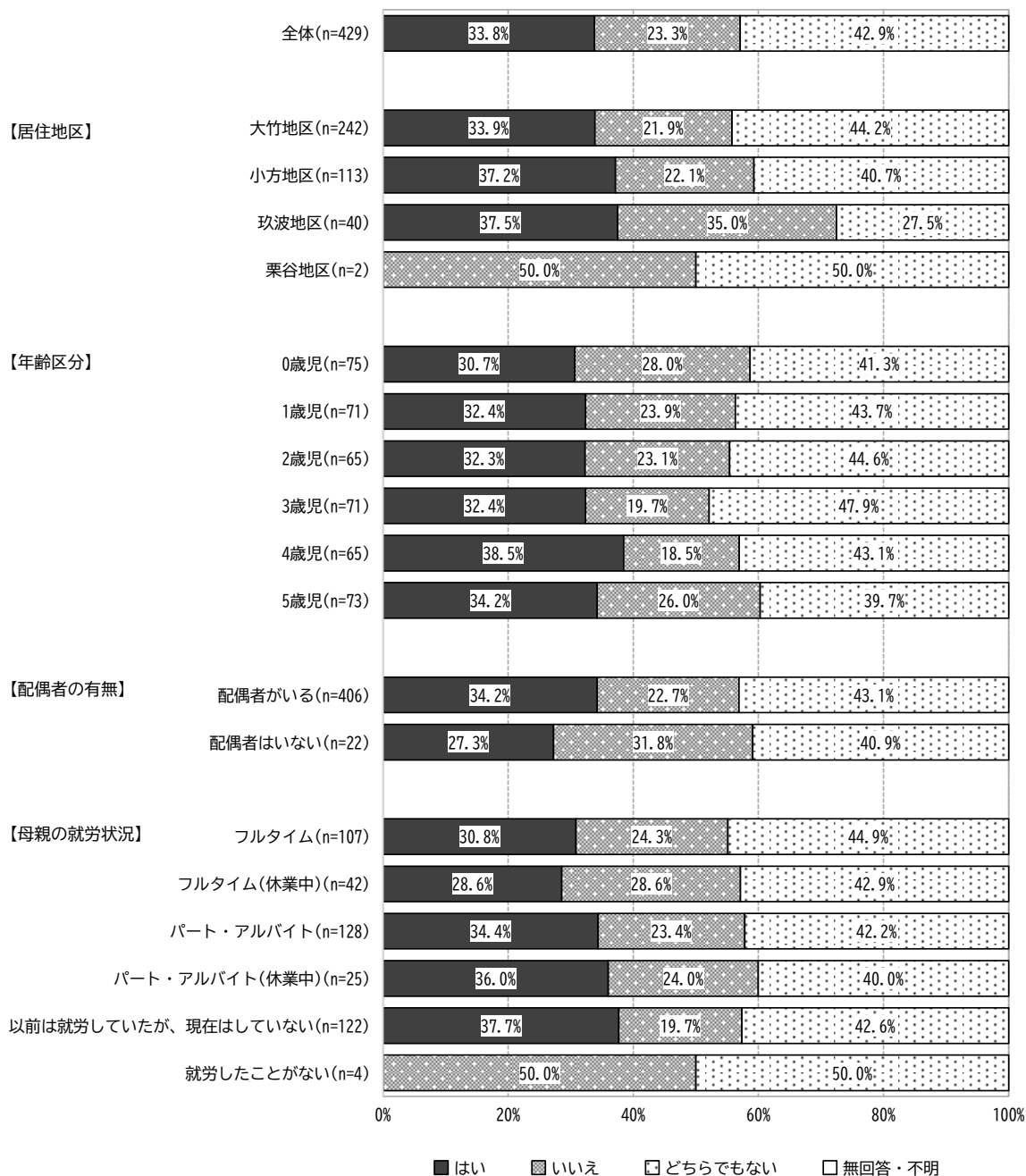
年齢別では、0～4歳児は、年齢が高くなるにつれて「いいえ」の割合が低くなっています。配偶関係では、配偶者はいない（ひとり親の）方の「はい」の割合が低くなっています。



問 27 本市における子育ての環境や支援への満足度

本市における子育て環境や支援への満足度は、「普通」が46.2%と最も多く、次いで「満足度がやや高い」(24.9%)、「満足度がやや低い」(18.2%)が続いています。

年齢別では、1歳児と5歳児で「満足度が高い」とする割合が他に比べて高くなっています。一方、0～1歳児は「満足度が低い」とする割合が他に比べて高くなっています。



<前回調査との比較>

「満足度がやや高い」の人の割合が、前回調査時よりも増加しています。他の回答の人の割合はいずれも減少しています。

表「本市の子育て環境や支援への満足度」の比較

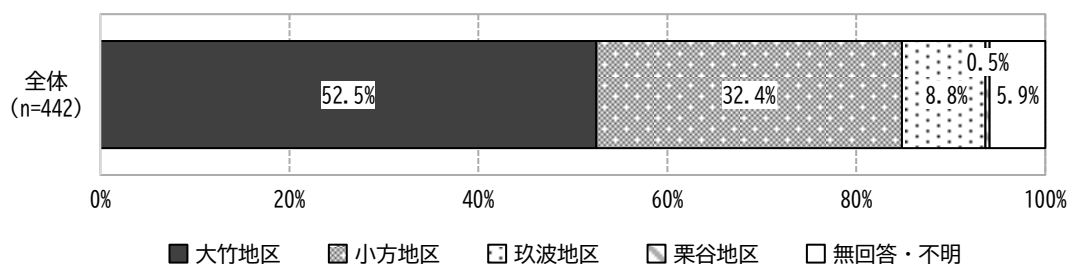
回答	前回	今回
満足度が低い	12.1%	8.2%
満足度がやや低い	24.4%	18.2%
普通	46.6%	46.2%
満足度がやや高い	12.8%	24.9%
満足度が高い	3.5%	2.3%
無回答・不明	0.6%	0.2%

2. 小学生児童

2-1 居住地域について

問1 居住地域はどこか

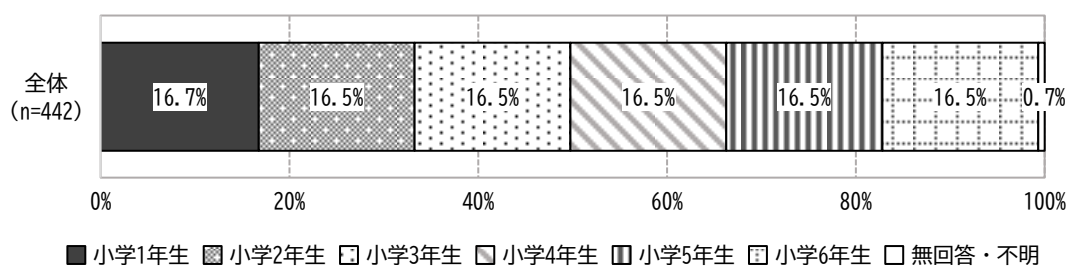
居住地域は、「大竹地区」が52.5%と最も高く、次いで「小方地区」(32.4%)、「玖波地区」(8.8%)、栗谷地区(0.5%)が続いています。



2-2 子どもと家族の状況について

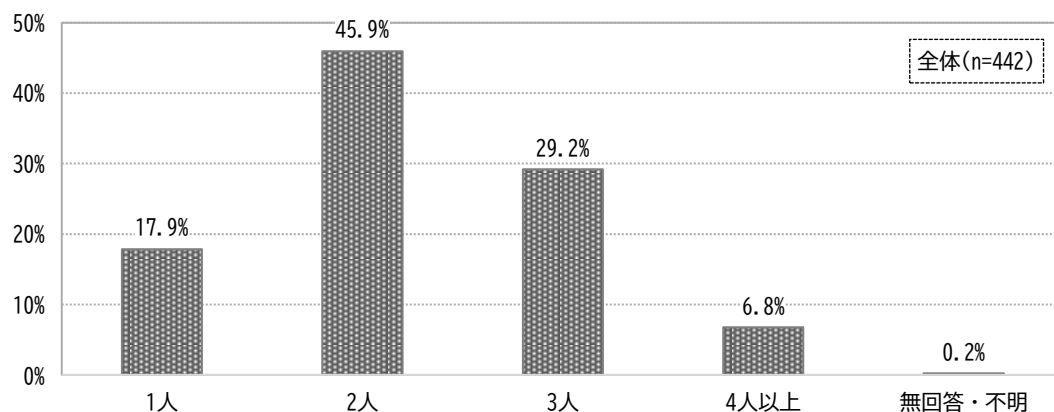
問2 子どもの年齢区分

子どもの年齢は、「小学1年生」が16.7%と最も高くなっています。「小学2年生」～「小学6年生」は、いずれも16.5%で均等な割合となっています。



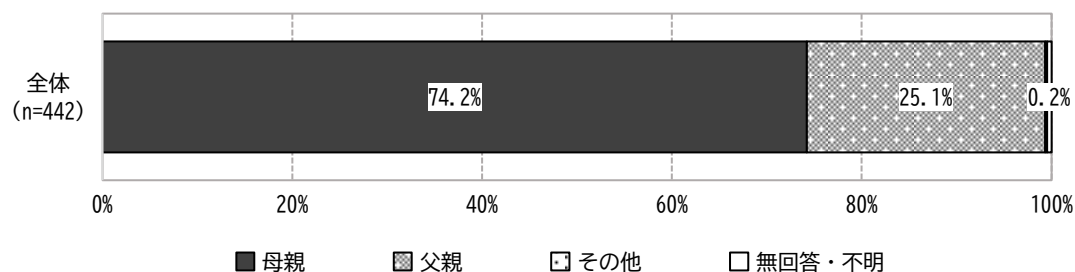
問3 子どもの人数

子どもの人数は、「2人」が45.9%と最も多く、以下、「3人」(29.2%)、「1人」(17.9%)、「4人以上」(6.8%)が続いています。



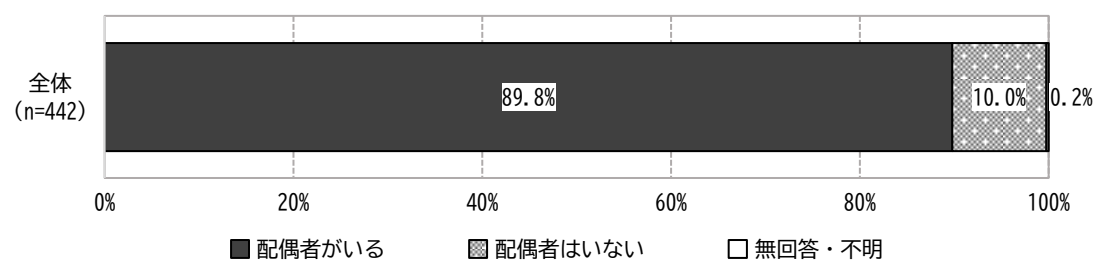
問4 回答者はどなたか

この調査の回答者は、「母親」が74.2%、「父親」が25.1%、「その他」が0.2%となっています。



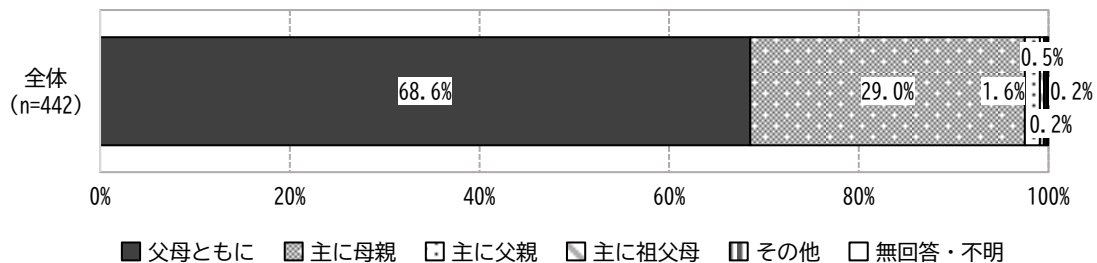
問5 回答者の配偶関係

回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が89.8%、「配偶者はいない」が10.0%となっています。



問6 子どもの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたか

子どもの子育てや教育を主に行っているのは、「父母ともに」が68.6%で最も多く、次いで「主に母親」（29.0%）、「主に父親」（1.6%）、「主に祖父母」（0.5%）が続いています。

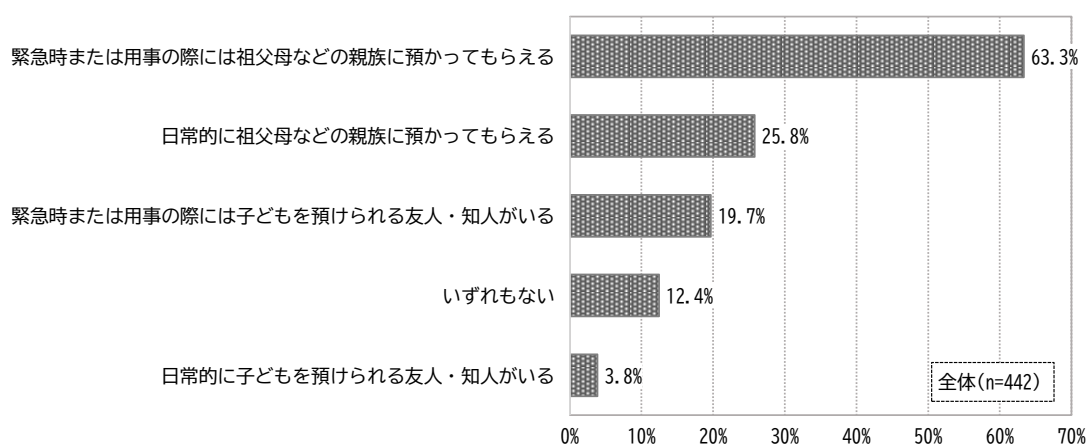


2-3 子育てをめぐる環境について

問7 日頃、子どもを預かってもらえる人がいるか【MA】

子どもを預かってもらえる人の有無は、「緊急時または用事の際には祖父母などの親族に預かってもらえる」が最も多く、6割を超えています。次いで「日常的に祖父母などの親族に預かってもらえる」（25.8%）、「緊急時または用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」（19.7%）、「日常的に子供を預けられる友人・知人がいる」（3.8%）と続いています。

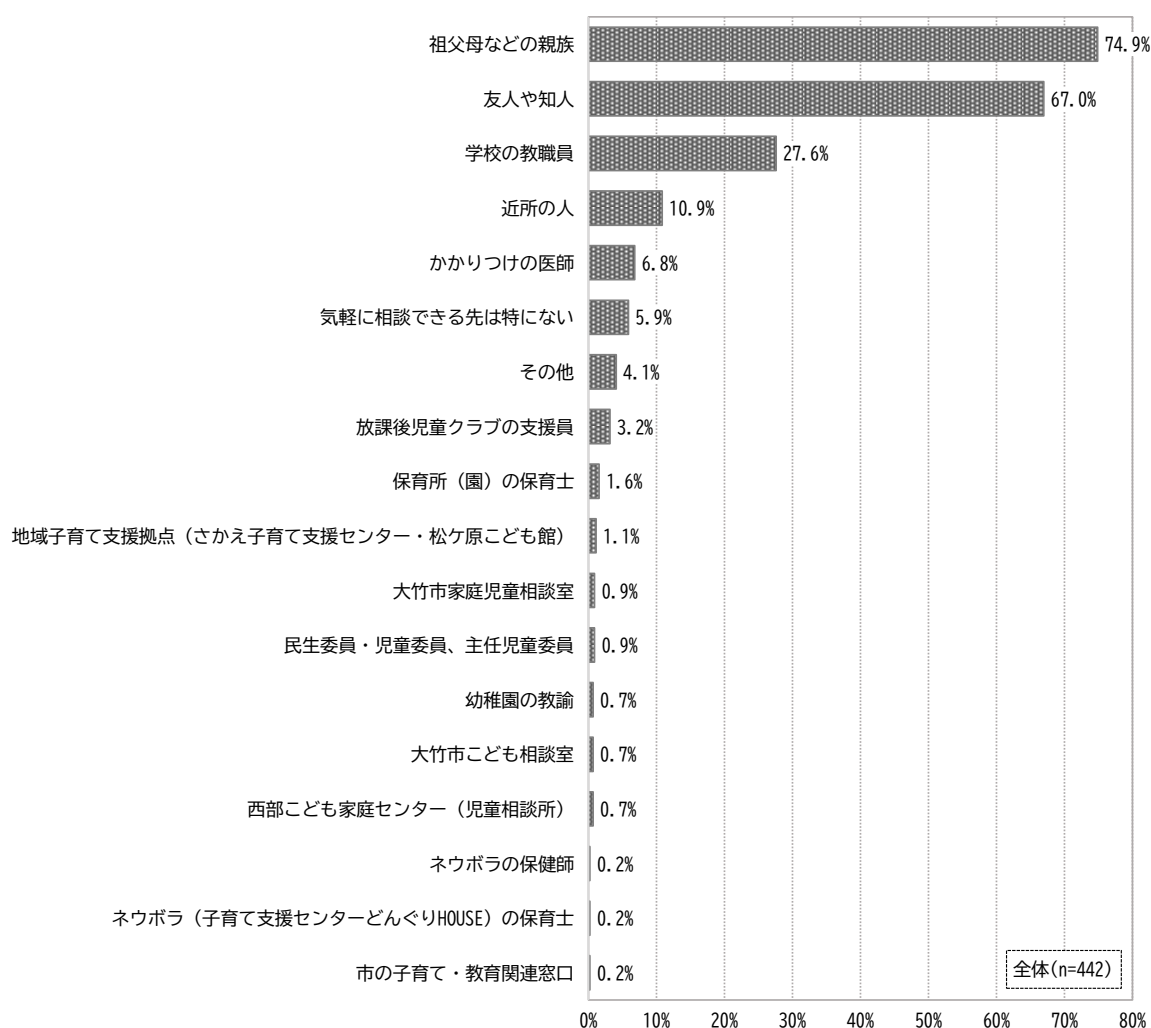
一方、「いずれもない」と回答した人の割合は12.4%となっています。



問8 子どもの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）か【MA】

子どもの子育てや教育に関して気軽に相談できる人や場所は、「祖父母などの親族」が74.9%と最も多く、次いで「友人や知人」（67.0%）、「学校の教職員」（27.6%）、「近所の人」（10.9%）、「かかりつけ医」（6.8%）が続いています。

一方、「気軽に相談できる先は特にない」と回答された方は5.9%と、全体で6番目に多くなっています。

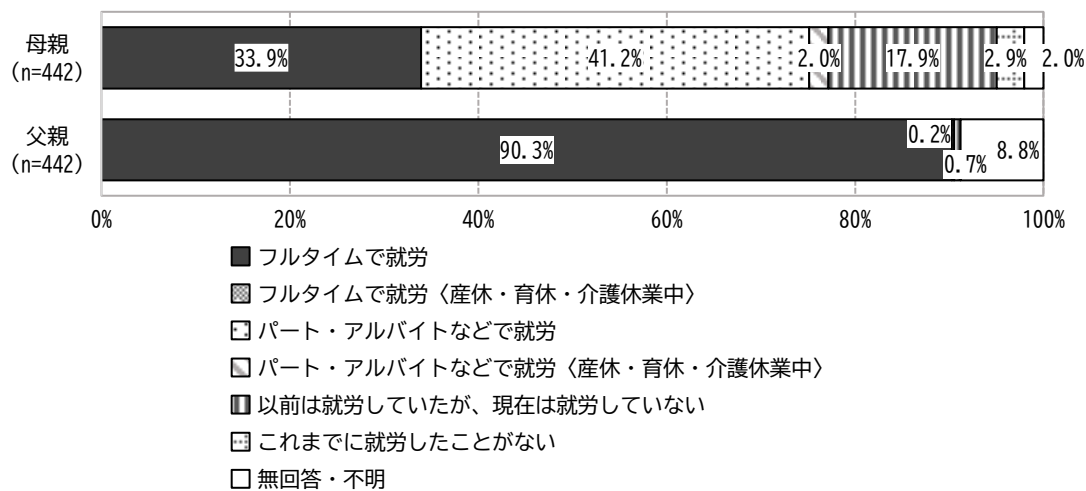


2-4 母親・父親の就労状況について

問9及び問10 母親・父親の現在の就労状況

母親の就労状況は、「パート・アルバイトなどで就労」が41.2%と最も多く、次いで「フルタイムで就労」(33.9%)、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(17.9%)が続いています。

父親の就労状況は、「フルタイムで就労」が最も多く9割を超えており、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」(0.7%)、「フルタイムで就労<産休・育休・介護休業中>」(0.2%)、が続いています



<前回調査との比較>

母親の場合、「フルタイムで就労」、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の人の割合が、前回調査時よりも増加しています。

表「母親の就労状況」の比較

回答	前回	今回
フルタイムで就労	32.8%	33.9%
フルタイムで就労<産休・育休・介護休業中>	1.2%	-
パート・アルバイトなどで就労	42.8%	41.2%
パート・アルバイトなどで就労<産休・育休・介護休業中>	2.0%	2.0%
以前は就労していたが、現在は就労していない	16.4%	17.9%
これまでに就労したことがない	3.0%	2.9%
無回答・不明	1.8%	2.0%

<前回調査との比較>

父親の場合、「フルタイムで就労」、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の人の割合が、前回調査時よりも増加しています。

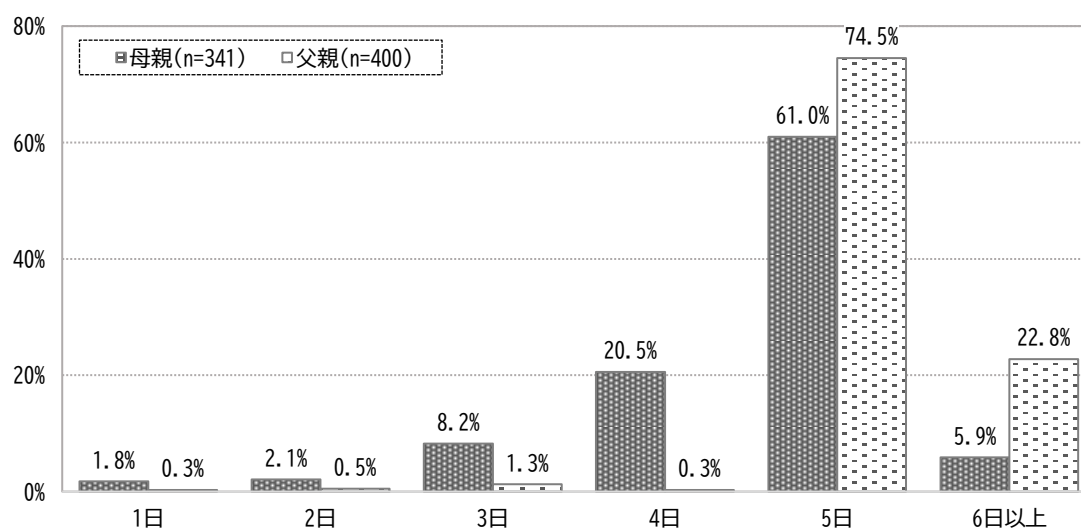
表「父親の就労状況」の比較

回答	前回	今回
フルタイムで就労	82.6%	90.3%
フルタイムで就労〈産休・育休・介護休業中〉	0.5%	0.2%
パート・アルバイトなどで就労	1.2%	-
パート・アルバイトなどで就労〈産休・育休・介護休業中〉	-	-
以前は就労していたが、現在は就労していない	-	0.7%
これまでに就労したことがない	-	-
無回答・不明	15.7%	8.8%

問9（1）及び問10（1） 就労している方の1週当たりの就労日数

母親の1週当たりの就労日数は、「5日」で61.0%と最も多く、次いで「4日」（20.5%）、3日（8.2%）が続いています。

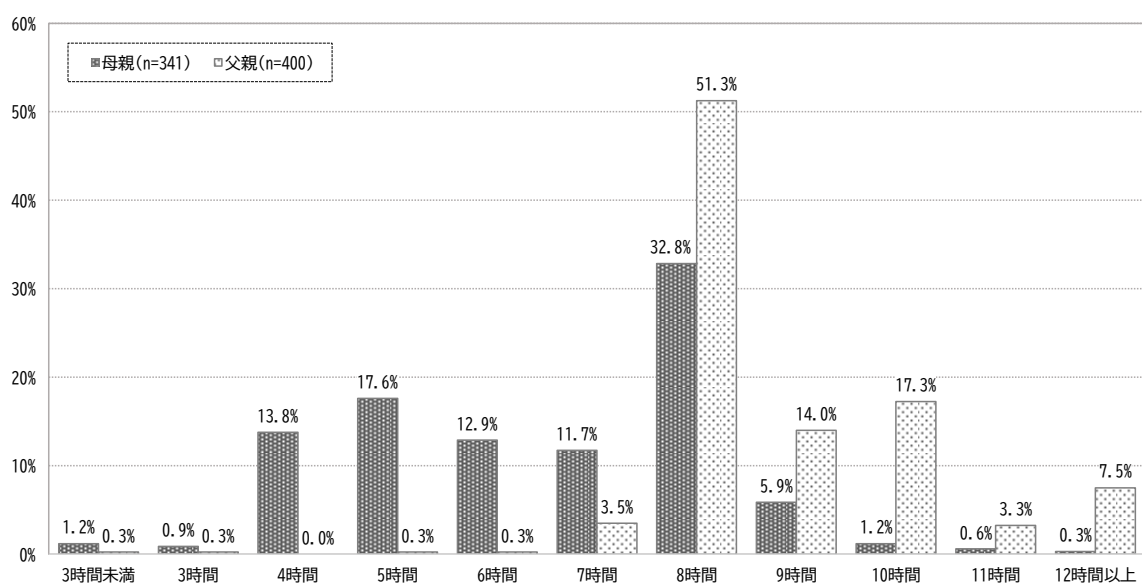
父親の1週当たりの就労日数は、「5日」が74.5%と最も多く、「6日以上」（22.8%）、「3日」（1.3%）が続いています。



問9（1）及び問10（1） 就労している方の1日当たりの就労時間

母親の1日当たりの就労時間は、「8時間」が32.8%と最も多くなっています。次いで「5時間」（17.6%）、「4時間」（13.8%）が続いています。

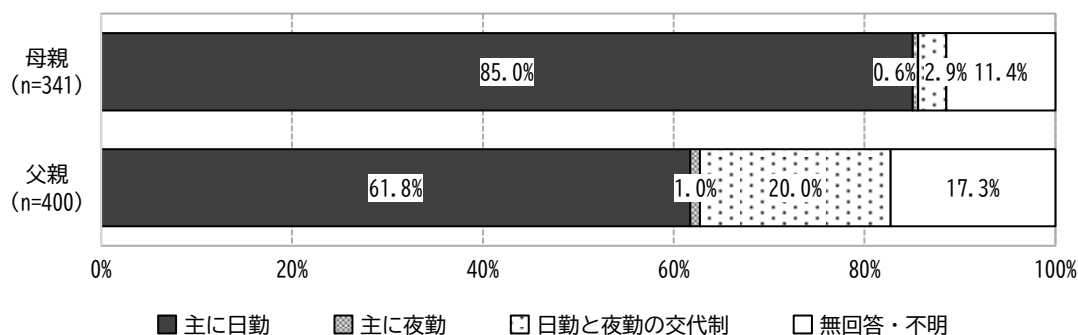
父親の1日当たりの就労時間は、「8時間」が51.3%と最も多くなっています。次いで「10時間」（17.3%）、「9時間」（14.0%）が続いています。



問9（1）及び問10（1） 就労している方の勤務時間帯

母親の勤務時間帯は「主に日勤」が85.0%、次いで「日勤と夜勤の交代制」（2.9%）、「主に夜勤」（0.6%）が続いています。

父親の勤務時間帯は、「主に日勤」が61.8%、次いで「日勤と夜勤の交代制」（20.0%）、「主に夜勤」（1.0%）が続いています。

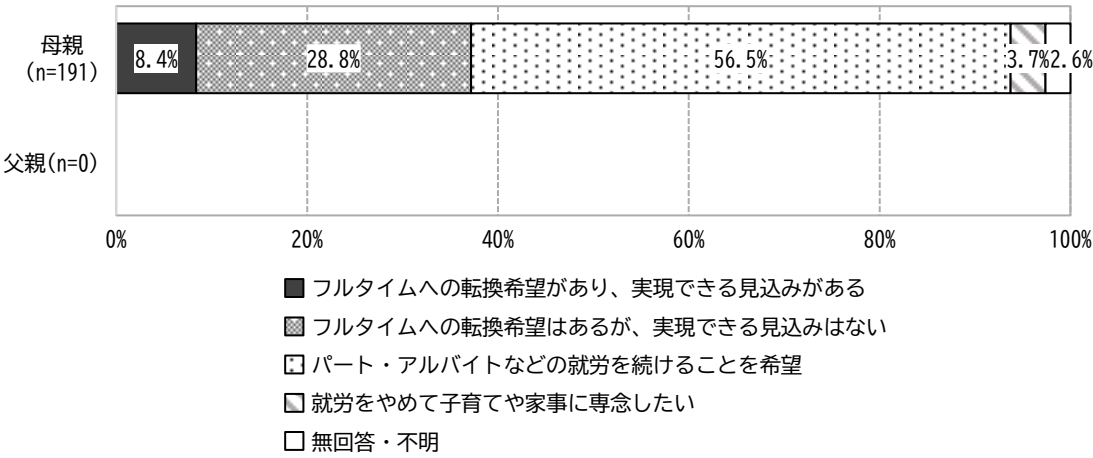


問9（2）及び問10（2） パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望

パート・アルバイト等で就労している人のフルタイムへの転換希望は、母親は「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望」が最も多く、半数以上が現状の就労形態の継続を希望しています。フルタイムへの転換希望は4割近くで、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が8.4%である一方、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が28.8%となっています。

一方で、「就労をやめて子育てや家事に専念したい」は3.7%となっています。

父親は対象者がいませんでした。



< 前回調査との比較 >

母親の場合、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」人の割合が、前回調査時より大幅に増加しています。なお、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」、「就労をやめて子育てや家事に専念したい」人の割合は微増しています。

表「母親のパート・アルバイト等からフルタイムへの転換希望」の比較

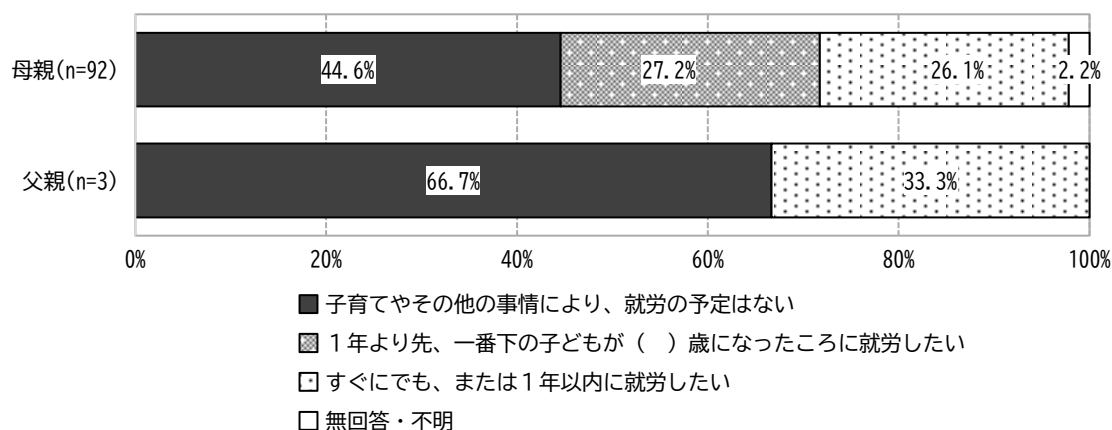
回答	前回	今回
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	5.6%	9.8%
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	20.0%	32.7%
パート・アルバイトなどでの就労を続けることを希望	59.4%	49.0%
就労をやめて子育てや家事に専念したい	1.7%	5.2%
無回答・不明	13.3%	2.6%

問9（3）及び問10（3） 就労していない方の就労希望

現在就労していない人の今後の就労希望は、母親は「子育てやその他の事情により、就労の予定はない」が最も多く、4割以上を占めています。次いで「1年よりも先、一番下の子どもが（ ）歳になったら就労したい」（27.2%）、「すぐにでも、または1年以内に就労したい」（26.1%）が続いています。

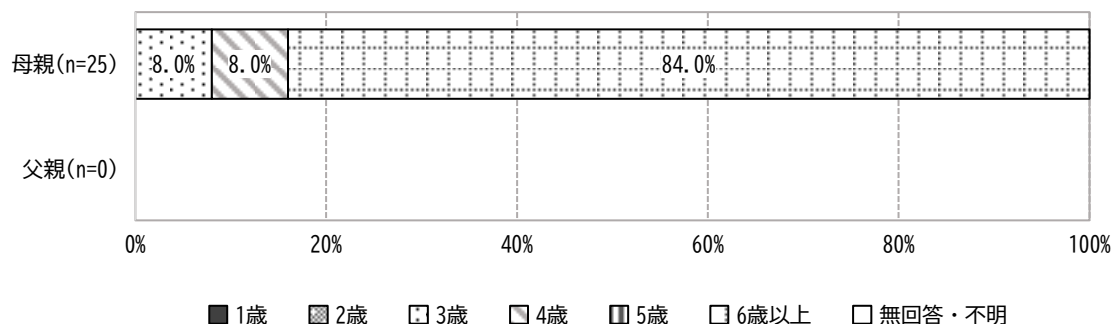
希望する就労時期の末子の年齢は、「6歳以上」が8割以上で最も多く、次いで「3歳」・「4歳」（ともに8.0%）が続いています。

父親は、「子育てやその他の事情により、就労の予定はない」が66.7%で最も多く、「すぐにでも、または1年以内に就労したい」が33.3%となっています。



※父親はサンプル数が少ないため留意が必要。

【1番下の子が何歳になった頃に就労したいか】



<前回調査との比較>

母親の場合、「子育てやその他の事情により、就労の予定はない」人の割合が、前回調査時より増加しています。「1年よりも先、一番下の子どもが（ ）歳になったら就労したい」人の割合も増えています。

表「母親で就労していない人の就労希望」の比較

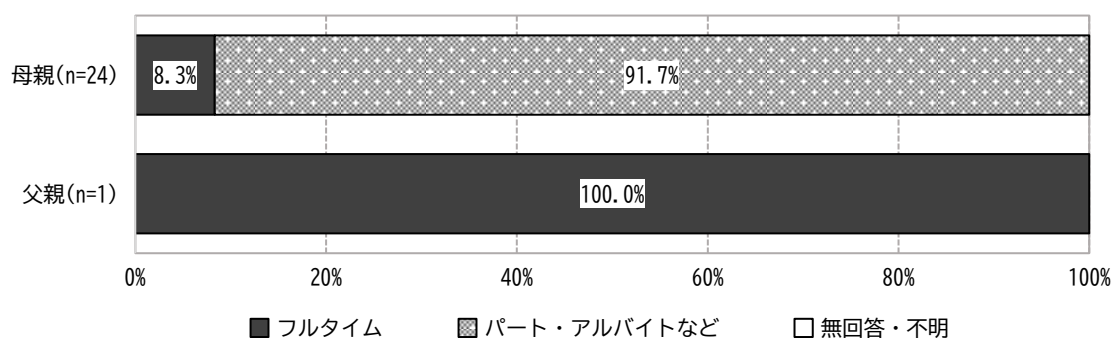
回答	前回	今回
子育てやその他の事情により、就労の予定はない	33.3%	44.6%
1年よりも先、一番下の子どもが（ ）歳になったら就労したい	23.1%	27.2%
すぐにでも、または1年以内に就労したい	24.4%	26.1%
無回答・不明	19.2%	2.2%

問9（3）及び問10（3） 「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方の希望する就労形態

希望する就労形態は、母親は「パート・アルバイトなど」が91.7%に上り、「フルタイム」は8.3%に留まっています。父親は「フルタイム」と1人が回答しています。

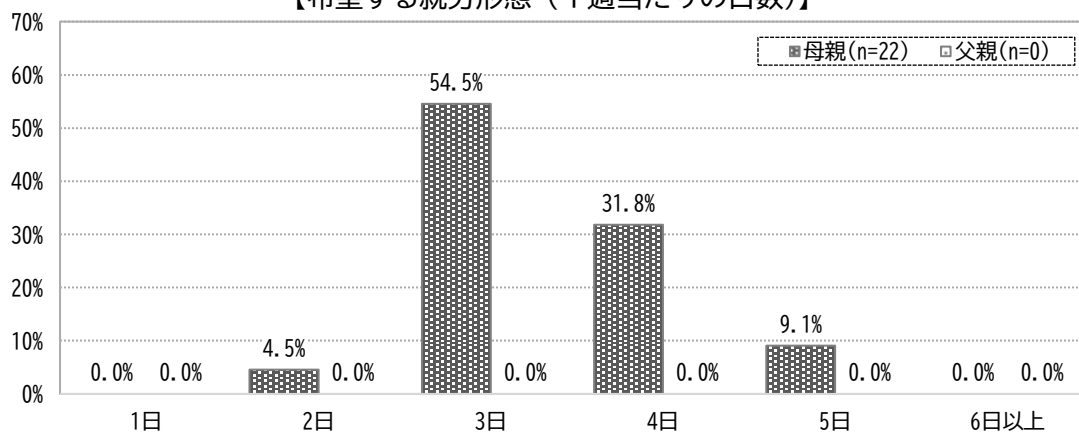
1週当たりの希望就労日数は、母親は「3日」が54.5%と最も多く、次いで「4日」(31.8%)、「5日」(9.1%)の順となっています。

1日当たりの希望就労時間は、母親は「4時間」が40.9%と最も多く、次いで「5時間」(36.4%)、「6時間」(9.1%)となっています。

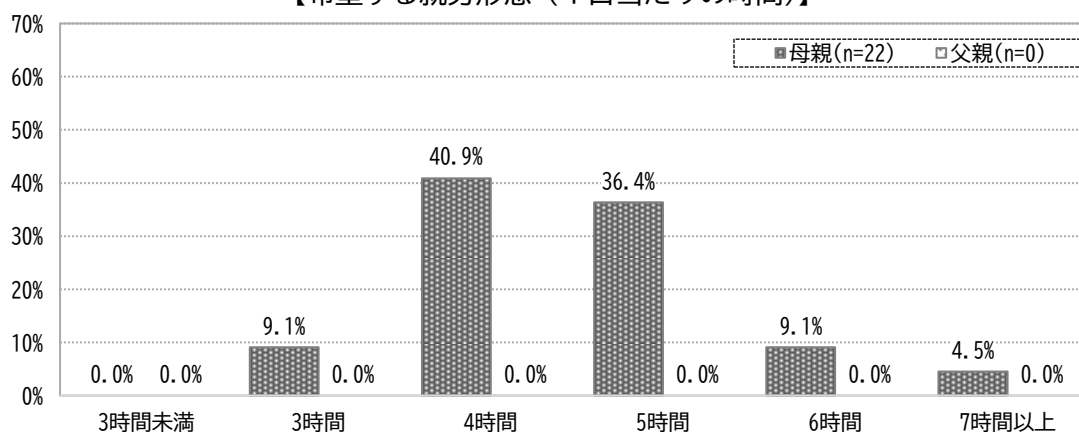


※父親はサンプル数が少ないため留意が必要。

【希望する就労形態（1週当たりの日数）】

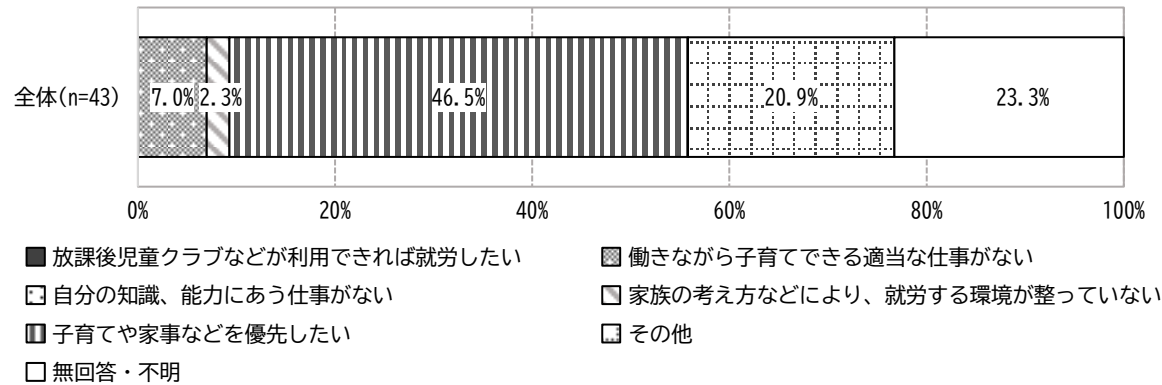


【希望する就労形態（1日当たりの時間）】



※問9（3）または問10（3）で「1.子育てやその他の事情により、就労の予定はない」と回答した方
問11 現在働いていない理由

現在働いていない理由は、「子育て家事などを優先したい」が46.5%で最も多く、次いで「その他」(20.9%)、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」(7.0%)、「家族の考えなどにより、就労する環境が整っていない」(2.3%)が続いています。

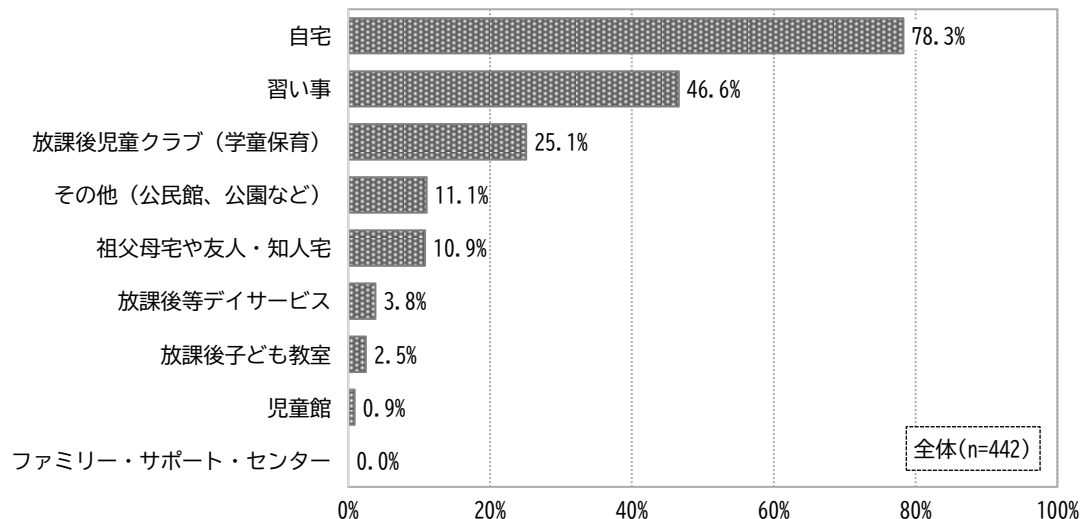


2-5 放課後児童クラブなどの子育て支援サービスの利用について

問 12 現在、放課後の時間をどのような場所で過ごしているか

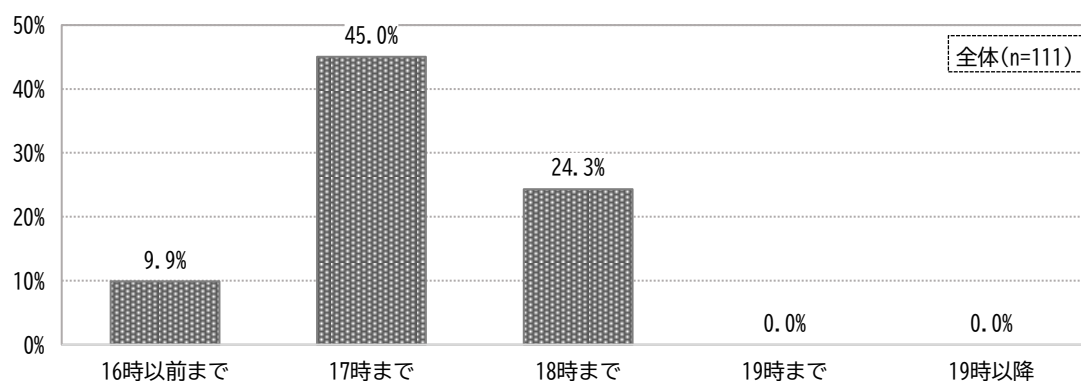
小学生の子どもが放課後の時間を過ごす場所は、「自宅」が78.3%で最も多く、次いで「習い事」(46.6%)、「放課後児童クラブ（学童保育）」(25.1%)が続いています。

放課後児童クラブの利用時間は、「17時まで」が45.0%で最も多く、次いで「18時まで」(24.3%)となっています。



回答項目	全体(n=)	1日	2日	3日	4日	5日	6日以上	無回答・不明
自宅	346	36 10.4%	41 11.8%	40 11.6%	29 8.4%	131 37.9%	61 17.6%	8 2.3%
祖父母宅や 友人・知人宅	48	24 50.0%	12 25.0%	3 6.3%	1 2.1%	5 10.4%	1 2.1%	2 4.2%
習い事	206	39 18.9%	64 31.1%	54 26.2%	30 14.6%	11 5.3%	6 2.9%	2 1.0%
児童館	4	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
放課後 子ども教室	11	7 63.6%	2 18.2%	1 9.1%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%
放課後児童 クラブ（学童保育）	111	4 3.6%	7 6.3%	13 11.7%	11 9.9%	52 46.8%	10 9.0%	14 12.6%
放課後等 デイサービス	17	2 11.8%	3 17.6%	2 11.8%	2 11.8%	6 35.3%	2 11.8%	0 0.0%
ファミリー・ サポート・センター	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他 （公民館、公園など）	49	14 28.6%	20 40.8%	4 8.2%	4 8.2%	3 6.1%	0 0.0%	4 8.2%

【放課後児童クラブを何時まで利用しているか】



<前回調査との比較>

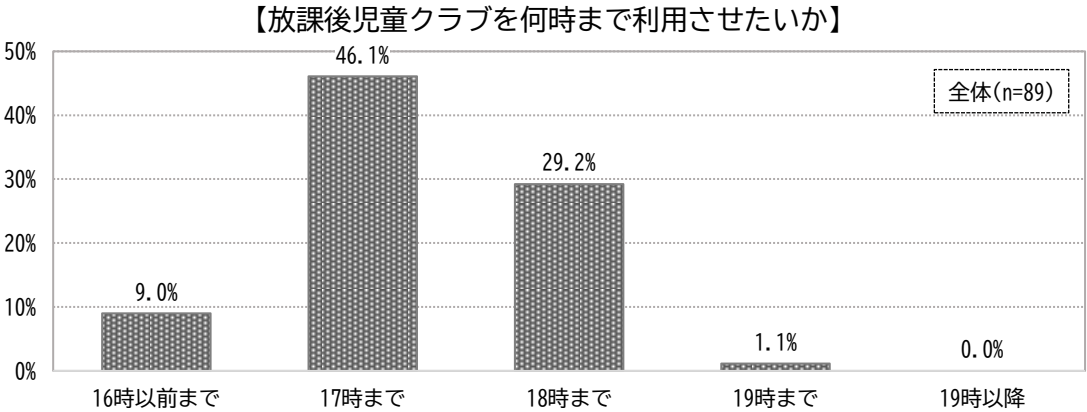
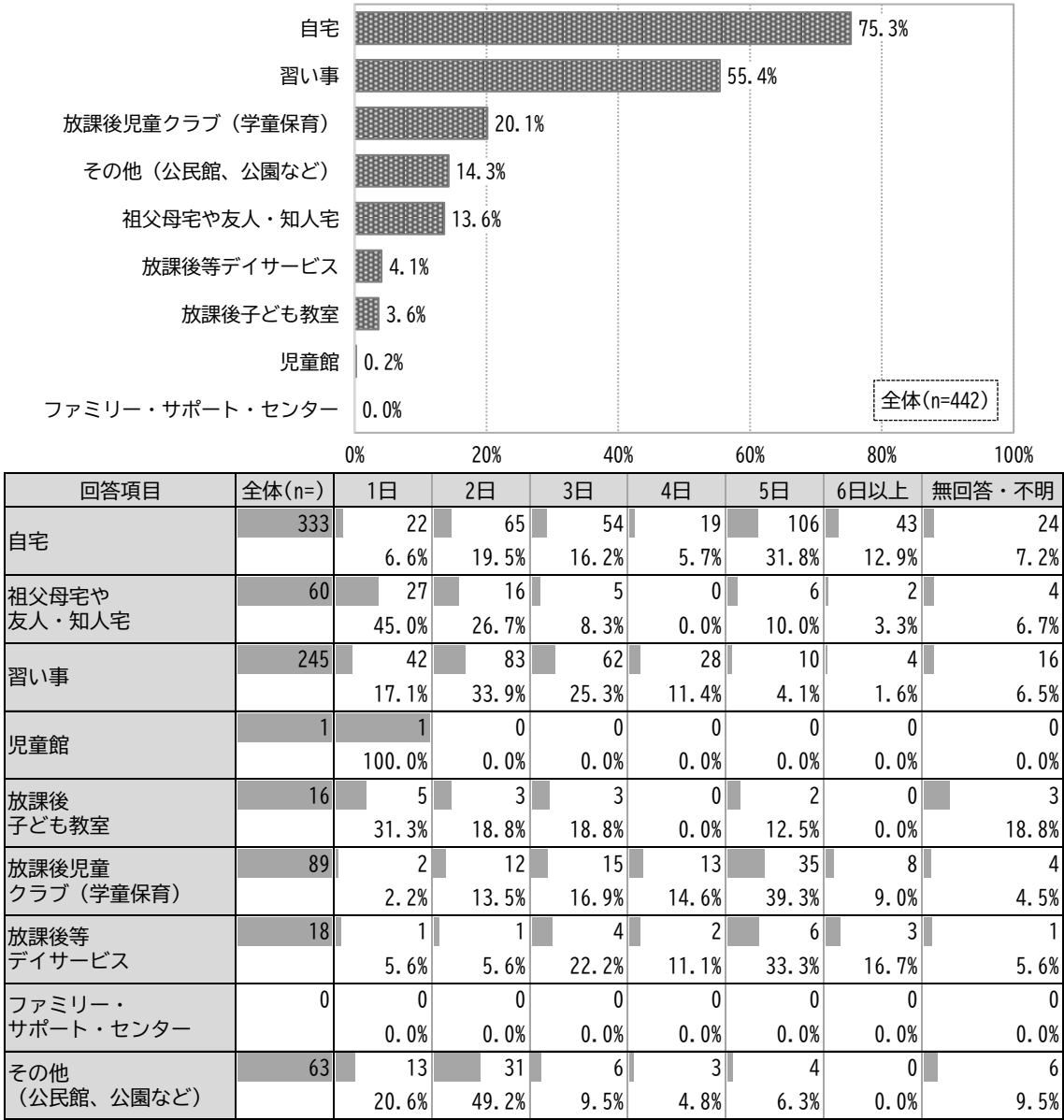
「自宅」の人の割合が、前回調査時より増加しています。今回新たに設けられた「児童館」「放課後等デイサービス」の人の利用も若干みられます。

表「放課後の時間を過ごす場所」の比較

回答	前回	今回
自宅	70.1%	78.3%
祖父母宅や友人・知人宅	13.2%	10.9%
習い事	48.3%	46.6%
児童館	－	0.9%
放課後子ども教室	5.5%	2.5%
放課後児童クラブ（学童保育）	26.6%	25.1%
放課後等デイサービス	－	3.8%
ファミリー・サポート・センター	－	0.0%
その他（公民館、公園など）	11.4%	11.1%
学校でのクラブ活動	2.0%	－

問 13 今後、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいか。

小学生の子どもが今後、放課後の時間を過ごす場所についての希望は、「自宅」が75.3%で最も多く、次いで「習い事」(55.4%)、「放課後児童クラブ（学童保育）」(20.1%)が続いています。
放課後児童クラブの利用希望時間は、「17 時まで」が46.1%で最も多く、次いで「18 時まで」(29.2%)が続いています。

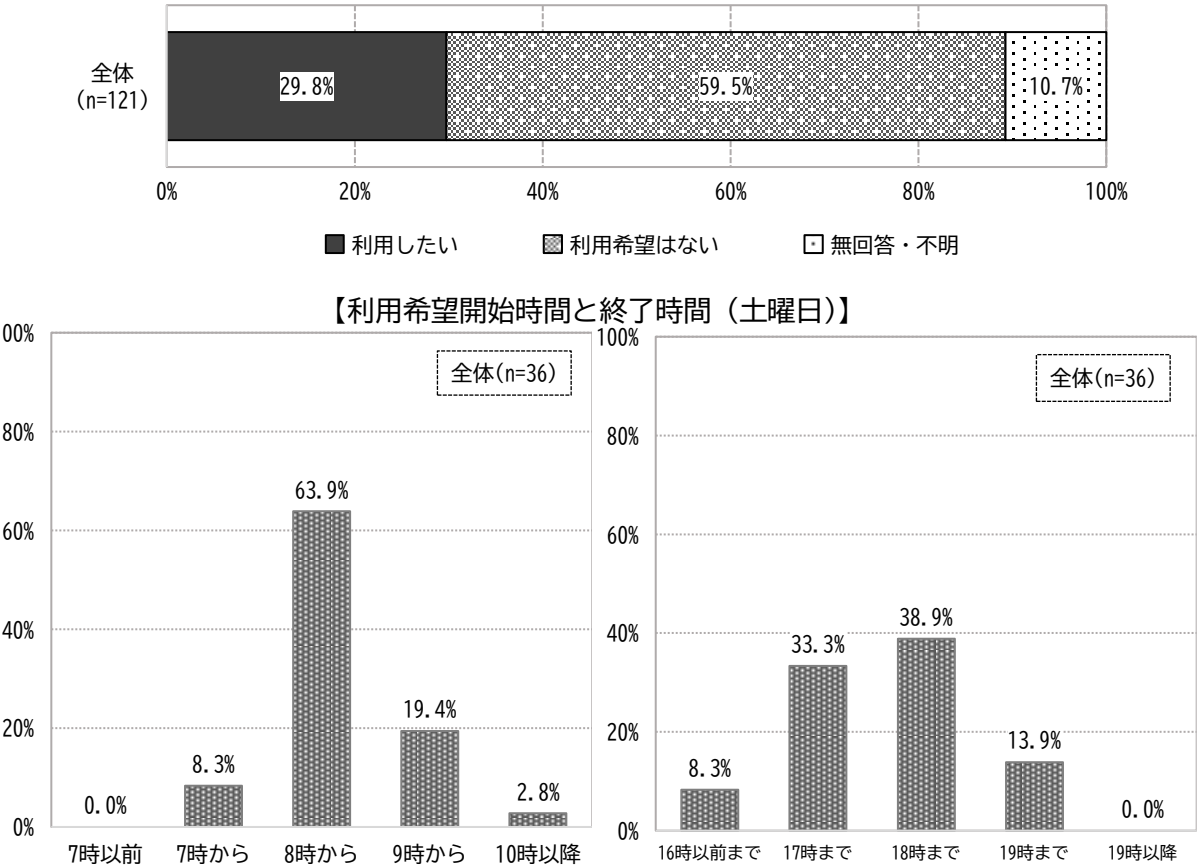


※問 12 または問 13 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」と回答した方
問 14 土曜日の「放課後児童クラブ」の利用希望

土曜日の「放課後児童クラブ」の利用希望について、「利用希望はない」が 59.5%、「利用したい」が 29.8%となっています。

「利用したい」と回答した人の利用開始時間の希望は、「8 時から」が 63.9%で最も多く、次いで「9 時から」（19.4%）、「7 時から」（8.3%）が続いています。

また、終了時間の希望は、「18 時まで」が 38.9%で最も多く、次いで「17 時まで」（33.3%）、「19 時まで」（13.9%）が続いています。



< 前回調査との比較 >

「利用したい」人の割合が、前回調査時よりも減少しています。

表「土曜日の放課後児童クラブの利用希望」の比較

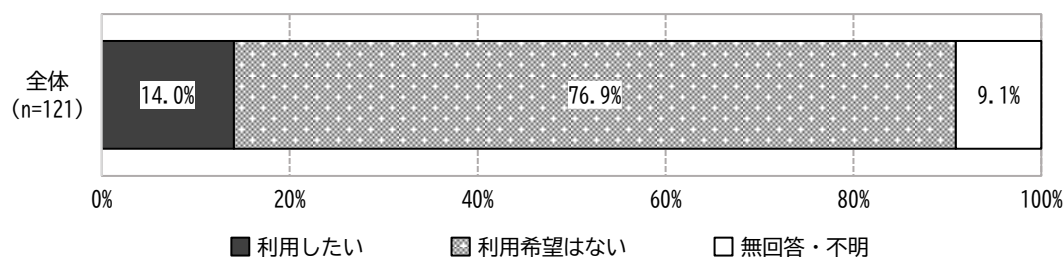
回答	前回	今回
利用したい	30.7%	29.8%
（低学年の間は利用したい）	（15.8%）	－
（高学年になっても利用したい）	（14.9%）	－
利用する必要はない（前回調査時「利用希望はない」）	59.6%	59.5%
無回答・不明	10.0%	10.7%

※問 12 または問 13 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」と回答した方
問 15 日曜日・祝日の「放課後児童クラブ」の利用希望

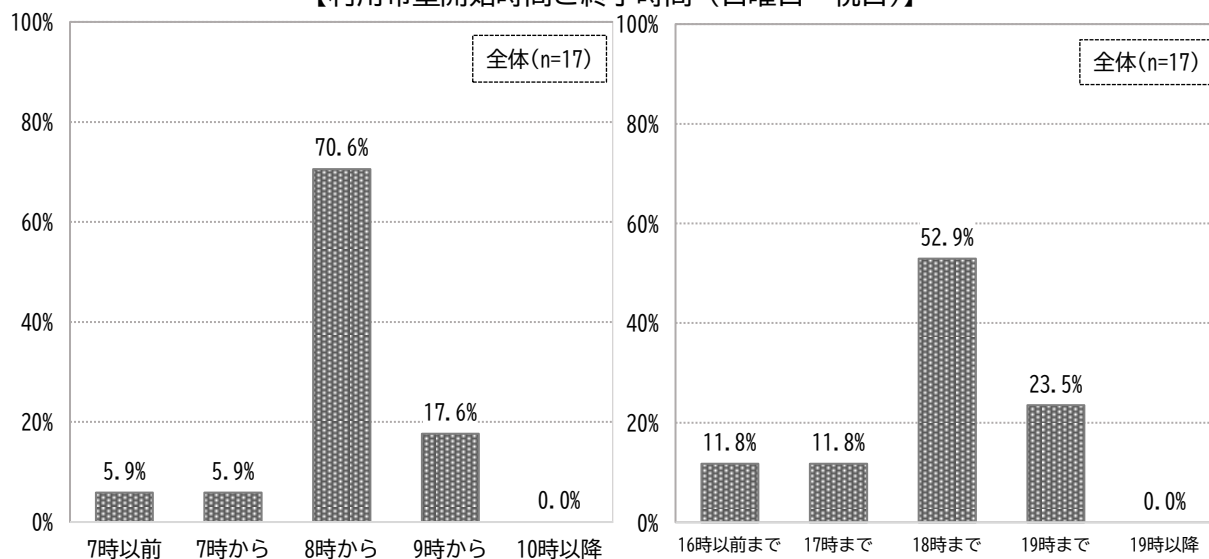
日曜日・祝日の「放課後児童クラブ」の利用希望について、「利用希望はない」が 76.9%、「利用したい」が 14.0%となっています。

「利用したい」と回答した人の利用開始時間の希望は、「8 時から」が 70.6%で最も多く、次いで「9 時から」（17.6%）、「7 時以前」・「7 時から」（ともに 5.9%）が続いています。

また、終了時間の希望は、「18 時まで」が 52.9%で最も多く、次いで「19 時まで」（23.5%）、「16 時以前まで」・「17 時まで」（ともに 11.8%）が続いています。



【利用希望開始時間と終了時間（日曜日・祝日）】



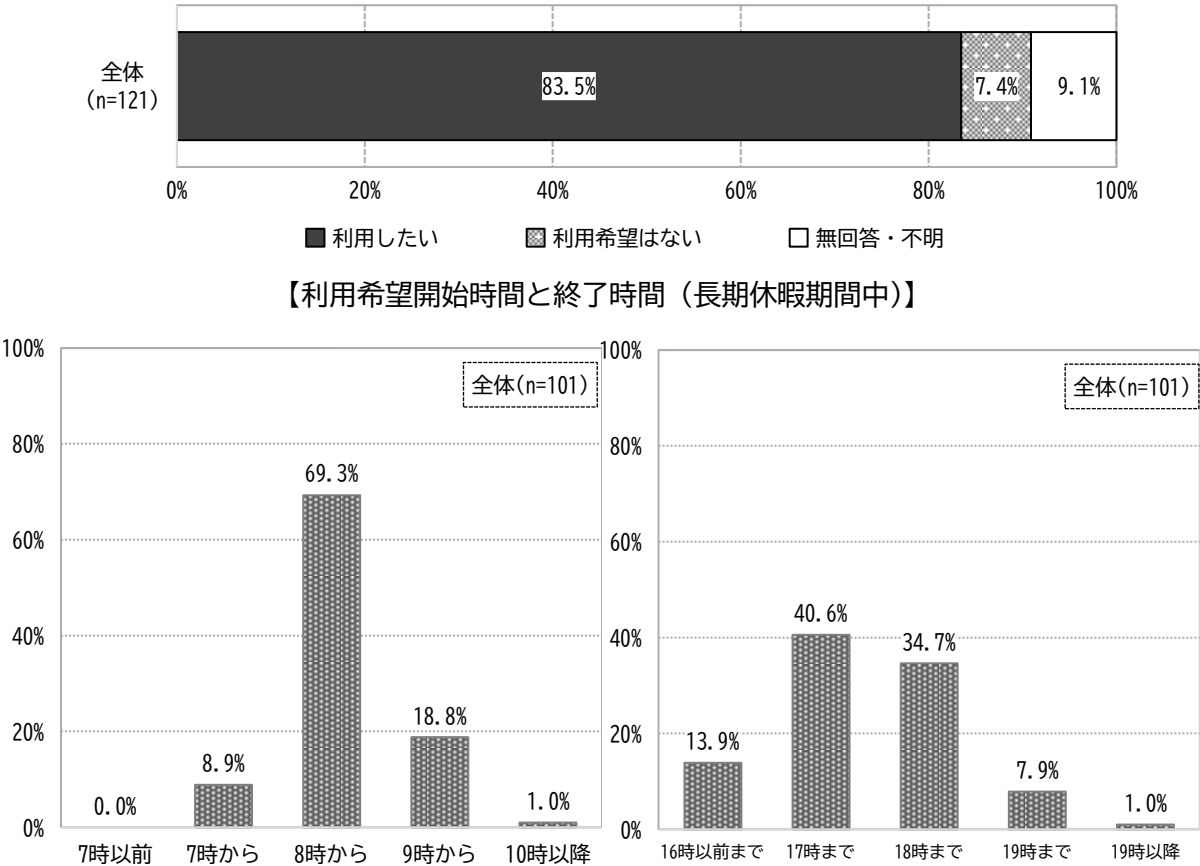
※今回新設された設問のため、前回調査との比較はありません。

※問 12 または問 13 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」と回答した方
問 16 長期休暇期間中の「放課後児童クラブ」の利用希望

長期休暇期間中の「放課後児童クラブ」の利用希望について、「利用したい」が8割を超えており、「利用希望はない」の7.4%を大きく上回っています。

「利用したい」と回答した人の利用開始時間の希望は、「8時から」が69.3%で最も多く、次いで「9時から」（18.8%）、「7時から」（8.9%）が続いています。

また、終了時間の希望は、「17時まで」が40.6%で最も多く、次いで「18時まで」（34.7%）、「16時以前まで」（13.9%）が続いています。



< 前回調査との比較 >

「利用したい」人の割合が前回調査時よりも2倍以上と大幅に増加しています。

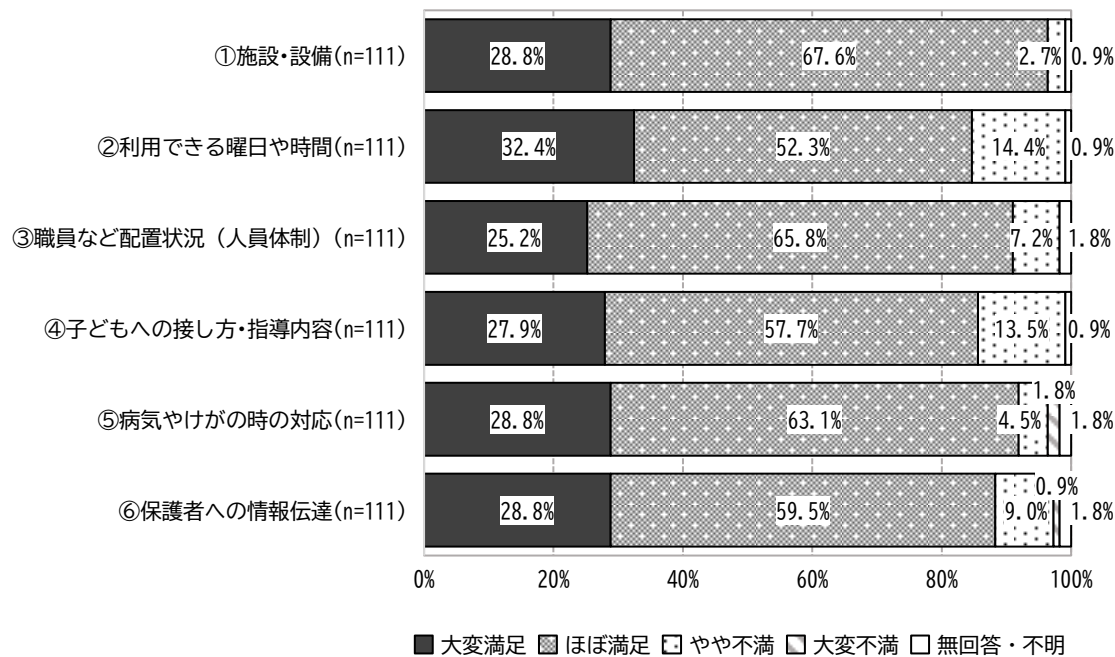
表「長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望」の比較

回答	前回	今回
利用したい	38.5%	83.5%
（低学年の間は利用したい）	（16.9%）	－
（高学年になっても利用したい）	（21.6%）	－
利用する必要はない（前回調査時「利用希望はない」）	51.5%	7.4%
無回答・不明	9.7%	9.1%

※現在「放課後児童クラブ」を利用している方
問 17 現在、利用している放課後児童クラブに対してどのように感じているか

現在、利用している放課後児童クラブに対する満足度について、「大変満足」と「ほぼ満足」を合わせた“満足”が、全ての項目で8割以上を占めています。特に「施設・設備」、「職員など配置状況（人員体制）」、「病気やけがの時の対応」で9割を超えています。

一方で、「やや不満」と「大変不満」を合わせた“不満”は、「利用できる曜日や時間」、「子どもへの接し方・指導内容」、「保護者への情報伝達」で他に比べて割合が高くなっており、改善が求められます。



< 前回調査との比較 >

①施設・設備

「ほぼ満足」の人の割合が前回調査時より増加している一方、「大変満足」の人の割合は減少しています。

表「施設・設備の満足度」の比較

回答	前回	今回
大変満足	43.0%	28.8%
ほぼ満足	49.5%	67.6%
やや不満	0.9%	2.7%
大変不満	-	-
無回答・不明	6.6%	0.9%

②利用できる曜日や時間

「ほぼ満足」、の人の割合が前回調査時より増加している一方、「大変満足」の人の割合は減少しています。「やや不満」の人の割合も増えています。

表「利用できる曜日や時間の満足度」の比較

回答	前回	今回
大変満足	34.6%	32.4%
ほぼ満足	45.8%	52.3%
やや不満	10.3%	14.4%
大変不満	2.8%	-
無回答・不明	6.5%	0.9%

③職員など配置状況（人員体制）

「ほぼ満足」の人の割合が前回調査時より増加している一方、「大変満足」の人の割合は減少しています。「やや不満」の人の割合も増えています。

表「職員など配置状況（人員体制）の満足度」の比較

回答	前回	今回
大変満足	36.4%	25.2%
ほぼ満足	54.2%	65.8%
やや不満	2.8%	7.2%
大変不満	-	-
無回答・不明	6.6%	1.8%

④子どもへの接し方・指導内容

「ほぼ満足」の人の割合が前回調査時より増加している一方、「大変満足」の人の割合は減少しています。「やや不満」の人の割合も増えています。

表「子どもへの接し方・指導内容の満足度」の比較

回答	前回	今回
大変満足	29.9%	27.9%
ほぼ満足	53.3%	57.7%
やや不満	9.3%	13.5%
大変不満	0.9%	-
無回答・不明	6.6%	0.9%

⑤病気やけがの時の対応

「ほぼ満足」の人の割合が前回調査時より増加している一方、「大変満足」の人の割合は減少しています。「やや不満」の人の割合も減っています。

表「病気やけがの時の対応の満足度」の比較

回答	前回	今回
大変満足	29.9%	28.8%
ほぼ満足	55.1%	63.1%
やや不満	8.4%	4.5%
大変不満	-	1.8%
無回答・不明	6.6%	1.8%

⑥保護者への情報伝達

「ほぼ満足」の人の割合が前回調査時より増加している一方、「大変満足」の人の割合は減少しています。

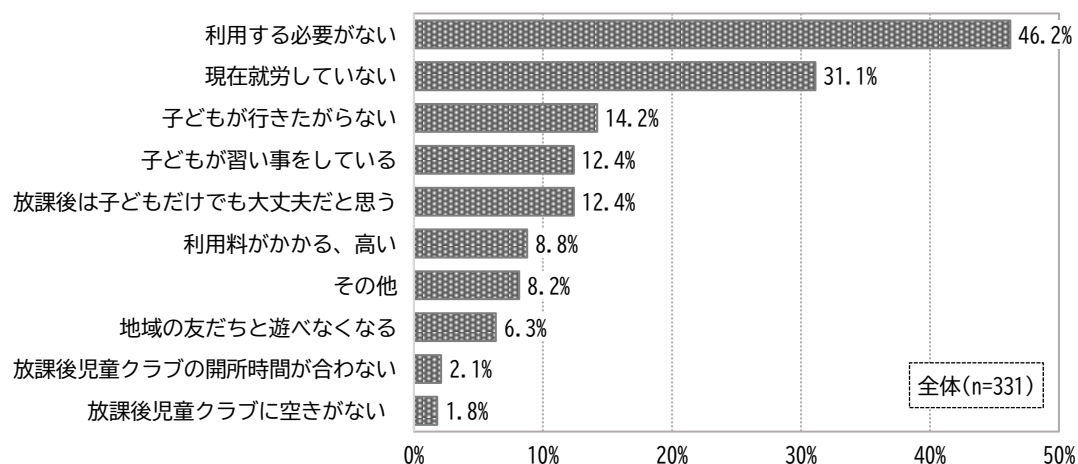
表「保護者への情報伝達の満足度」の比較

回答	前回	今回
大変満足	31.8%	28.8%
ほぼ満足	50.5%	59.5%
やや不満	10.3%	9.0%
大変不満	-	0.9%
無回答・不明	7.4%	1.8%

※現在「放課後児童クラブ」を利用していない方

問 18 現在、放課後児童クラブを利用していない理由

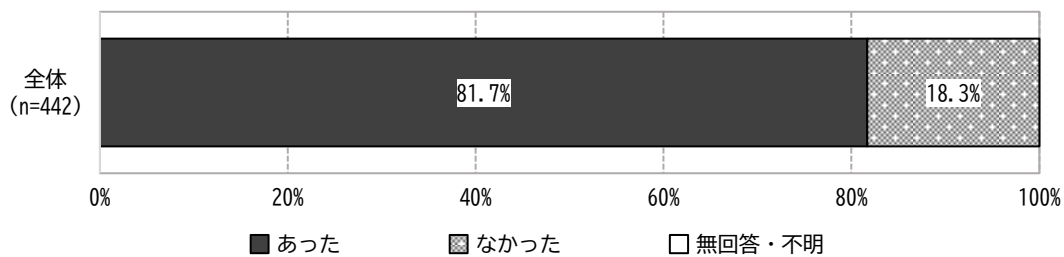
現在、放課後児童クラブを利用していない理由は、「利用する必要がある」が46.2%で最も多く、次いで「現在就労していない」(31.1%)、「子どもが行きたがらない」(14.2%)、「子どもが習い事をしている」・「放課後は子どもだけで大丈夫だと思う」(ともに12.4%)が続いています。



2-6 子どもの病気の際の対応について

問 19 この1年間に、子どもが病気やけがで小学校を休まなければならなかったことがあったか

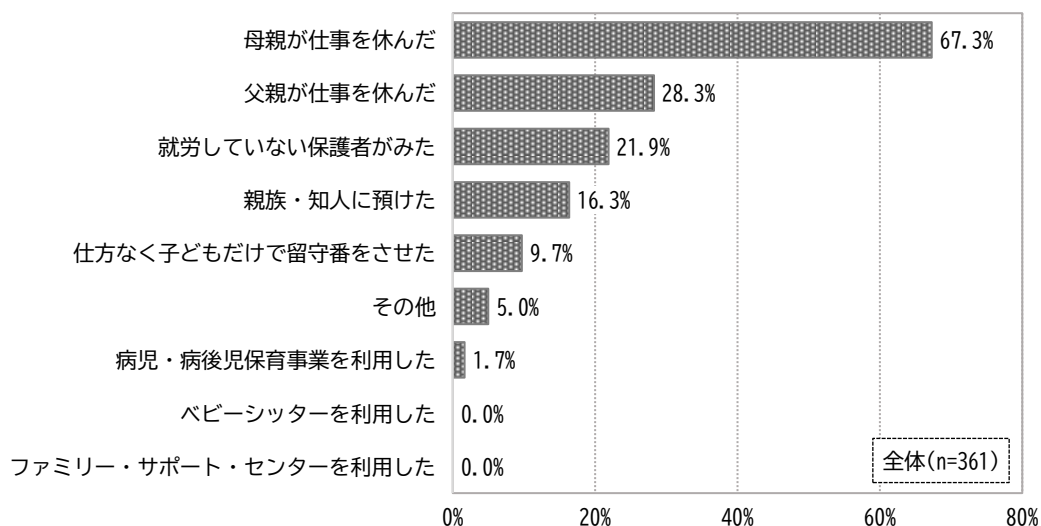
病気やけがで小学校を休まなければならなかったことの有無は、「あった」が81.7%、「なかった」が18.3%となっています。



問 19-1 子どもが病気やけがで小学校を休まなければならなかった時、この1年間に行った対処方法【MA】

子どもが病気やけがで小学校を休まなければならなかった時の対処方法は、「母親が仕事を休んだ」が67.3%で最も多く、次いで「父親が仕事を休んだ」(28.3%)、「就労していない保護者がみた」(21.9%)、「親族・知人に預けた」(16.3%)、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」(9.7%)が続いています。

病児・病後児保育事業の利用は1.7%となっています。



問 19-1 子どもが病気やけがで小学校を休まなければならなかった時に、この1年間に対処した日数

小学校を休まなければならなかった時、この1年間に対処した日数は、母親が仕事を休んだ日数は「5日」の22.6%が最も多くなっています。

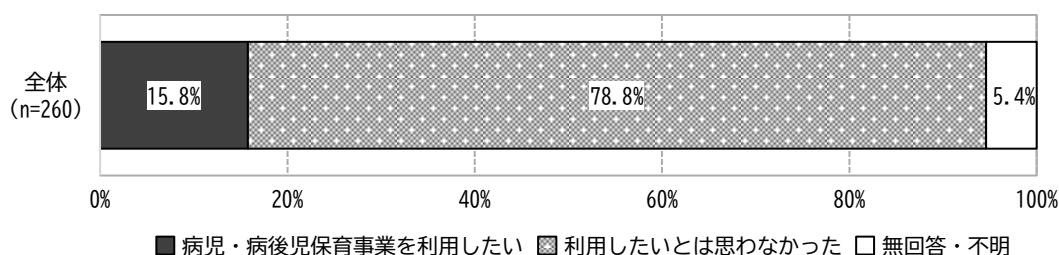
また、父親が仕事を休んだ日数は「2日」の30.4%、親族・知人に預けた日数は「2日」の23.7%、就労していない保護者がみた日数は「3日」の15.2%が最も多くなっています。

回答項目	全体(n=)	1日	2日	3日	4日	5日	6～9日	10日以上	無回答・不明
母親が仕事を休んだ	243	13 5.3%	29 11.9%	41 16.9%	8 3.3%	55 22.6%	30 12.3%	60 24.7%	7 2.9%
父親が仕事を休んだ	102	20 19.6%	31 30.4%	15 14.7%	3 2.9%	12 11.8%	5 4.9%	12 11.8%	4 3.9%
親族・知人に預けた	59	6 10.2%	14 23.7%	8 13.6%	1 1.7%	13 22.0%	7 11.9%	4 6.8%	6 10.2%
就労していない保護者がみた	79	6 7.6%	10 12.7%	12 15.2%	3 3.8%	7 8.9%	10 12.7%	25 31.6%	6 7.6%
病児・病後児保育事業を利用した	6	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%
ベビーシッターを利用した	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
ファミリー・サポート・センターを利用した	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	35	7 20.0%	9 25.7%	5 14.3%	3 8.6%	4 11.4%	2 5.7%	3 8.6%	2 5.7%
その他	18	2 11.1%	2 11.1%	3 16.7%	0 0.0%	2 11.1%	2 11.1%	1 5.6%	6 33.3%

※問 19-1 で「1.」または「2.」（父親または母親が仕事を休んだ）に○をつけた方

問 19-2 その際、「病児・病後児保育事業を利用したい」と思ったか

子どもの病気やけがの対処で父親か母親のいずれかが仕事を休んだと回答した方のうち、病児・病後児保育事業の利用意向については、「利用したいと思わなかった」が78.8%、「病児・病後児保育事業を利用したい」が15.8%となっています。

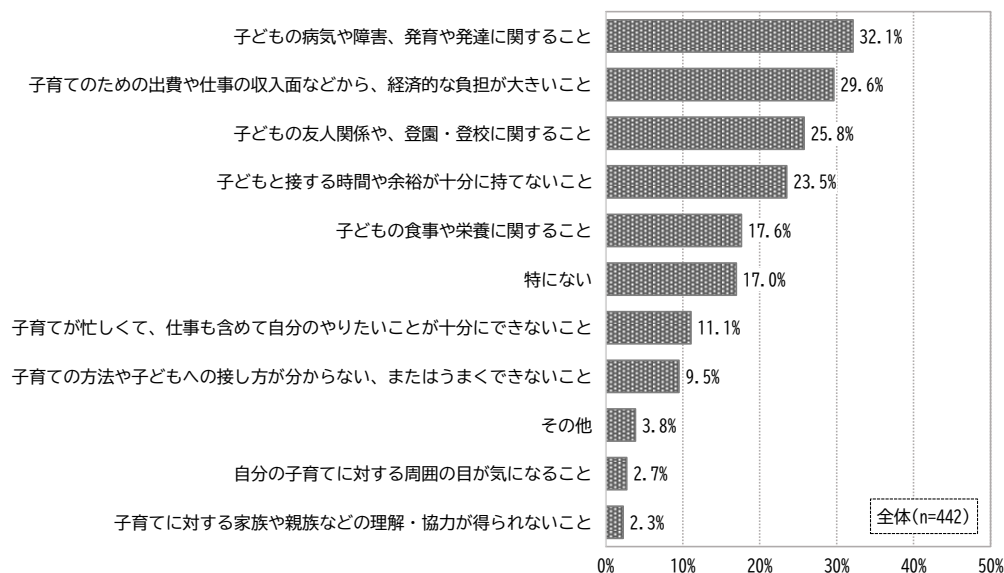


回答項目	全体(n=)	1日	2日	3日	4日	5日	6～9日	10日以上	無回答・不明
病児・病後児保育事業を利用したい	41	3 7.3%	4 9.8%	6 14.6%	1 2.4%	9 22.0%	6 14.6%	6 14.6%	6 14.6%

2-7 子育ての悩みや相談先などについて

問 20 子育てについて、日頃悩んでいることや気になること【MA】

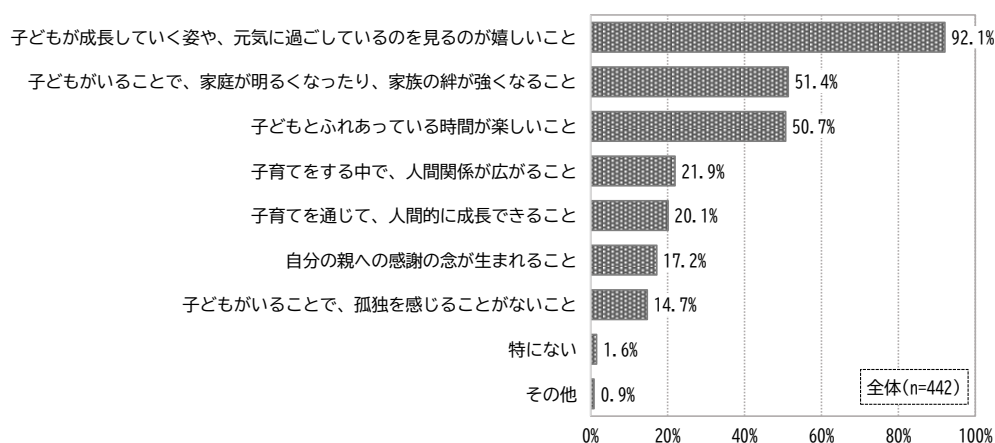
子育てに関する悩みや気になることは、「子どもの病気や障害、発育や発達に関すること」が32.1%で最も多く、次いで「子育てのための出費や仕事の収入面などから、経済的な負担が大きいこと」(29.6%)、「子どもの友人関係や、登園・登校に関すること」(25.8%)が続いています。



	回答項目	障害、子どもの病 気や発育や発 達	子どもの食事や 栄養	子ども の友人・登 校	子ども への接し方 方法	子どもと接 する時間や 余裕	自 分のやりた いこと にできな いこと	家 族や親族 などの 理解・協 力	自 分の子育 てに 対する周 囲の目	経 済的 な負 担	そ の 他	特 に な い	無 回 答	回 答 者 数
	全体(n=442)	32.1%	17.6%	25.8%	9.5%	23.5%	11.1%	2.3%	2.7%	29.6%	3.8%	17.0%	0.5%	100.0%
【居住地区】	大竹地区(n=232)	34.9%	18.1%	25.0%	9.5%	25.9%	10.8%	3.0%	1.7%	28.0%	4.3%	15.1%	0.9%	100.0%
	小方地区(n=143)	33.6%	17.5%	28.7%	10.5%	19.6%	9.8%	1.4%	4.9%	31.5%	4.2%	15.4%	0.0%	100.0%
	玖波地区(n=39)	23.1%	23.1%	23.1%	12.8%	25.6%	15.4%	0.0%	0.0%	28.2%	2.6%	15.4%	0.0%	100.0%
	栗谷地区(n=2)	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
【年齢区分】	小学1年生(n=74)	37.8%	20.3%	33.8%	13.5%	36.5%	10.8%	5.4%	1.4%	35.1%	2.7%	10.8%	0.0%	100.0%
	小学2年生(n=73)	28.8%	19.2%	27.4%	5.5%	26.0%	16.4%	0.0%	2.7%	28.8%	6.8%	16.4%	0.0%	100.0%
	小学3年生(n=73)	39.7%	20.5%	27.4%	6.8%	16.4%	16.4%	1.4%	5.5%	32.9%	2.7%	17.8%	1.4%	100.0%
	小学4年生(n=73)	37.0%	12.3%	21.9%	11.0%	20.5%	6.8%	1.4%	1.4%	32.9%	5.5%	15.1%	0.0%	100.0%
	小学5年生(n=73)	26.0%	16.4%	20.5%	9.6%	16.4%	11.0%	2.7%	5.5%	16.4%	4.1%	19.2%	1.4%	100.0%
	小学6年生(n=73)	24.7%	17.8%	24.7%	11.0%	24.7%	5.5%	2.7%	0.0%	31.5%	1.4%	21.9%	0.0%	100.0%
【配偶者の有無】	配偶者がいる(n=397)	33.2%	18.4%	26.4%	9.3%	22.9%	11.3%	2.0%	2.8%	27.7%	3.8%	16.6%	0.5%	100.0%
	配偶者がいない(n=44)	22.7%	11.4%	20.5%	11.4%	27.3%	9.1%	4.5%	2.3%	47.7%	4.5%	20.5%	0.0%	100.0%
【母親の就労状況】	フルタイム(n=150)	28.7%	17.3%	22.7%	8.0%	39.3%	12.7%	2.7%	1.3%	25.3%	7.3%	14.0%	0.7%	100.0%
	フルタイム(休業中)(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	パート・アルバイト(n=182)	31.9%	18.1%	26.4%	9.9%	21.4%	11.0%	2.7%	1.6%	37.9%	1.1%	18.7%	0.0%	100.0%
	パート・アルバイト(休業中)(n=9)	55.6%	33.3%	55.6%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%	100.0%
	以前は就労していたが、現在はしていない(n=79)	35.4%	16.5%	26.6%	10.1%	3.8%	10.1%	1.3%	5.1%	25.3%	5.1%	15.2%	1.3%	100.0%
	就労したことがない(n=13)	38.5%	15.4%	30.8%	7.7%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	38.5%	0.0%	100.0%

問 21 子育ての中で、喜びを感じたことや良かったこと【MA】

子育ての中で喜びを感じたことや良かったことは、「子どもが成長していく姿や、元気に過ごしているのを見るのが嬉しいこと」が92.1%で最も多く、次いで「子どもがいることで、家庭が明るくなったり、家族の絆が強くなること」(51.4%)、「子どもとふれあっている時間が楽しいこと」(50.7%)が続いています。

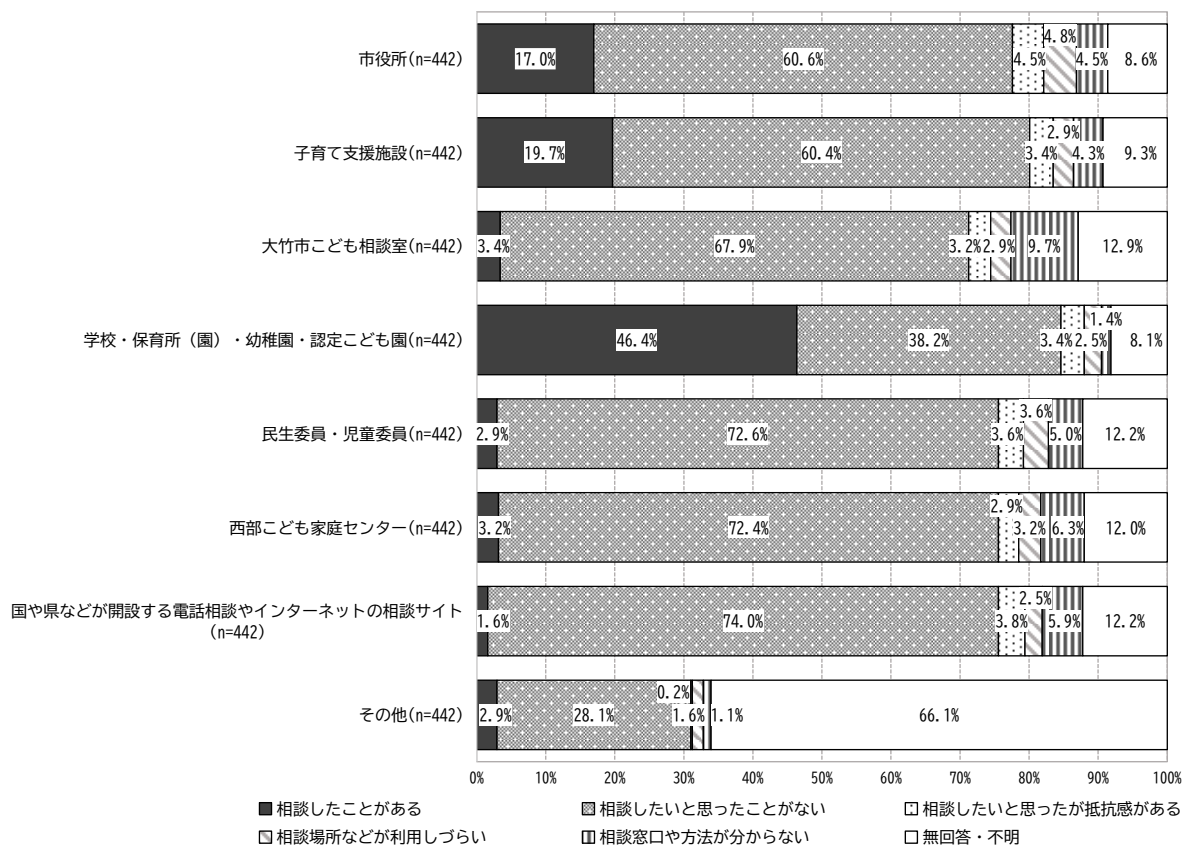


回答項目	子どもとふれあっている時間	子どもが成長していく姿	人間関係が広がる	人間的に成長できる	家族の絆が強くなる	孤独を感じることがない	自分の親への感謝の念が生まれる	その他	特にない	無回答	回答者数
全体(n=442)	50.7%	92.1%	21.9%	20.1%	51.4%	14.7%	17.2%	0.9%	1.6%	0.0%	100.0%
【居住地区】											
大竹地区(n=232)	53.0%	91.4%	21.6%	18.1%	58.2%	13.8%	15.9%	0.4%	1.7%	0.0%	100.0%
小方地区(n=143)	46.9%	93.0%	24.5%	23.8%	45.5%	14.7%	18.2%	1.4%	1.4%	0.0%	100.0%
玖波地区(n=39)	41.0%	100.0%	20.5%	15.4%	43.6%	12.8%	23.1%	2.6%	0.0%	0.0%	100.0%
栗谷地区(n=2)	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
【年齢区分】											
小学1年生(n=74)	51.4%	93.2%	23.0%	17.6%	56.8%	6.8%	20.3%	1.4%	1.4%	0.0%	100.0%
小学2年生(n=73)	57.5%	95.9%	23.3%	19.2%	54.8%	16.4%	13.7%	1.4%	0.0%	0.0%	100.0%
小学3年生(n=73)	54.8%	91.8%	20.5%	16.4%	54.8%	15.1%	17.8%	1.4%	0.0%	0.0%	100.0%
小学4年生(n=73)	50.7%	87.7%	20.5%	24.7%	49.3%	15.1%	20.5%	1.4%	1.4%	0.0%	100.0%
小学5年生(n=73)	43.8%	93.2%	23.3%	16.4%	49.3%	15.1%	12.3%	0.0%	2.7%	0.0%	100.0%
小学6年生(n=73)	46.6%	91.8%	19.2%	26.0%	43.8%	19.2%	17.8%	0.0%	2.7%	0.0%	100.0%
【配偶者の有無】											
配偶者がいる(n=397)	52.1%	92.9%	22.7%	18.6%	52.1%	12.8%	16.9%	0.8%	1.5%	0.0%	100.0%
配偶者がいない(n=44)	36.4%	84.1%	13.6%	31.8%	43.2%	29.5%	18.2%	2.3%	2.3%	0.0%	100.0%
【母親の就労状況】											
フルタイム(n=150)	50.0%	92.0%	22.0%	21.3%	57.3%	14.7%	18.0%	2.0%	0.7%	0.0%	100.0%
フルタイム(休業中)(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
パート・アルバイト(n=182)	51.1%	91.2%	20.3%	15.4%	46.7%	14.8%	15.4%	0.0%	2.2%	0.0%	100.0%
パート・アルバイト(休業中)(n=9)	33.3%	100.0%	44.4%	33.3%	66.7%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
以前は就労していたが、現在はしていない(n=79)	53.2%	92.4%	22.8%	25.3%	50.6%	12.7%	20.3%	1.3%	2.5%	0.0%	100.0%
就労したことがない(n=13)	53.8%	92.3%	23.1%	15.4%	69.2%	7.7%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

問 22 子育ての悩みなどを次の場所や人に相談したことがあるか【MA】

子育ての悩みなどの相談先と相談経験は、「学校・保育所（園）・幼稚園・認定こども園」が最も多く、5割近くを占めています。次いで「子育て支援施設」（19.7%）、「市役所」（17.0%）が続いています。

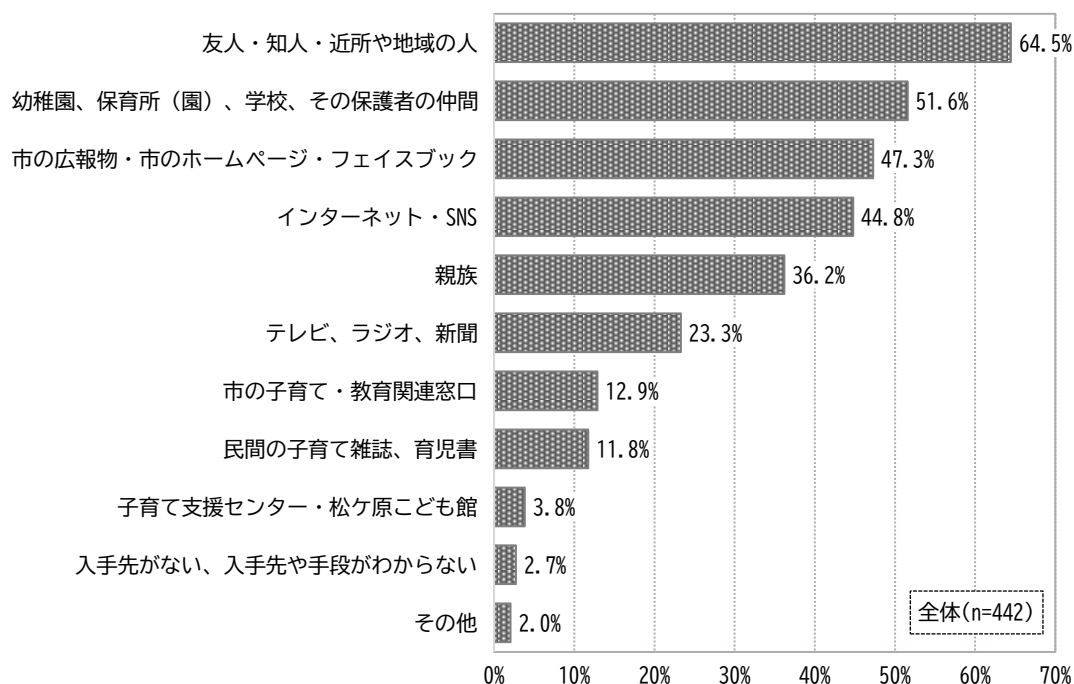
一方、「大竹市こども相談室」は3.4%、「西部こども家庭センター」は3.2%、「民生委員・児童委員」は2.9%と他の施設に比べて低くなっています。



2-8 子育て施策全般について

問 23 子育てに必要な情報の入手先【MA】

子育てに必要な情報の入手先は、「友人・知人・近所や地域の人」が64.5%で最も多く、次いで「幼稚園、保育所（園）、学校、その保護者の仲間」（51.6%）、「市の広報物・市のホームページ・フェイスブック」（47.3%）、「インターネット・SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）」（44.8%）が続いています。

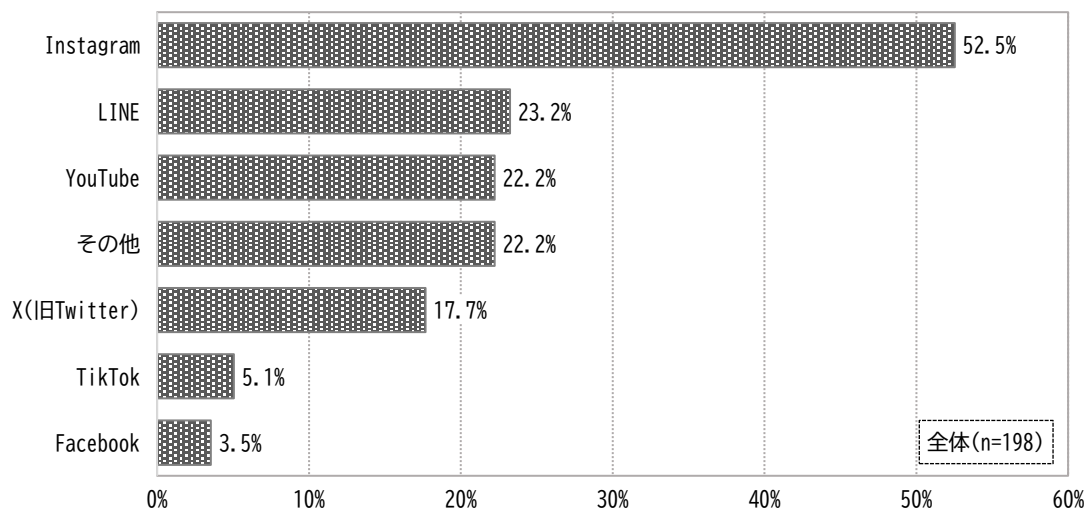


回答項目	市の子育て・教育関連窓口	市の広報物・市のホームページ・フェイスブック	民間の子育て雑誌、育児書	テレビ、ラジオ、新聞	友人・知人・近所や地域の人	親族	インターネット・SNS	幼稚園、保育所（園）、学校、その保護者の仲間	子育て支援センター・松ヶ原こども館	その他	入手先がない、入手先や手段がわからない	無回答	回答者数
全体(n=442)	12.9%	47.3%	11.8%	23.3%	64.5%	36.2%	44.8%	51.6%	3.8%	2.0%	2.7%	0.7%	100.0%
【居住地区】													
大竹地区(n=232)	12.9%	47.0%	10.3%	21.6%	66.8%	37.9%	47.4%	51.3%	3.4%	3.0%	3.9%	0.0%	100.0%
小方地区(n=143)	13.3%	46.9%	10.5%	20.3%	62.2%	36.4%	42.7%	53.1%	4.9%	1.4%	1.4%	1.4%	100.0%
玖波地区(n=39)	15.4%	61.5%	25.6%	43.6%	61.5%	33.3%	48.7%	48.7%	5.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
栗谷地区(n=2)	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%
【年齢区分】													
小学1年生(n=74)	17.6%	45.9%	12.2%	10.8%	64.9%	36.5%	48.6%	51.4%	8.1%	1.4%	4.1%	0.0%	100.0%
小学2年生(n=73)	8.2%	46.6%	15.1%	27.4%	63.0%	35.6%	50.7%	50.7%	5.5%	2.7%	2.7%	0.0%	100.0%
小学3年生(n=73)	9.6%	46.6%	11.0%	24.7%	74.0%	38.4%	45.2%	65.8%	5.5%	2.7%	5.5%	0.0%	100.0%
小学4年生(n=73)	16.4%	52.1%	11.0%	31.5%	71.2%	42.5%	49.3%	49.3%	0.0%	2.7%	1.4%	0.0%	100.0%
小学5年生(n=73)	13.7%	45.2%	12.3%	20.5%	52.1%	32.9%	39.7%	42.5%	0.0%	1.4%	1.4%	0.0%	100.0%
小学6年生(n=73)	12.3%	49.3%	9.6%	26.0%	63.0%	32.9%	35.6%	50.7%	4.1%	1.4%	1.4%	0.0%	100.0%
【配偶者の有無】													
配偶者がいる(n=397)	13.6%	50.1%	12.1%	23.9%	65.0%	36.0%	45.3%	52.6%	4.3%	2.3%	2.3%	0.5%	100.0%
配偶者がいない(n=44)	6.8%	22.7%	9.1%	18.2%	59.1%	38.6%	38.6%	43.2%	0.0%	0.0%	6.8%	2.3%	100.0%
【母親の就労状況】													
フルタイム(n=150)	13.3%	44.7%	15.3%	24.0%	63.3%	33.3%	44.0%	46.7%	2.0%	3.3%	4.7%	1.3%	100.0%
フルタイム(休業中)(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
パート・アルバイト(n=182)	13.7%	51.6%	9.9%	24.2%	67.0%	35.2%	46.2%	55.5%	3.3%	1.1%	1.1%	0.5%	100.0%
パート・アルバイト(休業中)(n=9)	22.2%	33.3%	11.1%	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	100.0%
以前は就労していたが、現在はしていない(n=79)	8.9%	51.9%	10.1%	21.5%	65.8%	45.6%	48.1%	58.2%	8.9%	1.3%	1.3%	0.0%	100.0%
就労したことがない(n=13)	7.7%	23.1%	7.7%	15.4%	38.5%	23.1%	38.5%	46.2%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	100.0%

※問 24 で「7. インターネット・SNS」に○をつけた方

問 24 子育てに必要な情報の具体的な入手先【MA】

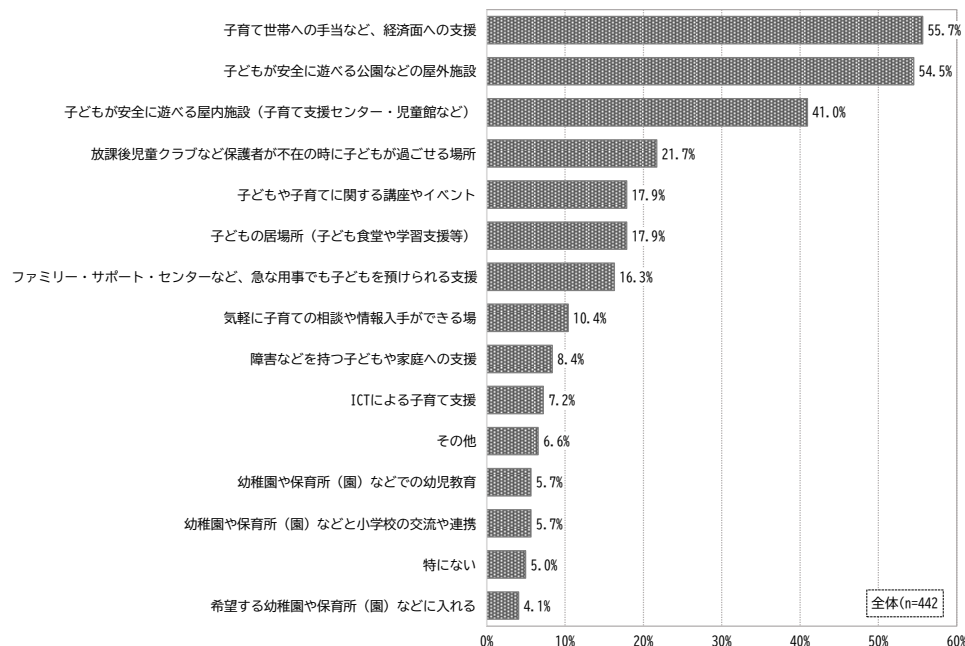
子育てに必要な情報を「インターネット・SNS」から得る場合の具体的な入手先は、「Instagram（インスタグラム）」が 52.5%と突出しており、他に比べて 2 倍以上となっています。次いで「LINE（ライン）」（23.2%）、「YouTube（ユーチューブ）」・「その他」（ともに 22.2%）が続いています。



回答項目		LINE	X (旧Twitter)	Facebook	Instagram	YouTube	TikTok	その他	無回答	回答者数
全体(n=198)		23.2%	17.7%	3.5%	52.5%	22.2%	5.1%	22.2%	13.6%	100.0%
【居住地区】	大竹地区(n=232)	21.8%	17.3%	2.7%	52.7%	19.1%	5.5%	22.7%	12.7%	100.0%
	小方地区(n=143)	26.2%	19.7%	3.3%	50.8%	29.5%	4.9%	18.0%	19.7%	100.0%
	玖波地区(n=39)	31.6%	21.1%	10.5%	47.4%	26.3%	5.3%	31.6%	5.3%	100.0%
	栗谷地区(n=2)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
【年齢区分】	小学1年生(n=74)	19.4%	13.9%	2.8%	52.8%	22.2%	5.6%	19.4%	19.4%	100.0%
	小学2年生(n=73)	24.3%	29.7%	8.1%	62.2%	18.9%	5.4%	21.6%	5.4%	100.0%
	小学3年生(n=73)	33.3%	15.2%	6.1%	51.5%	18.2%	0.0%	24.2%	15.2%	100.0%
	小学4年生(n=73)	27.8%	16.7%	0.0%	55.6%	30.6%	8.3%	19.4%	13.9%	100.0%
	小学5年生(n=73)	17.2%	17.2%	3.4%	44.8%	24.1%	10.3%	20.7%	20.7%	100.0%
	小学6年生(n=73)	15.4%	11.5%	0.0%	42.3%	19.2%	0.0%	30.8%	7.7%	100.0%
【配偶者の有無】	配偶者がいる(n=397)	21.7%	17.8%	3.9%	52.8%	21.1%	3.9%	21.7%	13.9%	100.0%
	配偶者はいない(n=44)	41.2%	17.6%	0.0%	47.1%	35.3%	17.6%	29.4%	11.8%	100.0%
【母親の就労状況】	フルタイム(n=150)	22.7%	16.7%	3.0%	45.5%	24.2%	3.0%	27.3%	15.2%	100.0%
	フルタイム(休業中)(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	パート・アルバイト(n=182)	23.8%	14.3%	4.8%	52.4%	19.0%	3.6%	17.9%	14.3%	100.0%
	パート・アルバイト(休業中)(n=9)	33.3%	66.7%	0.0%	100.0%	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%
	以前は就労していたが、現在はしていない(n=79)	18.4%	21.1%	2.6%	60.5%	23.7%	5.3%	23.7%	13.2%	100.0%
	就労したことがない(n=13)	20.0%	20.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	100.0%

問 24 市に対して、どのような子育て支援を充実してほしいか【MA】

本市に対して希望する子育て支援の内容は、「子育て世帯への手当など、経済面への支援を充実させてほしい」が55.7%と最も多く、次いで「子どもが安全に遊べる公園などの屋外施設を充実させてほしい」(54.5%)、「子どもが安全に遊べる屋内施設(子育て支援センター・児童館など)」を充実させてほしい(41.0%)が続いており、経済的な支援や安全に遊べる施設の確保を求める意見が多くなっています。



回答項目	子どもが安全に遊べる公園などの屋外施設	子どもが安全に遊べる屋内施設(子育て支援センター・児童館など)	子どもや子育てに関する講座やイベント	気軽に子育ての相談や情報入手ができる場	希望する幼稚園や保育所(園)などに入れる	幼稚園や保育所(園)などでの幼児教育	幼稚園や保育所(園)などと小学校の交流や連携	放課後児童クラブなど保護者が不在の時に子どもが過ごせる場所	ファミリー・サポート・センターなど、急な用事で子どもを預けられる支援	障害などを持つ子どもや家庭への支援	子育て世帯への手当など、経済面への支援	子どもの居場所(子ども食堂や学習支援等)	ICTによる子育て支援	その他	特になし	無回答	回答者数
全体(n=442)	54.5%	41.0%	17.9%	10.4%	4.1%	5.7%	5.7%	21.7%	16.3%	8.4%	55.7%	17.9%	7.2%	6.6%	5.0%	0.7%	100.0%
【居住地区】																	
大竹地区(n=232)	53.0%	45.3%	16.4%	12.5%	3.9%	6.0%	6.9%	23.3%	15.1%	9.1%	57.3%	19.4%	7.3%	6.5%	5.2%	0.4%	100.0%
小方地区(n=143)	56.6%	35.7%	19.6%	8.4%	5.6%	4.2%	4.9%	21.7%	14.7%	6.3%	58.0%	16.1%	7.0%	7.0%	5.6%	1.4%	100.0%
玖波地区(n=39)	64.1%	33.3%	25.6%	10.3%	0.0%	10.3%	2.6%	20.5%	30.8%	10.3%	38.5%	12.8%	7.7%	5.1%	0.0%	0.0%	100.0%
栗谷地区(n=2)	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
【年齢区分】																	
小学1年生(n=74)	62.2%	51.4%	20.3%	9.5%	8.1%	10.8%	10.8%	35.1%	16.2%	9.5%	60.8%	16.2%	4.1%	5.4%	5.4%	0.0%	100.0%
小学2年生(n=73)	57.5%	42.5%	19.2%	9.6%	2.7%	12.3%	9.6%	28.8%	26.0%	8.2%	61.6%	13.7%	11.0%	9.6%	4.1%	2.7%	100.0%
小学3年生(n=73)	57.5%	46.6%	16.4%	12.3%	2.7%	1.4%	2.7%	26.0%	19.2%	12.3%	61.6%	19.2%	6.8%	8.2%	0.0%	0.0%	100.0%
小学4年生(n=73)	46.6%	28.8%	20.5%	15.1%	1.4%	2.7%	4.1%	16.4%	13.7%	12.3%	53.4%	20.5%	4.1%	6.8%	4.1%	1.4%	100.0%
小学5年生(n=73)	52.1%	32.9%	15.1%	8.2%	4.1%	4.1%	1.4%	9.6%	15.1%	4.1%	45.2%	16.4%	8.2%	1.4%	5.5%	0.0%	100.0%
小学6年生(n=73)	52.1%	43.8%	16.4%	8.2%	5.5%	2.7%	5.5%	15.1%	8.2%	4.1%	52.1%	20.5%	9.6%	8.2%	9.6%	0.0%	100.0%
【配偶者の有無】																	
配偶者がいる(n=397)	54.7%	41.6%	19.4%	11.3%	4.3%	6.3%	6.0%	22.4%	16.9%	9.1%	54.4%	16.9%	8.1%	6.5%	5.3%	0.5%	100.0%
配偶者がいない(n=44)	52.3%	34.1%	4.5%	2.3%	2.3%	0.0%	2.3%	15.9%	11.4%	2.3%	68.2%	25.0%	0.0%	6.8%	2.3%	2.3%	100.0%
【母親の就労状況】																	
フルタイム(n=150)	52.7%	41.3%	14.7%	11.3%	4.0%	5.3%	4.7%	28.7%	19.3%	6.7%	54.0%	21.3%	8.7%	9.3%	6.7%	1.3%	100.0%
フルタイム(休業中)(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
パート・アルバイト(n=182)	54.4%	43.4%	19.8%	8.8%	3.3%	4.9%	4.4%	20.3%	13.2%	8.2%	59.9%	17.0%	8.2%	4.4%	3.8%	0.5%	100.0%
パート・アルバイト(休業中)(n=9)	55.6%	44.4%	22.2%	22.2%	22.2%	22.2%	33.3%	22.2%	22.2%	11.1%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	100.0%
以前は就労していたが、現在はしていない(n=79)	62.0%	36.7%	24.1%	11.4%	3.8%	7.6%	8.9%	12.7%	19.0%	11.4%	51.9%	13.9%	5.1%	6.3%	2.5%	0.0%	100.0%
就労したことがない(n=13)	30.8%	15.4%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	7.7%	15.4%	46.2%	7.7%	0.0%	15.4%	15.4%	0.0%	100.0%

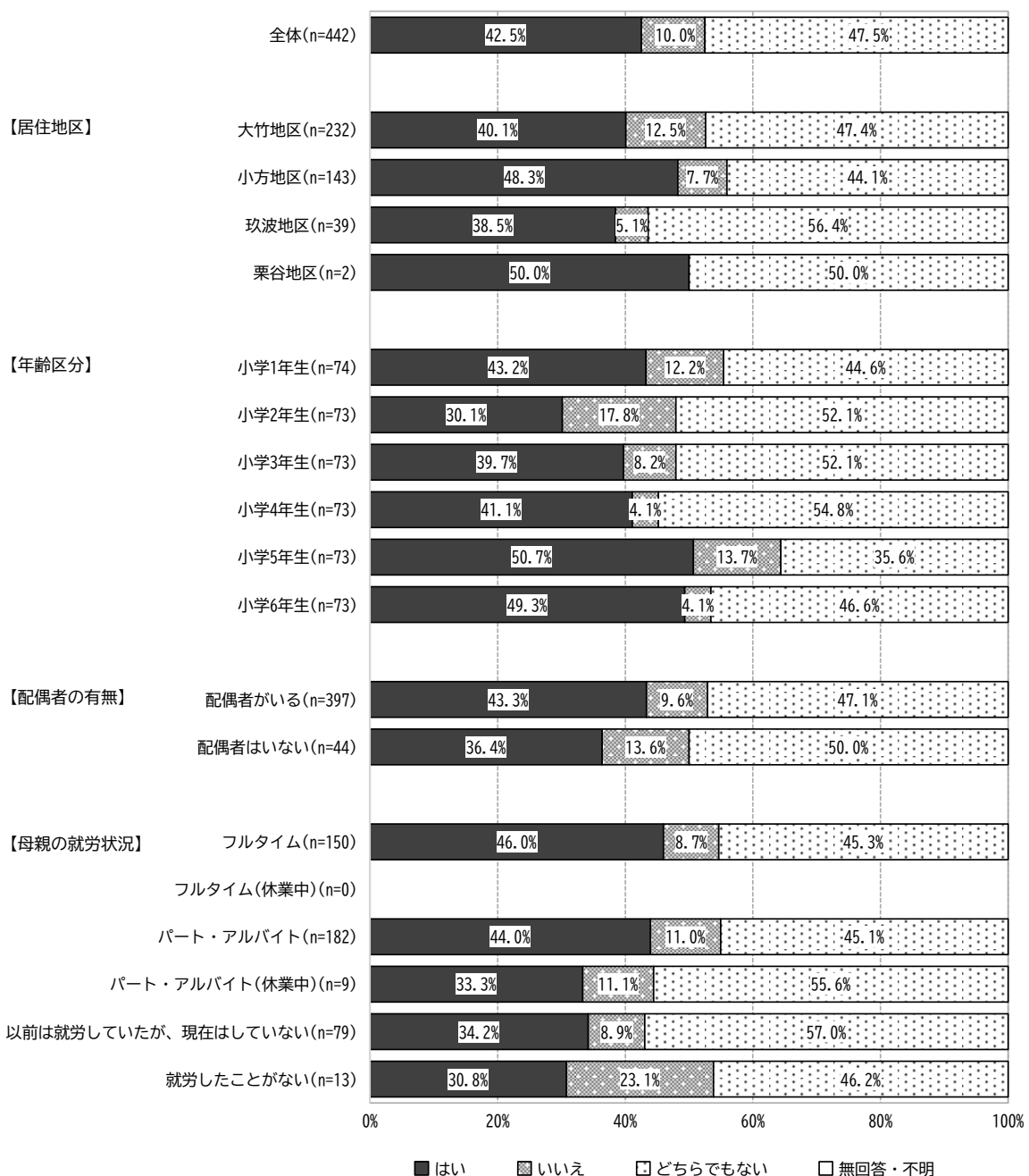
問 25 大竹市での子育てに関して、どのような印象を持っているか

ア 子育て世帯が安心して働けるまちだ

本市の子育てに関して、「子育て世帯が安心して働けるまちだ」という印象があるかについて、全体でみると「はい」が42.5%、「いいえ」が10.0%、「どちらでもない」が47.5%となっています。

学年別でみると、小学5年生では「はい」の割合が半数を超えている一方、小学2年生では「はい」の割合が3割弱に留まっています。

配偶者関係でみると、配偶者はいない（ひとり親の）方は「はい」の割合が低くなっています。

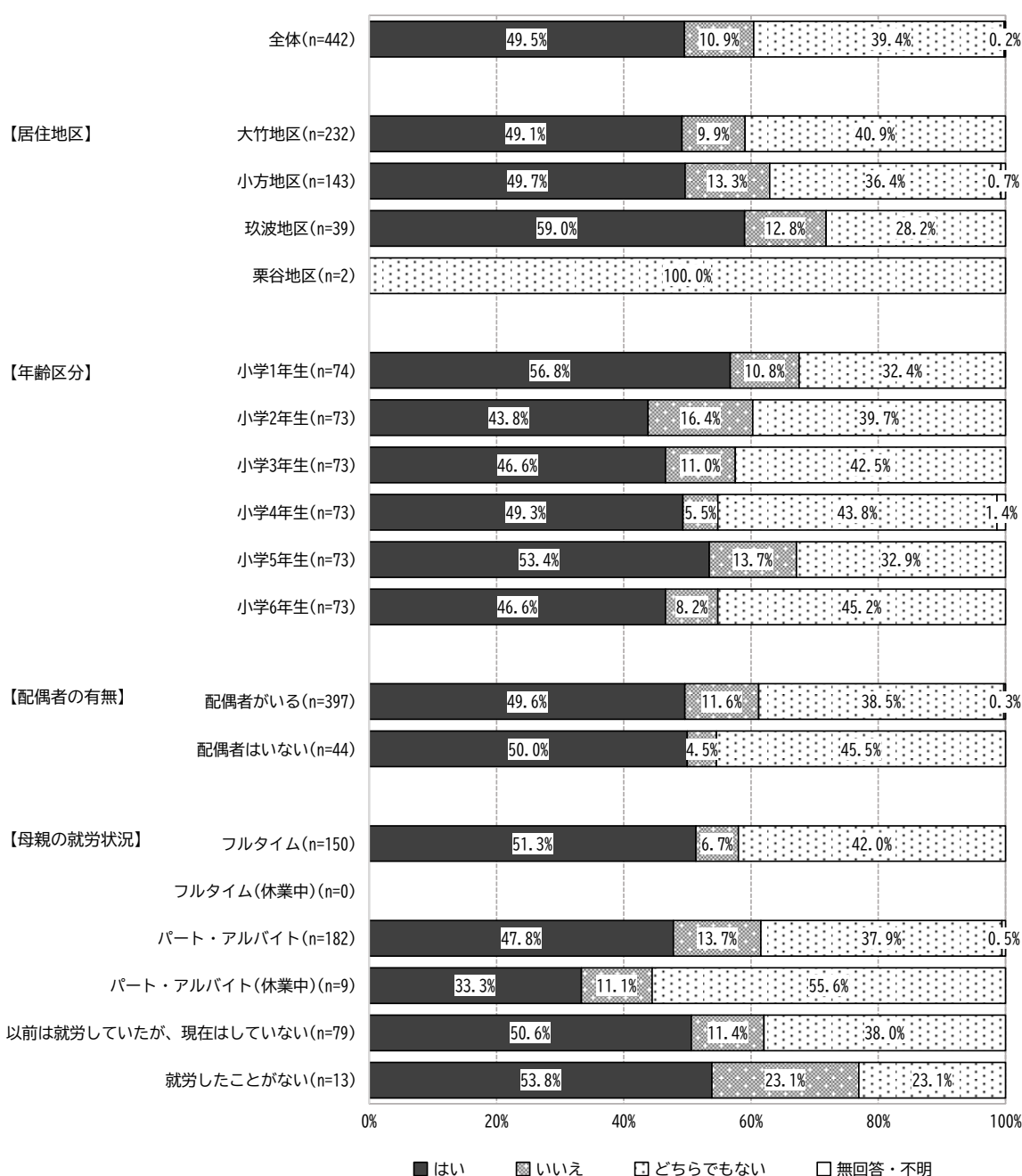


問 25 大竹市での子育てに関して、どのような印象を持っているか
イ 子どもが安全に、健やかに成長できる環境のあるまちだ

本市の子育てに関して、「子どもが安全に、健やかに成長できる環境のあるまちだ」という印象があるかは、全体では「はい」が49.5%、「いいえ」が10.9%、「どちらでもない」が39.4%となっています。

地域別では、玖波地区は「はい」の割合が約6割となっており、大竹地区、小方地区ともに約半数が「はい」と回答しています。

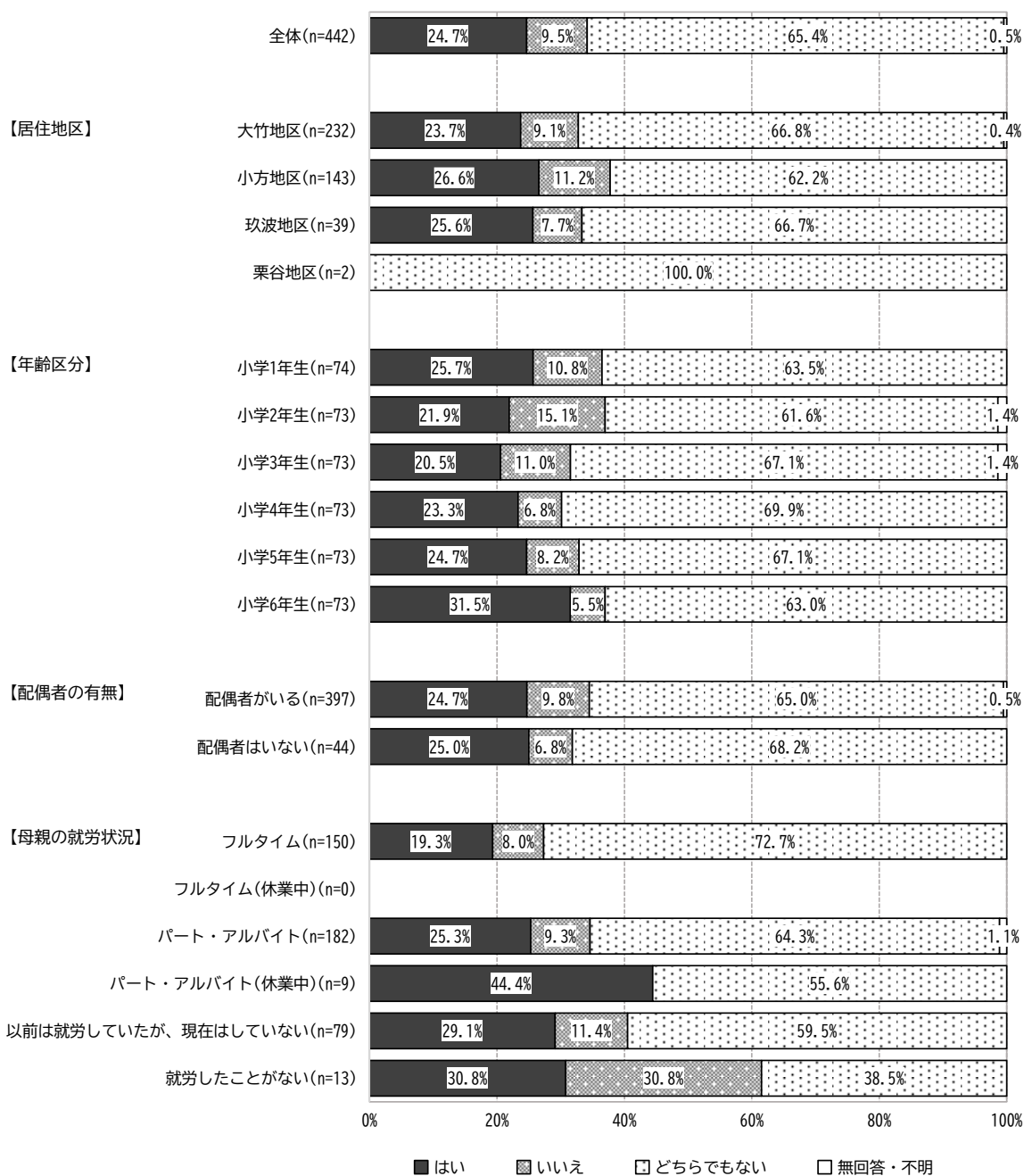
学年別では、小学1年生と小学5年生で「はい」の割合が高くなっています。一方、小学2年生は「いいえ」の割合が高くなっています。



問 25 大竹市での子育てに関して、どのような印象を持っているか
 ウ 障害など配慮の必要な子どもを安心して育てられるまちだ

本市の子育てに関して、「障害など配慮の必要な子どもを安心して育てられるまちだ」という印象があるかは、全体では「はい」が24.7%、「いいえ」が9.5%、「どちらでもない」が65.4%となっています。

学年別では、小学6年生で「はい」と答える割合が高くなっています。一方、「小学2年生」で「いいえ」と答える割合が高くなっています。



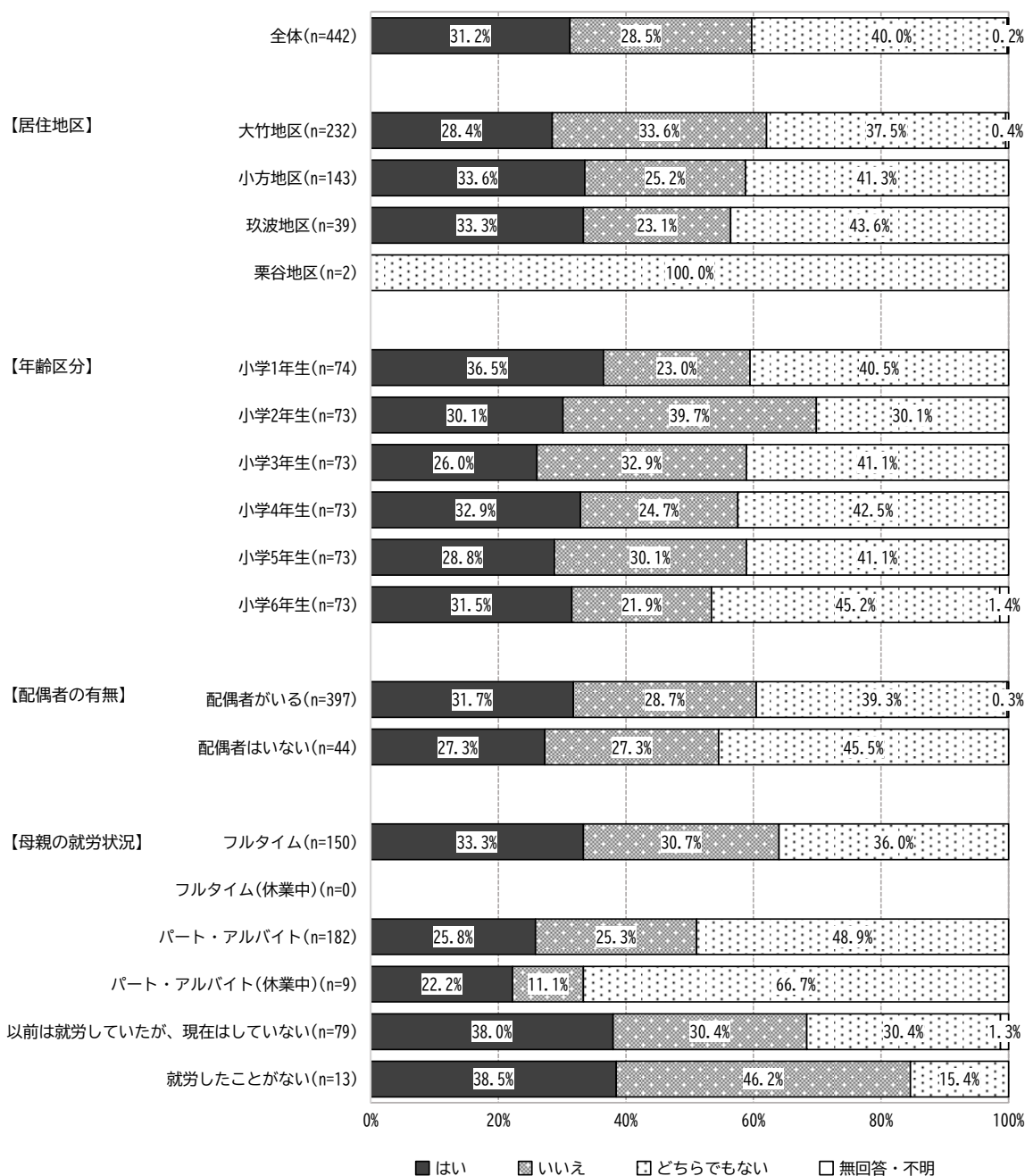
問 25 大竹市での子育てに関して、どのような印象を持っているか

エ 公園や道路、公共施設、店舗などが、子育て世帯に配慮されているまちだ

本市の子育てに関して、「公園や道路、公共施設、店舗などが、子育て世帯に配慮されているまちだ」という印象があるかは、全体では「はい」が31.2%、「いいえ」が28.5%、「どちらでもない」が40.0%となっています。

地域別では、大竹地区で「いいえ」の割合が高くなっています。

学年別では、小学1年生で「はい」の割合が高くなっている一方、小学2年生、小学3年生で「いいえ」の割合が高くなっています。



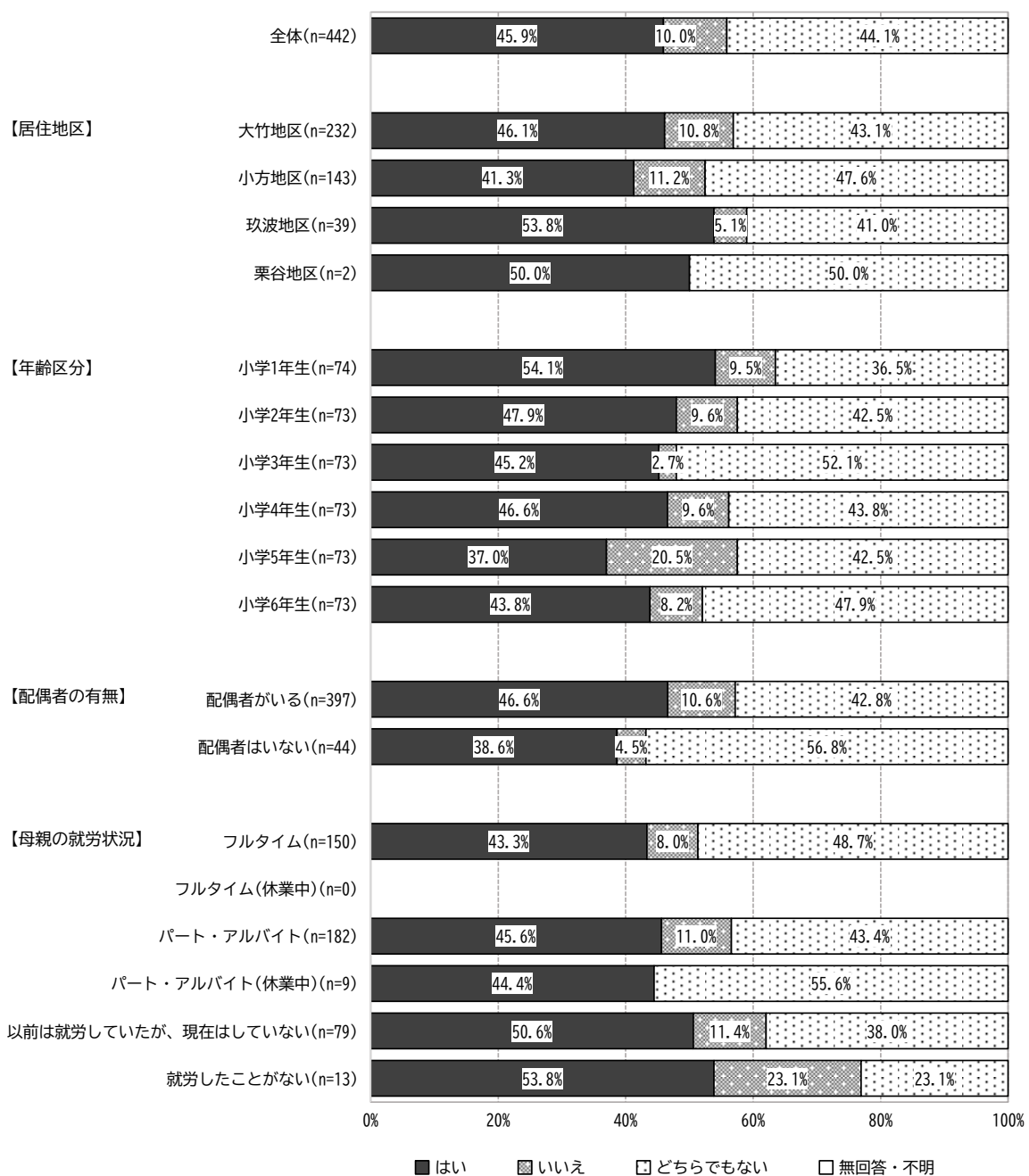
問 25 大竹市での子育てに関して、どのような印象を持っているか
オ 地域や周りの人たちが子育て世帯にやさしいまちだ

本市の子育てに関して、「地域や周りの人たちが子育て世帯にやさしいまちだ」という印象があるかは、全体では「はい」が45.9%、「いいえ」が10.0%、「どちらでもない」が44.1%となっています。

地域別では、玖波地区で「はい」の割合が高くなっています。

学年別では、小学校低学年で「はい」の割合が高くなっている一方、小学校高学年で「いいえ」の割合が高くなっています。

配偶者別では、配偶者がいる方の「はい」の割合が高くなっています。

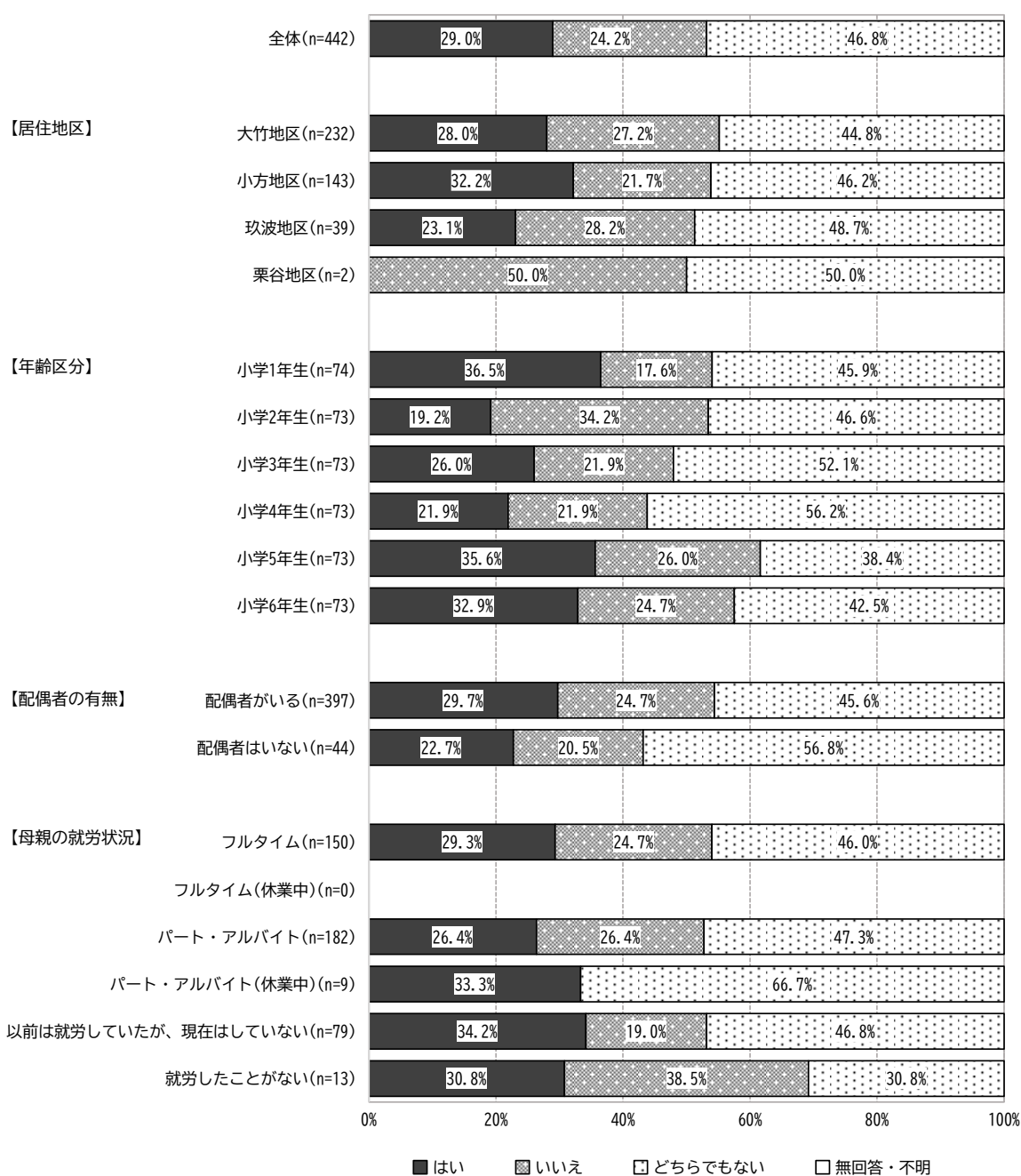


問 25 大竹市での子育てに関して、どのような印象を持っているか
カ 子ども同士や親子で遊んだり過ごす場所が充実しているまちだ

本市の子育てに関して、「子ども同士や親子で遊んだり過ごす場所が充実しているまちだ」という印象があるかは、全体では「はい」が29.0%、「いいえ」が24.2%、「どちらでもない」が46.8%となっています。

学年別では、小学1年生と小学5年生は、年齢が高くなるにつれて「いいえ」の割合が低くなっています。

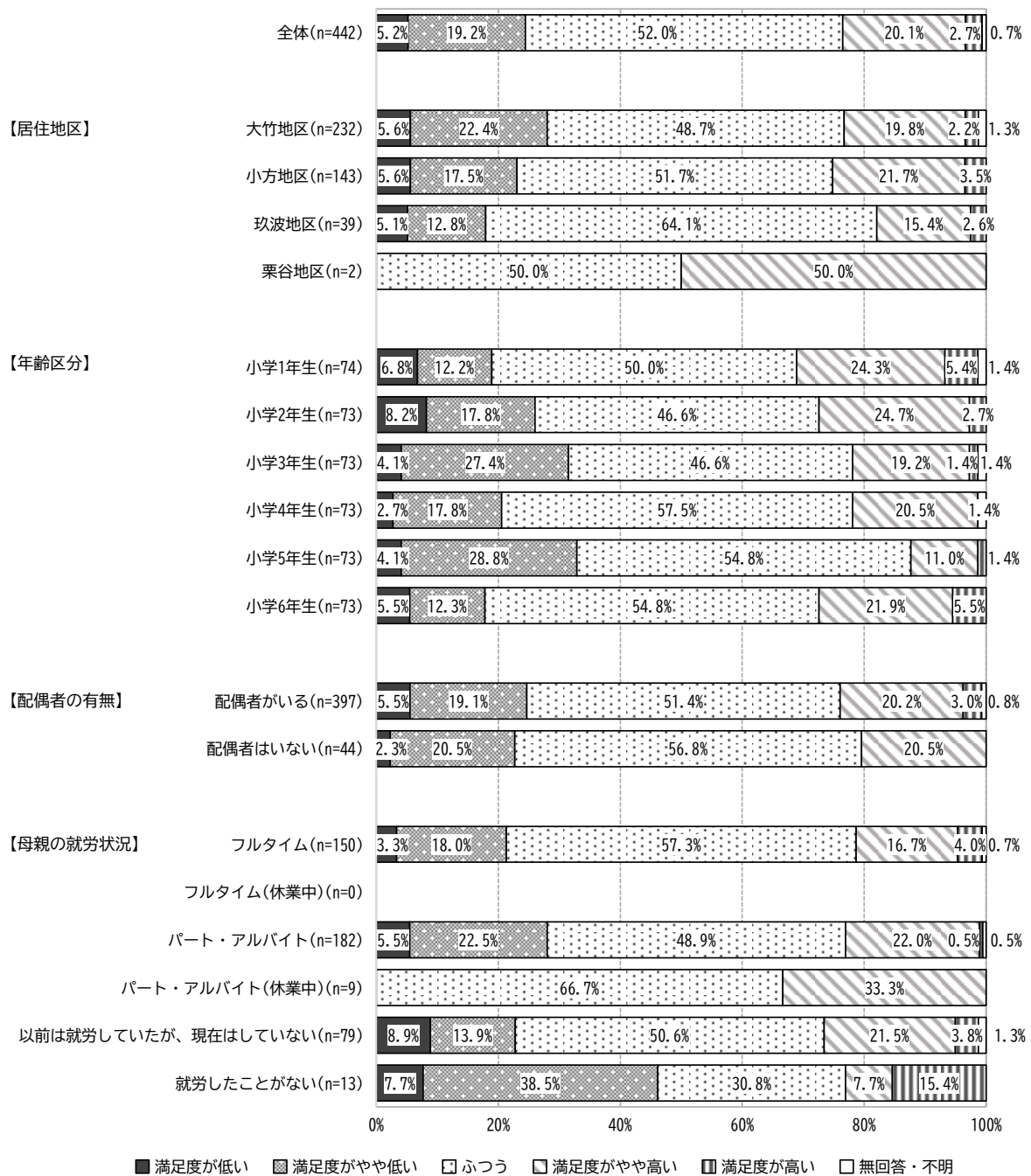
配偶関係では、配偶者はいない（ひとり親の）方の「はい」の割合が低くなっています。



問 26 本市における子育ての環境や支援への満足度

本市における子育て環境や支援への満足度は、「普通」が52.0%で最も多く、次いで「満足度がやや高い」(20.1%)、「満足度がやや低い」(19.2%)となっています。

学年別では、小学1年生と小学6年生で「満足度が高い」とする割合が他の学年に比べて高くなっています。一方、小学1年生と小学2年生で「満足度が低い」とする割合が他に比べて高くなっています。



<前回調査との比較>

「満足度がやや高い」人の割合が、前回調査時よりも2倍近く増加しています。一方で、「普通」、「満足度が低い」人の割合は減少しています。他の回答は前回とあまり変化はありません。

表「本市の子育て環境や支援への満足度」の比較

回答	前回	今回
満足度が低い	8.2%	5.2%
満足度がやや低い	19.2%	19.2%
普通	57.7%	52.0%
満足度がやや高い	10.9%	20.1%
満足度が高い	2.7%	2.7%
無回答・不明	1.3%	0.7%

3章 自由記述

1. 就学前児童

1-1 その他意見

問4 回答者はどなたか

記述内容
祖母。

問8 子どもの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）か

記述内容
X(旧 Twitter)
放課後デイサービス職員
保健師さん、障害者相談員さん
姉妹
X(旧 Twitter)
近所の助産師
児童発達支援教室
職場の同僚
職場
こども園
広島西医療センター
児童発達支援センターの先生
児童発達支援施設
SNS
行政の家庭相談員
放課後等デイサービスの先生、相談員
児童発達支援教室の先生
発達支援支援センター等の先生

問 11-1 平日どのような「定期的な教育・保育事業」を利用しているか

記述内容
子育て支援センター
児童発達支援教室
児童発達支援施設
児童発達支援センター
広島西こども発達支援センター

問 11-3 平日に「定期的な教育・保育事業」を利用していない理由

記述内容
育休中のため。
4 月入園
預けたいが、就労していないため預けられない。
3 歳までの縛り、保育料、入園児のタイミング等。
療育に通っている。
2 人目を考えているため、上の子と少しでも長くいたいため。
4 月に企業型の保育へ入園見込み。
預けようとした矢先、妊娠がわかったため。

問 12 平日に「定期的に利用したい」と考える事業

記述内容
児童発達支援教室
特になし。
児童発達支援施設
オレンジクラブ

問 13 類似の事業の利用している具体名

記述内容
認定こども園
図書館の読み聞かせ

問 17 この1年間に、子どもが病気やけがで幼稚園や保育所を休まなければならなかったことがあったか

記述内容
祖母に預けた。
子供が入院。
育休中の母がみた。
育児休業中
母親が自宅でできる仕事内容にした。
テレワークで対応。
母親が在宅勤務で対応した。

問 18 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業はあるか

記述内容
認定こども園

問 18-1 現在利用していない理由

記述内容
どうしてもその時は夫にその時間仕事を休んでもらっています。
子供が耐えられるか不安。
利用までの手続きができていない。
標準時間で保育してもらっているため。
申請する手続き、前日に病院に行くなどの準備ができない。
保育園に通ってるので。
利用できる事業所がない。
認定こども園に通っている為。
即時性に欠ける。空きがない。
難病の為、あずかりがむずかしいと思います。
幼稚園に行っている間に済ませるから。
土曜日に予定をつめこみ（病院等）、保育所へ預けている。
育休中だから。
準備物が多い。
親なしで1人で過ごせるか不安。
主人が休みの時に合わせているため。
1年のうち、数日しか利用しない場合、子供が不慣れな場所に行くのを嫌がる。
祖父母に頼っているため。急を要することが多く、急には上記事業に頼めないため。

記述内容
手続きをする時間がない。
こどもが小さいため。
気軽に利用出来ない。
調べたが、ニーズにあうものが無い。
利用の手続きが大変、めんどくさい。

問 21 子育てについて、日頃悩んでいることや気になること

記述内容
女性ばかりに負担がかかっている。
ニュースなどで教育者や施設の人、小児愛者や変な人がいると思うので、性被害など心配です。
子どもへの接する時間が短く、十分な関わりがもてないこと。
とにかく自分の時間が持てない。
3つまでだと選択できない。
両親が全く育児をしない。養育費も全く支払わないため子供の将来が不安。
保育料が高くて働く意味が分からなくなる。
仕事と育児の両立、家事や料理が思うようにできず、育児の質が落ちているように感じる。

問 22 子育ての中で、喜びを感じたことや良かったこと

記述内容
姉、兄、犬とのふれあい。
上記すべてなので3つに選べられない。

問 23 子育ての悩みなどを次の場所や人に相談したことがあるか

記述内容
友人、知人
以前に住んでいた地域（和木町）の保健師。
赤ちゃんの頭のかたち相談窓口
親族
広島西医療センター
通っている児童発達支援教室。

問 24 子育てに必要な情報の入手先

記述内容
こども園から配布されるチラシ。
児童発達支援施設
職場

問 25 市に対して、どのような子育て支援を充実してほしいか

記述内容
医療費を無料にしてほしい。
有料でもいいので日曜に小さい子供も遊ばせられる屋内施設が欲しい。
小児科を増やす方法を考えてほしいです。周囲のママはみんな岩国へ行っています。
自分自身が寝不足の時が子ども達を育てている時1番大変で、お母さんの保健室みたいに、児童館にあずけて12時間でいいから寝たい。
認定こども園の放課後教室を作してほしい。
子連れで行ける飲食店を増やして欲しい。(うどん屋、回転寿司、座敷のあるお店など)
登下校時の安全対策を充実させてほしい。
病児保育のコロナ検査をなくしてほしい。
子ども向けの科学館や美術館、芸術に触れられるイベントが増えると…。
日曜に利用できる施設が必要。大野のまるくるのような施設。
分娩できる産婦人科が欲しい。※広島市内まで行っています。
耳鼻科がほしい。
医療機関の充実。
幼稚園を給食にしてほしい。
小学生だけの登下校を1人とする時、不安があるので、GPS などを持たせてもよい事にしてほしい。
3才以下の子供を気軽に一時預かりできる場所がほしい。
放課後児童クラブでの給食(夏休み等)。
小児科の休日診療を復活してほしい。
病院を増やして欲しい。
子どもが利用する機関が連携し合い、気軽に相談できるようにしてほしい。
幼稚園や保育園で習い事ができる環境。
歩道が狭いので広くしてほしい。学童の中で習い事ができるようにしてほしい。
一部の地域は(晴海など)歩道、公園等の整備を力を入れているが、その他の地域はあまり充実していない。見栄ばかりような…。全体的にバランスをとってほしい。
水の流れている溝にフタをしてほしい。

記述内容
出産時の夫の休暇のとりやすさ向上、産院までの TAXI の充実や子どももあずけるサポートの充実。
子どもの習い事を充実してほしい→水泳。
ならいごと（体操教室）などがあればうれしい。

1-2 自由記述

記述内容
本町保育園の跡地など、晴海地区付近だけでなく大竹地区の充実も行って欲しい。
遊具などが古い設備の公園をきれいにしてほしい。屋内で遊べる施設を増やしてほしい。0才～預けられる保育施設を増やしてほしい。
そもそも産婦人科がない。とても困る。
他の市のように医療費がかからないと助かる。500 円でも十分安い、子どもは風邪やケガでよく病院を利用するのでその負担が減ると助かる。
子どもがまだ小さく子育てしやすい地域かはまだ不明ですが、ベビーカーを利用するには道が狭かったり、ガタガタとしていて押しにくかったりします。
大竹市で出産できるようにしてほしい（つわりの時に遠いと検診はしんどい）。ゴミ袋 2 年間無料はうれしいが、中の袋ではなく、大の袋にしてほしい。産後の手続きがスムーズにできるように母子手帳発行の時に書類を前もって渡してほしい。
①広島市内と比べると小児科などの病院が少なく、選択肢が限られてしまう。②歩道がない道や、あっても道が悪いのでベビーカーの使用が難しい。③デリバリーサービスをしている飲食店が少なすぎる。妊娠中に食べたいものがあっても外に買いに行けない位体調が悪かったのでもとても不便だった。
所得が多いため保育料が高額です。働きたいのに働けば保育料が高くなるのは、悲しいです。傾斜を緩くする等してほしい。子供連れが休日多く集まるゆめタウン(晴海臨海公園も整備中で益々の集客が見込めると思います)について、施設の老朽化もあり全体的に雰囲気がいまい。トイレなど子供を安心して利用できる環境とは言い難い。市として何かできませんでしょうか。
どんぐり HOUSE の利用を希望していたが、ホームページの更新が遅くて希望する日に利用することができなかった。休日診療を受診する時に、大竹市にはなく廿日市まで行かなくてはならないのが不便でした。車がない人は大変だと思う。子育て支援事業に交流を求めて行ったけど、知り合いのいない人は交流できない。結局、知り合い同士で集まっている。
アゼリアホールに週に 1 回程度、育児・子育ての相談できる場所が欲しい。現在、どんぐり HOUSE を利用しているが、妻が車に乗れない為、行ける日が限られている。アゼリアでも利用できる機会があればとても助かる。
大竹市役所の窓口の担当者の対応が悪い。
子供の医療費を無料にして欲しい。
子供が受診できる医療機関が限られている。アレルギー専門の病院等あったらいいのと思う。また、他の自治体（明石市や東京、大阪）のように、2 人目保育料無償化を実施してほしい。上の子が小学校に上がっても、2 人目は保育料半額又は無償化をしてほしい。子供の発達や体のことに関する相談できる専門の施設を作してほしい。
道端の溝を埋めていただきたいです。子どもと散歩をしていて思いました。溝があると危険だなと。(大瀧神社周辺)
さかえ公園をきれいに保ってほしいです。

記述内容
交通面（車・トラック多い）、通学路や公園等の歩行、自転車における歩道の整備（ガードレール等）、安全面。集団登校等、歩行分離式信号等。休日・夜間診療における小児対応や小児科病院を増やせないか。
子どもと外出する際、歩行者の道幅が狭いと感じる。ワクチンなどで市の負担がない（おたふくかぜなど）。500 円かかる医療費を無料にしてほしい（市外で受診する事が多いと手間になる）。産婦人科がない。
物価が上がって生活費が常に逼迫しているので定期的に子育て世帯にこいちゃんクーポンのようなものがあったら嬉しい。
本当に子育てしやすい環境で感謝しています。小児科について困っているのでなんとかしてほしいです…。
予防接種（おたふくかぜやインフルエンザ等）の補助金をお願いしたい。
晴海公園など充実・整備された公園もありますが、近所の公園はゴミや草などが多く少し残念です。上の子が軽度の障害があり、夫も仕事上なかなか子育てに参加しにくく、精神面で不安定になってしまうことが多いです。障害のある子がより参加しやすい集まりなどがあると嬉しいです。
岩国市や廿日市市のように、子供医療費を無料にしてほしい。インフルエンザワクチンの助成も岩国市ではあるようなので、こういう支援が大竹市にも欲しいです。近くのほかの市と比べたら全然支援が無いと引越して来てからびっくりしました。
晴海公園のようなキレイな公園を小さくてもいいので増やして欲しい。
子育てとは関係ないかもしれませんが、大竹保育所の駐車場に屋根があると助かる（雨の日の送迎、特にお昼寝布団のある日の雨が…）。先日の大竹保育所での事件で、先生方を責めるつもりはありませんが、大変なこと（死亡）になる可能性もある事案だと思います。メールでの報告だけでなく、説明会等開かないといけないのではないのでしょうか？
公園（晴海公園）が充実していて子どもと遊びやすいです。大竹のゆめタウンが小さいので、できたら廿日市ゆめタウンのような大きいショッピングセンターになれば良いなと思います。大竹インターからすごく近いのもったいないなと感じます。大竹市にバースデイがあればすごく便利だと思います！
大竹市内で産院がなく、家で陣痛になる時不安しかなかった。出産後、母親が子供をめんどう見るのは当たり前、ベビーシッターなどの手助けは必要ないといった態度が市の職員から感じられ、相談なんかする気にもならなかった。0～3 才児に対する子育て支援が手薄すぎる。頼りたくても頼る先がない。出産後の手助けをしてくれる（泊りも OK な）支援施設がほしい。あれば食事なども。

記述内容
子供用カート（子供を乗せておけるカート）がないスーパーがあり、じっとしていられない小さな子供を連れて買い物袋に商品を入れるのがとても大変で困っていた時、周りのお客さんが「みててあげるから今のうちに入れなさい」と言ってくれ、大竹市の住人の方々に助けられることがちょこちょこあります。人々は親切な人が多くありがたいのですが、店舗や施設は古く設備がないなどの所も多いような気がします。公園もあるので子供と行ってみれば、割れたビンの破片がすべり台の周りや公園周辺に散乱しており、危ないなと感じました。難しいこともあるかと思いますが少しでも改善されればと思います。
土日空いている児童センターが少ない。子どもと行ける遊び場が少ない（公園以外）。子供と外食できるお店が少ない。
SNS での子育て情報発信やイベント開催の頻度アップをしてほしい。大野のまるくるのような屋内に遊具と図書館併設などした場所を作ってほしい（図書館が古くて臭うので改修してほしい）。
子供を病院に連れて行くことが多い中、岩国市への病院へ連れて行くこともあります。その場合、後日、領収書を提出しなければいけませんが、岩国市でも 500 円で医療が受けれると助かります。
歩道と車道をしっかり分けてほしい。子供との散歩や、登下校の際、歩行者側でも運転している側でもヒヤッとすることがあるから。休日の悪天候の日でも体を動かせる施設があるといい。
通園しているこども園で相談→解決することがほとんどなので、その他の機関と関わることはありません。場所や方法も知っていて“相談したいと思ったことがない”という訳ではありません。
私は子育てで悩んでも家族に相談できます。しかし、そうでない家庭もあると思います。1人で抱え込んでいる方が気楽に話せる人がいると安心ですが、なかなかきっかけ作りは難しいものです。嫌と思う人もいます。人の関わりは全てではないのですが、悩んだ時“ココ”に相談してみようかなと思えるような市であってほしいです。
給食のある幼稚園があってほしいです。給食は無償にしてほしいです。
子育て支援センターや公民館などで季節や行事毎にイベントや製作などを計画してもらえて、園に通っていなくても楽しませてもらえてとても嬉しい。晴海公園のように乳児・幼児とで遊ぶスペースが分けられている公園の整備が進むとなお嬉しい（時間帯によって小学生などと一緒にいると心配）。大竹市全体的に子どもを見かけると声をかけてくれるなど温かい方が多い。笑顔で声をかけていただくと、親の私も嬉しくなり、また子どもとの時間を楽しもうと思える。
保育園に落ちて、第一志望の企業に入れなかったのが一番腹がたった。
妻と頑張っているがお互い大して給料も上がらず、物価上昇や子供の成長と共に年々増える家計の出費が苦しく、4人いる子供達の将来の教育費に金銭的な不安がある。子供達の将来に不安を感じている。将来子供達がこの街に貢献出来るよう市として子育て支援を充実させてもらいたい。

記述内容
子育て支援センターや公園などが充実していて子どもが住みやすい町だと思います。一時預かりなども利用しているのですが先生方も優しく利用しやすいです。しかし初めての人とはなかなか利用しにくいと思うので（どうやって利用したら良いか、利用しにくい etc）、1 回のみ半日体験などできたら、もう少し利用しやすいのかと思います。
0 歳児の健診の回数が少ないと思いました。他の自治体に住んでいた時は 3 か月ごとにあったので、身長・体重測定や子育て相談ができて良かったです（連れて行くのは大変ですが…）。大竹市は支援センター等でやって下さるそうですが、中々行く機会もないので、日時を指定した健診があるとよいなと思いました。道路から歩道へ段差がある所が多い、歩道のガタつきでベビーカーが押しにくいです。
今年の 4 月から保育園に入園するが、大竹市から保育園や幼稚園の紹介があった訳ではなく、自分で探す形だった。市が協力してくれると迷うことも少ないのではないかと感じる。夜間、街灯が少なく暗いため、子供のことを考えると少し不安に感じる。
公園等はよく整備されていると思いますが、その他特に子育てで支援されてるなと思ったことが無い。
子供をあそばせる場がなさすぎる。最近新しいお家やファミリーがふえてきているところもあるから、もっともっと住みよい町にしてほしい。病院もなさすぎて本当に困ってます。他県に行くから乳児医療とか関係ないし、あそび場所もなさすぎて、大不便です。どうかしてほしいです。
子育て世帯への手当、経済面への支援が手薄いように感じる（他市に比べ）。医療を受ける面でも不便に感じるが多々ある。
幼稚園の昼食を弁当持参ではなく、給食にしてほしい。年少から保育園または幼稚園に確実に入園できるよう努力してほしい。
土日の預かりがほしい。預かり部分の金額が高いと働いている理由もわからないため、金額の面は日本全体の話ですが考えてもらえたら、とても子育て世帯から人気の街になると思う。満 3 以下は特に。こども館で以前あった助産師さんなどの無料相談コーナーが子どものイベント時や施設のところであると、利用しやすい。相談したくても市の窓口はいきにくい、健診のときも人が多くて聞きにくいことが多い。
子どもの医療費無償化を希望します。全国的に無償化する流れになっているし、隣の山口県ではほとんどの市が所得制限なく無償化しています。給食費の無償化もこのまま続けてほしいです。
子供の医療費を無料にして欲しい。
通勤に時間がかかる為、できれば延長保育か一時預かりが遅くまで（20 時頃まで）ある方が良いです。
おおむね満足しています。ありがとうございます！平日は、保育園に預けているので、平日のイベントにはなかなか参加できません。土日にも子供のイベントがもっとあると嬉しいです。

記述内容
小児科が増えてほしい（待ち時間が長い）。病児後保育があると良い。屋外、屋内、安心して気軽に遊べる場所が増えてほしい。遊べる場所が少ない。
保育園の始まる時間から終わる時間が短い。フルタイムで働いている母親等働く時間で働く場所が限られてくる制限があって働きづらい。保育、介護、看護、飲食、又土曜日も、せめて月から土曜日まで 18 時半ごろまでやっていてほしいです。18 時に仕事が終わる会社が多いからそれを終わって迎えに行くという形へ。なってくれればとおもいます。
小児科や皮膚科や外科の医療を（病院）がもう少しあったらいいなと思いました。
保育所での保育士さんのレベルをもっとあげてほしい。
医療費を無料にしてほしい。病児保育をしてもらえる場所を増やしてほしい。幼稚園、保育園、小学校で子どもが熱などで呼び出しがあった場合、代わりに迎えに行き病児保育してくれる場所がほしい。ファミリー・サポート・センターを利用したいと思うが、金額のことを考えると利用しにくい。土日祝で雨の日に遊べる場所がほしい。大きな公園がもう 1 つほしい。晴海公園に人が集中するので…。
用水路の落下防止をしてほしい（大竹駅周辺）（安心して通学できるように環境整備）。
希望の保育園に入りにくい地域があり、保活が大変などと聞きますが、大竹市は、そういうのがなくてありがたかったです。市内の公園施設も綺麗で、遊具が充実していると感じます。病院が耳鼻科や皮膚科が少ないので、どうしても急にかかると、1 時間などの待ちになってしまうので、小さい子どもと行くと、病院に行くのが憂鬱になることがあります。他市町村に行くことも多いです。
産院がなく、出産が不安しかない。0～3 才児への子育て支援が手薄すぎる。母子ともに手助けをしてくれる産後支援施設があってほしい。ベビーシッターをお願いしやすくしてほしい。
病時（親・子）などの一時預かり、経済面での支援、道路など安全に子どもが利用できる街、子ども同士のつながりの持てる街にしてもらいたいです。
病院にかかる 500 円をなくしてもらえると、それだけでもすごくたすかります。
子供食堂、地域のつながりがあるイベントを沢山作ってほしいです。室内で遊べる居場所を充実させてほしいです。
まず未就学児の預かりが日曜、祝日がないのをどうにかしてほしい。仕事は平日だけのところだけではありません。それと、【同居の】親族の介護や通院のためでないと預けられないのも、今の時代ありえないと思う。都会は別居でも可です。今の時代、同居していることは少ないです。そもそも、母子などは別居していないと保育所など利用出来ないはずですが、この方たちが親の介護や通院のために離職した場合、どうやって預けるのですか？認定こども園の幼稚部もありますが、必ず入れるわけではありません。その辺は時代に合わせてアップデートしましょう。私も利用したかったですが、別居のため出来ませんでした。
病院代の 500 円を無料にしてほしい。

記述内容
インフルエンザの予防接種も岩国市のように補助があると嬉しいです。子どもは2回接種…子どもの人数が多いと家計にも負担が大きくなってくるので、少しでも安く受けられるようになればいいのにな…と毎年思います。雨の日でも遊べるような場所があるといいなと思います。
子が1才ぐらいの頃、育休中で孤独感が強く、毎日さかえの子育て支援センターにお世話になってました。コロナ禍だったこともあり、ずっと家にいるとノイローゼになりそうだったので、とても心の拠り所となりました。保育園に通いだしてから心も軽くなり、毎日楽しく子育てしておりますが、今後小学校に入学することで1人の登下校や長期休みの過ごし方が心配で、夫婦フルタイムでいつまで働けるのかと不安に思っております。登下校のサポートや習い事への送迎などファミサポさんの力をかりたいとは思っていますが、なかなか一歩をふみだせずにいます。このような情報をわかりやすく提示して下さるとありがたいです。また、昨今は保育園や学童などで大人から子どもに対する性犯罪も目立ちます。性犯罪歴がある人物は子どもに関わる仕事への雇用を防ぐなど、強く対策して頂くようお願いします。道、歩道の整備（用水路など落ちそうでこわい）通学路の整備、安全の確保をお願いします。
科学館や美術館など、学校外で教育が充実できる施設やイベントの充実をお願いします。
新町に遊べる公園が無いのであるとうれしい。小学生が雨の日に遊べる場所があるとうれしい。
子育て世代の手当を充実させてほしい。まだ危ない道路（通学路）も多い。
産婦人科が来てくれると嬉しい。西医療センターで小児休日診療をして欲しい（岩国医療センターを紹介される）。廿日市のゆめタウンのような大型のショッピングセンターを誘致してほしい（屋内で子どもが遊べるなど）。小方中跡地をボール遊びや自転車用の遊び場として再開発してほしい。
幼稚園の選択肢をさせてほしい。（市立の幼稚園がほしい）幼稚園や保育園の数が少ないと思う、（大規模なものでなくていいので、小規模でも場所を<幼稚園・保育園の>散らばしてほしい。人口を増やすためにも子育てしやすい環境に取り組んだ方がいいと思います。
こどもだけでなく親もいっしょに学べたり体験できたりする機会があると嬉しい。こどものイベントや習い事の間、親も勉強や運動する等お互い時間が有効に使えと、自分の時間ももっと欲しいと感じずにすむだろうし、子育てに余裕が生まれる。
問26などは、1.2.3以外にわからないという回答を作ってほしい。
共働きのため、勤務先への移動時間もふくめ、保育所などの時間外が長くなってくると助かる（開園時間と降園時間を調整してほしい）。
屋内で子どもたち（年少～年長、小学生低学年）が思い切りからだを動かして遊べる施設、居場所を作って欲しい。
図書館や総合市民会館、アゼリア等でなされるおまつりやイベントが多い所は大人も子供も楽しめるものが多く、ありがたく、そしてそこも大竹の魅力だと思います。環境面で耳鼻科や皮膚科など1つしかなく混みやすいのももう少し病院関連が充実したら嬉しいです。
未就学児がいる家庭に夜の集まりはやめて欲しい(子供会、自治会、学校)。

記述内容
習い事（スポーツ）施設、講座の開設や誘致をして欲しい。
HP で得られる情報が少なく、詳細は電話で問い合わせ（イベント、児童館等）となっているため、ハードルが高い。岩国市の子育てアプリのようにカレンダーで各所のイベントがわかり、アプリ内で詳細情報が得られれば利用がしやすい。地域子育て支援事業は、土日祝休みで利用する事ができない。土日祝の屋内遊び場も含め、土日祝利用できると助かる。
物価などが高くて、生活がとても大変です。非課税者とかに色々と支援がいてると思いますが、この物価高で本当に苦しいです。子供はおかまいなしに、あれ欲しいって言うてるし、ダメだよという、泣きさけが。ストレスしかありません。もっともっと、しほりすぎず、平等に支援して頂きたいです。苦しいのは本当に一緒です。大竹は水も高いし、困ってる人はもっともっと沢山います。
給食費免除は非常にありがたい。医療費 500 円を無償化にして欲しい。
療育手帳をもらいに行った際、これに書いてますからと冊子を渡されただけ。使える制度ありますか？と聞けば読んでくださいと。もう少し寄りそえる対応をして欲しい。
公園でボール遊びができるようにしてほしい。保育所の駐車場を広くしてほしい。
未就学児が安心して遊べる公園を作してほしい。小学生などが鬼ごっこをしていると遊ばせるのが危なく感じる。大竹市の保育所で子供が勝手に自宅に帰っていたという情報が入ってきたが、なぜそのような事が起こったのか、大丈夫なのか不安。
夫婦とも市外に職場、フルタイムで働く祖父母と離れた保護者にとって、月～金で習い事をさせてあげることはとても難しい。また、大竹市には習い事が少なく、土日に使いたい時間で習い事をさせる場所、内容が限られています。上の子が小1になるため市外での土日の習い事を検討中です。親の負担は増えて土日ゆっくりできなくなりそうです。
人口減少の対策をし、子どもたちの未来を守るため、持ち家へのエアコン設置補助金を施行してほしい。
大竹市に住んでいるが、市外の小学校に行くため夏休み等の長期休暇の預かりがなく困っています。その点を充実させて欲しい。
もっと子育てについてしっかり考えてほしい
子どもの大学費用に不安を感じている。大型ショッピング施設がほしい。子どもの物が買え、ママ達の子連れで集まれる場所がほしい。
給食費の無償化はとてもありがたいです。医療費を無償化にしてもらえると負担がかからず助かります。
いつもありがとうございます。
10 年何前に比べて、公園などは見通しが良くなり、かなり安心して使えるようになったと感じています。ありがとうございます。子供のインフルエンザワクチンについても助成金をお願いします。

記述内容
0才の子を持つ子育て初心者です。自分自身、大竹市の子育て環境、支援についてあまり把握できていないと思いました。そこで、子育て初心者として思ったのは、市の子育て支援サービスが一目でわかる、情報が一括されたもの（パンフレットやリーフレットなど）、情報収集の入り口になるようなものを子が産まれたときにいただけますといいかなと思いました。今回アンケートに同封されていた支援事業や相談窓口が書いてあるようなものとか。これを見て知るものもありました。
どんぐり HOUSE を毎土曜日あけてほしいです。（今は第2、3土曜があいている）生活のため、とても助かっているので、よろしくお願いします。
保健師さんや栄養士さん、支援センターのスタッフさんなどいつもあたたかく声をかけてくださり、助けて頂いています。健診以外で同じ月齢の子たちと関わる機会があると嬉しいです。これからもよろしくお願いします。
子育て支援センターは土日祝でも利用できるようにして欲しいです。雨や猛暑の日は室内の遊び場がとても助かります。どんぐり HOUSE などもしっかり綺麗で充実している施設なのに平日（たまに土曜）の16時半までなのがあったいんですし、せめて17時までとか、土日祝もあいていたら利用者も助かるのではと思います。
子連れでゆっくり、お母さんがランチを食べられるお店があればうれしい。
とても住みやすい所だと感じています。子育ての環境も、とても配慮が行き届いており、安心して子育てを楽しんでいます。しかし、個人的な意見ですが、子どもが遊べる大きな公園が晴海公園しかないこと、そこまでのアクセスが国道2号線を横断するため、子どもだけで晴海公園に行かせることに不安に思っております。晴海公園ほど大きくなくて良いので、そこそこ大きめの公園がもうすこしあれば、もっと良い街になると思います。
道をもう少し整備してほしいです。ベビーカーで移動することがほとんどで、いつもガタガタしている道でベビーカーが引っかかりとても不便。歩道も大きな道にしかないため、子供が歩きたがっても安心して歩かせることができない。
小方地区に気軽に遊べるキレイな公園が少ない。公園があってもさびれていて使いづらい。遊具もさびている（笑）。2号線付近の歩道がでこぼこしていて、ベビーカーはきびしく、歩かせるのにも気をつかう。保育園の空き状況をHPでみれるようにして頂ければ助かります。
災害時の避難場所に授乳室やおむつ替えスペース、ミルク作り用のお湯などが無いため、気軽に避難できないと感じた。燃やすゴミ専用指定袋を2歳未満の乳幼児がいる世帯に無償で配布しているが、窓口で申請後に引換券が郵送され、再度窓口を受取りに行くのは二度手間である。2歳未満の乳幼児がいる全世帯にあらかじめ引換券を送付し、必要な人だけ窓口を受取りに行くスタイルに変えるべき。
乳幼児から小学生までが一緒に過ごせる屋内遊具施設を増やして欲しい。
小方駅を作ってほしいです！！

記述内容
子どもがいる家庭に2万円の特別給付して下さったのには本当にありがたかったです。本当にありがとうございました。これからも大竹に住み続けたいと思っているのでよろしくお願いします。専業主婦でも入れやすい保育施設が少しでも増やせてもらえたらいいなとも思っています。甘えかもしれませんが…。
多子世帯への支援金、お祝い金がない。岩国市や広島市はあるのに。医療費もかかる。まわりは無料なのに。
岩国市は医療費無料、大竹も支払いは500円までだが、年間を通すと差がある、また病院に行く回数も子どもは多いので医療費無料を目指して欲しい、また経済的な子育て支援が欲しい、非課税世帯への支援ばかりで税金を払っている世帯への支援がない、分け隔てない支援を強く希望する。
男性トイレにもおむつ台がある場所が増えるといい。子供を連れて行けるカフェ（キッズスペースのある）があると嬉しい。
常に祖父母が育児をしている。両親とは別居で一緒に住んだことはない。
1才半、3才半健診時に発達検査も必須で行ってほしい。グレーで悩んでいる時に原因が分かった方がいいし、必須だと抵抗なく受け入れられそう。
大きな公園があり、希望する保育園に入れているので、ほぼ満足していますが、教育面を（特に英語教育）を充実してほしいです。また、発達障害の子に対する窓口が何かしらあれば良いと思いました。
休日診療や急な病気（時間外）の時、小さな子が診てもらえる所がないこと（広島市まで行くことや岩国で高額請求されてしまう）が不安と不満です。また周りの方からも聞くことが多いです。皮膚科や耳鼻科が少ない。待ち時間が長く、行くことをためらいます。未満児の保育料が高い！幼稚園は3歳になったら無料なのに…。パート代の1/2以上2/3かかってます。
小児科の夜間、休日診療。または、岩国(医療センター)の医療費受給者補助。
こどもはTV視聴を（1日2時間以内に！）と言われていますが、保育園では早出居残りの時にTV・DVDを視聴しています。働く親は時間がなく、家ではダメと思いながらTVを活用します。保育園でTV・DVDではない遊び時間を設けてもらえると、こどもの発達にもいいし、親支援になるので助かります。予防接種の一部助成や医療費の自己負担なしなど、経済面の援助があると、子育て世代にやさしいなと感じると思います。
西医療センターの休日診療がなくなり、廿日市市や岩国市まで行かないといけないので困ります。子育てに優しい市になってほしいです。
ゆめタウンのトイレを、赤ちゃん連れが利用しやすいよう、カートやベビーカーごと入れる箇所を増やしてほしい。
医療費:これまで暮らした街より高い。市バス:小学生利用料（できれば大人も）引き下げを希望します。大竹市は車社会ですが、市バスの利用料金も関係していると考えられます。改善により以下の好循環が生まれると考えられます（生活の在り方改善、eco配慮、交通状況緩和、子供の安全）。

記述内容
家の近くに小さな公園はあるが、思い切り体を動かしたりボールで遊べたりする公園がない。近くに小学校があり、以前は放課後や休日にグラウンドへ行って遊んだりできていたが、コロナ以降入れなくなった。しかし、子どもの運動能力の低下も心配である。放課後学校のグラウンドの利用ができないのであれば、子どもたちが思い切り体を動かせる広い場所がほしい。
土日の子育て支援センターをあけてほしい。どんぐりHOUSEが第2、3土曜のみなので、毎週土曜日をやってる日にしてほしい。また、市外の子供も支援センターで一緒にあそべるようにしてほしい。
情報の発信が少ない。子育ての相談をしてもストップがかかったり、解決せずに終わることもあった。何が壁になっているのか分からない。屋内で遊べる施設が欲しい。
大型遊具のある公園ができたり、美術館や、これからは道の駅ができたり大竹の子育ての環境はきっと今から開かれていくのだと感じています。ICT教育や、体験型施設、自然や文化に触れることができるまちになることを期待しています。大竹市は働く人の町、という印象が強く、結婚して引っ越す際に驚いたのがファミリー向け賃貸の少なさです。大野や和木町、岩国を選ぶ人が多いのはこの点ではないかと思います。先日はマラソン大会にも参加させて頂きました。たくさんの方がいらっしゃいましたが、子どもたちの走りに声をかけている人が少なかった印象です。（保護者はもちろん声をかけていましたが）知らない人が応援してくれた、街の人が声をかけてくれたという経験は、特にコロナで触れ合えない・気軽に話せない・お祭りがなかった・外で遊んでない環境で育ってきた子どもたちには大事なと思います。地域の方が子どもたちを応援できるブースがきちんと整っていると嬉しいです。長文となりましたが、娘は大竹が大好きなようで、コイちゃんをよく絵に描いています。実物はないようですが、いつかどこかで会えたらいいなと思います。
子どもの医療費を無料にしてほしい。子どもの夜間救急は舟入まで行かないといけない。大竹市にも子どもの夜間救急を受け入れてほしい。岩国医療センターへ行くとお金がかかるため、どうにかしてほしい。救急車を呼んで舟入がかかりつけでも岩国へ連れて行かれた。子どもの夜間救急は岩国へ行ってもお金がかからないなどにしてほしい。
阿多田島保育園の園児のにじいろ保育園への交流をもう少し増やしてもらえると嬉しいです。
フルタイムで働いていると習い事に行くことができないので、保育園等でできたり、夕方おそい時間からでもできたりする場所が欲しいです。プール等は廿日市や岩国に行かないとできないのに時間が早く行くことができない。サッカーやスポーツも大竹にあっても情報が少なく活動時間が分からないこともあるので、市でまとめて発信してもらえるとたすかります。

記述内容
保育園の先生には本当によくしてもらっています。ありがとうございます。長期の祝日などの間、数日でいいので保育園を利用したいです。年末年始やゴールデンウィークなど全てを仕事休むのは難しいですが、あずける所がなく…そして、利用できる日程など、予定でもいいので早めに教えてほしいです。また、大竹の子育てに関するスケジュール（健診や入学説明会など）の予定をHPでみれると予定が立てやすいです。
子ども1人につき、2人につき、3人につきなどの子育て応援交付金などあるといい。医療費500円がなくなれば助かる。大竹で子育て世帯で家を買ったなら祝い金みたいのがあればよい。子育て世帯パスポートみたいので、大竹市内での買い物で5%オフとかあれば助かる。去年からの給食費免除ありがとうございます。
子供の用事で出掛けないといけない事が多くて、フェリー代が大変なので補助して欲しい。
御園セブン前の交差点の歩行者信号の時間が短いので色々不安がある。子ども110番をしている人など、もしもの時の助けてくれる場所を子どもたちに伝えて欲しい。晴海公園などの遊べる場所が近いのでとてもうれしい。もっと使用しやすくなる事に期待しています。
保育所の待機児童も少なく、大きな公園も整備して子育て支援に力を入れているなど感じる。一方で道路の歩道が狭く、通園・通学時や子どもだけで遊びに行くときは不安を感じる。親と子どもと一緒に自然に触れ合える場として、阿多田島の海水浴場や錦龍公園（錦龍の滝）を復活させてほしい。御園のセブンイレブン前の交差点の信号を押ボタン式にしてほしい。
小方駅早期実現して欲しいです。
様々な補助で助かっております。市役所の職員の方や保育園の先生方もとても良く対応していただき感謝しています。ただ、なかなか2人目、3人目を、新たにこの街で産んで育てようと決心しづらいです。その理由に、大竹市で出産ができる病院がない点や、開業医の種類が偏りすぎており、子育てをする上で全く安心ができていないことが挙げられます。高齢化と人口減少が進む大竹市の隣には公的補助が充実した和木町や医療機関が充実している岩国市があり、余計に差を感じるところです。また、子供を外で遊ばせようにも、交通量が多い通りにもかかわらず歩道の整備がされていない地区があるため、家から送り出す際に毎日不安を抱いて生活しています。金銭的な補助もありがたいのですが、もう少し都市機能の充実にお金をかけていただけませんか。安心して暮らしやすい町になれば、もっと街全体に活気も出て、住民の増加に繋がるように感じます。このまま魅力がどんどん失われていけば、バイパスが開通してしまった際には、人に通過される街大竹市が更に進むような気がしてならず、どんどん街に元気がなくなっていく不安を感じます。
ボール遊びができる公園が少ない。小学校の校庭も子どもたちが放課後遊ぶことができない。道路で遊んでも怒られ、子どもたちは外で遊ぶことができなくなっている。親が毎回車に乗せて送らないと遊べないという環境は子育てしにくいと思う。また医療費も無料にしてほしい。

記述内容
大竹は企業がたくさんあるにもかかわらず、子供達に対しての支援が少ない気がする。明石市を見習っていろいろと改革して欲しい。医療費無料は絶対やってほしい。入学前などはいろいろとお金がかかるので、義務教育の小・中の入学前に、入学準備金などの援助があると助かる。
小学生になったらスポ少に入りたいとはりきっています。しかし、うわさで旧小方中体育館がなくなると聞きました。スポーツを通して、たくさんのことを学んでほしいと思いましたが、途中でそのようなきっかけを失うのなら入れたくないな…と。子どもたちのやりたいという気持ちを大切にしてほしいです。子どもを育てやすい、ずっと住み続けたい市であってほしいです。
幼稚園・保育園の間はまだ問題ないし、特に不満もないですが、小学校になったら色々不便なことがでてくる。働きたくても学童の空きがなく、4年生になると1人で留守番させなきゃいけないことも。いつまでも古い考えじゃなく時代に合わせた制度にしてほしい。廿日市市の方が子育て支援はしっかりしてる…。
玖波エリアに同世代がおらず、さみしい印象。子が産まれる年に自治会の班長をやらされて非常に不満だった。同世代とのつながりが欲しいと思う。
夫婦が二人ともリモートワークで働ける環境ということもあったため、大都市圏よりもはるかに育てやすい町だと思います。
大野にできた施設のような利用しやすいものができたら嬉しい。地域の偏りが大きい。
手当を充実させてほしい。3歳以下の保育料が高いと感じる。無償化してほしい。
土日のイベントを増やしてほしい。
岩国市と同じように出産後に10万円が支給してもらえたり、小・中の給食費が無料になったりと助かります。子供が小さいとフルタイムで働きづらく、パートだと収入も低いので保育料を安くしてもらわないと働く意味がない。3人目もと思うがあきらめてます。自分の子供には将来子どもを作らない方がいいよと思ってしまいます。税金が引かれすぎるので…。
気軽に家事代行を頼める（しかもリーズナブル）市の事業があれば安心なので、もしあるのであれば、もっと発信してもらいたいですし、ないなら一緒に考えたいです。
無料で室内遊びをできる場所がない。夜間や休日の小児救急がない。障害者施設が少ない。このようなアンケートが行われるだけで手当などが出ない。このアンケートはきちんと目を通されていますか？町を変える気があってアンケートを送られていますか？具体的に「〇〇しようと考えているからアンケートを実施」など、住民に協力してもらえるようなアンケート内容にしてはいかがですか？何のためにお金を使ってこのようなアンケートが行われているのかわかりません。
車の免許がなく玖波で子育てをしていました。図書館も公園も近くになく、2号線や6丁目道路もベビーカーには道もせまく、大変でした。せめて公園を小さい子も使える遊具を増やしていただきたいです。

記述内容
大野まるくるのような、子どもを安心して預けられる、明るく素敵な施設が欲しい。LINE 予約できるのもありがたいです。また親子でゆっくり過ごせる図書館が欲しい(騒いでも怒られない、開放感のある個室勉強部屋があるような施設)。子育て支援センターは親が横にいる前提のため、親の自由がない。また、9-18 時広島市内で働く親を想定した保育事業が欲しい。シルバーさんやファミリーサポートは利用させていただきましたが、依頼が手間な面で継続難しいです。まず事前相談が平日昼間なので、気になっていても使えません。ネットやメールでの相談や予約など共働き育児世代に配慮した事業になると嬉しいです。
医療費免除、玖波地区の習い事の充実。
子育て世帯への手当がほしい。出産前後に収入が激減してきついため、仕事に復帰するまでの手当などがあったらありがたい。
医療費がかからないところがあるなか、大竹市はかかるので、子供は病院に行く回数も多いので無料になるとありがたい。
4 人の子どもを育てていますが、保育料の算定基準を見直して欲しい。小学生の兄弟がいるのに下の子が保育園に通うと 1 人目扱いのため高額な保育料を払っています。我が家にとっては保育料がとても負担になっています。米国からの再編交付金で大竹市は潤っていると思うので、第 2 の明石市みたいに子育て支援を充実して欲しいです。
病院の数が少ないため、子供が体調不良の際に連れて行ける病院が少なくて困ります。
水の流れている溝にフタをしてほしい。
地元ではないので、年間の市の行事やイベントなどが何があるのか詳しくないので、子どもと一緒に参加できる行事やイベント等のお知らせなどが配布されるとうれしい。
病児保育を利用するには医師の診断が必要で、前日の早い時間までに予約をして利用しないといけないため、急な発熱には対応できず！ましてや発熱がある場合コロナを疑われ、2 週間後になど言われ、結局利用出来ず会社を休まねばなりません(客相手の仕事のため在宅もできません)。預ける先もありません。
保育園の申込や継続時に記入する書類を毎年同じ事を何度も書くのが手間。赤で修正したり、オンラインフォームで修正しやすくしたりなどしてほしい。同上の書類で、出産時の状況記入欄に、内容が古いものが多い(妊娠中毒症とか)。修正希望。男児の HPV ワクチンの補助。女児にも積極的にすすめるなど、子どもたちの健康を守ってほしい。
公園は充実していても、子供に害を与える可能性(過去にあり)のある方(公園でたばこを吸い、ボイ捨てをする)をそのままのばなしにしているため、子供だけで利用させられず、意味がない。時代は変化しても、地域の子供会や PTA など共働きの親に課せられる役割(内容)は変わらず、子育てしにくいと感じる(大竹祭子供みこしなど参加)。学校の登校時の見守りの方々には大変感謝している(安心できる)。
街灯が少なく、秋から冬になると夕方から暗くなる為、とても危険と感じます。西栄全体や、大竹港までの道路など、暗い場所が多い。

記述内容
支援センターなどは利用させてもらっているが、年長の子など、もう体が大きくなっている子と、0、1才児が同じスペースで遊ぶのが怖いことがある。どうしても、大きい子たちをがまんさせて遊ぶようになるので、16時以降は大きい子が多いなどを理解して来てほしい。時間帯でわかる日とかを作してほしい。
医療費を無料にするなど経済的支援をもっと充実させてほしいし、地区の公園の遊具などが少なかったりせまかったりで思いきり遊べないことがよくあるので改善してほしいです。
過去にファミリーサポートを受けたいと市役所に相談した所、たらいまわしにされたあげく、社会福祉協議会より「そういうはありません」「廿日市に行ってみて下さい。もしくはご自身で探してください」と言われた。もちろん廿日市でも断られたが、廿日市の職員さんの方がよっぽど親身になって相談にのってくれた。大竹市に住民票をうつしたばかりだったので、残念でならなかった。それ以来、大竹市に信頼がない。
経済面の支援を充実してほしい。パート時給が安い。扶養内なのできつい。
子供の通学路の安全面に不安がある。例えば横断歩道で車と歩行者が危険な所が何か所がある。陸橋の老朽化が心配だ。地下道が暗すぎるし、人目のない所で怖い。大竹市は街灯が多い所と少ない所の差が多い。笛ではなく小学生の防犯ブザーの利用を再度考えてほしい。

2. 小学生児童

2-1 その他意見

問4 回答者はどなたか

記述内容
祖母

問6 子どもの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたか

記述内容
父母祖母

問8 子どもの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）か

記述内容
習い事の先生
放課後デイサービス
習い事の先生
大竹市障がい福祉センター
配偶者
役所の家庭相談員
職場の方
医療の訪問サービス
児童デイの先生
塾の先生
兄弟、姉妹

問 11 現在働いていない理由

記述内容
下の子が園に慣れた頃に考える予定。
病弱のため。
介護
子どもの障がい
病気のため。
子供の持病の通院など。
家事以外の事業に専念したい為。
難病の子供がいて病気の特徴上就労が難しい。
重度障がい児を育てているため。

問 18 現在、放課後児童クラブを利用していない理由

記述内容
放課後等デイサービスに通っているの。
祖父母と同居のため。
就労しているが時間外勤務のため入れない。
兄が在宅している。
在宅ワークの為、必要なし。
問題ある児童が多く魅力もない。
夏休みまで利用していて本人の希望で辞めた。
放課後等デイサービスに通っているから。
主に3年生までなので。
子どもの障がい
児童デイの方が子どもに合っていると思うから。
春から中学生の為、留守番、家事等教育の為。
就労はしているが、下校時間前には帰宅している為。
高学年で留守番が出来るため。
同じバスの子供達が医療していないから。
長期休みだと送り迎えが必要→栗谷なので大変。
病気の特徴上心配なので…。
悪いウワサしか聞かないため。よい言い方をしたらヤンチャの子が多いため、まきこまれたくない。

問 19 この1年間に、子どもが病気やけがで小学校を休まなければならなかったことがあったか

記述内容
在宅勤務のため仕事への問題はない。
職場で一緒に過ごした。
専業主婦だから。
在宅勤務をした。
母親が就労してなかった。
兄や、姉がいた。父か、母がたまたま休みだった。
自営である。
二交替のため、休まなくても良かった。
父がテレワークで対応した。
母親が在宅勤務で対応した。
父親が家で仕事をしていた。
父親も同じく罹患した為一緒に休んだ。

問 20 子育てについて、日頃悩んでいることや気になること

記述内容
離婚後、父親が行方不明となり、子供の心の負担が大きい、頼る場が少なく（祖父母の協力が無い）心が不安定にならないか心配。
宿題をしない。
送迎ができないこと。※小学校は必ず送り迎えがいるとのことで先生に言われております。
大竹市では習い事の選択肢が少ない。
宿題が多くて家庭学習の時間がとれない。
食物アレルギー
習い事に対応する時間がない。
子供のインターネットがやめられない。
仕事で帰りが遅いので一人にさせてしまう時間が長いこと。
ボール遊びができる場所がない。身体をたくさん動かして遊ばず、特に男の子を育てるのは環境的に苦勞する。
子
インターネットの利用について、SNSを使わせるかなど。
夫婦間で子育てに関する考え方が違うこと。
スマホの使い方
家での学習時間がなかなかとれない。
仕事と育児の両立。仕事をしているため、家事や育児が満足にできていない点。仕事が残っているのに、育児のために仕事が疎かになる点。

問 21 子育ての中で、喜びを感じたことや良かったこと

記述内容
私と考え方が違い、私の発想にないことを発言してくれる。
かわいい笑顔が見れた時。
三交替の為、学校終わって習い事を連れて行けたり、下校時に他のお子さんと子供がどのように接しているか一緒に歩いてみんなと話しながら帰ることがあります。
上記すべてのため、3 個にしぼれません。

問 22 子育ての悩みなどを次の場所や人に相談したことがあるか

記述内容
県境か、＃8000 に電話した際、山口県につながって不便と感じました。
放課後等デイサービス(IRISA)
友人、家族
言語発達の医療機関
学校
近隣の市の相談窓口
相談する事が特にない。

問 23 子育てに必要な情報の入手先

記述内容
入手しようと思わない。
勤め先
祖母
そもそも必要な情報が何かわからない。
病院・放課後デイサービス
学校からのプリント
特にありません。また、子育てに必要な情報の意味がわかりません。

問 24 市に対して、どのような子育て支援を充実してほしいか

記述内容
子どもの遊び場をしっかり整備してほしい。
離婚した父親から養育費を必ず受け取れる法律とそれに関する簡単な手続き（大竹市に限らず）。
進学の際の電車代の負担が大きい。そこを出してほしい。
下校
日中に子供の送り迎えをして頂ける方がいたらありがたいです。
幼稚園や小学校の先生の指導について指摘しても、話を聞くだけで改善が全く見受けられません。児童や保護者の声が届くようにしてほしい。
安全な給食、無農薬で化学肥料を使ってない野菜や乳製品や小麦粉を使ったものを極力減らして欲しい。
各公園に時計を付けてほしい。音楽を夏の 18：00 ではなく、せめて 17：30 にしてほしい。18：00 は遅い。
小学校のグラウンドで遊べるようにして欲しい。ミニバスのシュート練習や、鉄棒の練習をしたいから。
放課後デイサービスの日にちを増やしてほしい。
進学に向けた勉強を支える場所がほしい（塾など）。
ひふ科が 1 つしかないのでひふ科を増やしてほしい。
ボール遊びや自転車を使用できる公園にしてほしいです。
雨の日 etc 友達同士で集まって遊べる場所が家以外にあると良いと思う。
習い事の充実（陸上、水泳）。
病児保育の利用枠を拡大してほしい。
もっと身体を動かせる場所がほしい（お友達と行けるところ）。
障害のある子も安心して預けられる施設。
ボールあそび、たこあげ、スケボーなどできるところ（既存の公園に柵をつけるなどで）休日受診できる病院。
親と仲悪い家庭の子供が学校で悩みを聞いてもらい、良い方向にもっていける支援があったらと思います。親に相談出来ない子供が気軽に話す場所があれば良い。
医療費など。
女兒に対して生理用品購入費用が欲しい。バカになりませんよ。
バッティングセンターや回転寿司屋さんを誘致してほしい。希望している子供が多い。
小学校のグラウンドを放課後や土日などに使用できるようにしてほしい。のびのび遊べる場所がなくなったので困っている。
長期休暇の給食。食事の提供支援。
親の緊急時に子どもを安心して預けられる施設（急な残業や土曜日出勤など）。子どもがのびのび楽しめる図書館が欲しい（大野まるくるのような明るく騒げる場所）。

記述内容
学校の教員数を増やして、小規模校もすべての子どもたちに平等な環境作り。
ボール遊びが出来る場所がほしい。
冬休み、夏休みの時に児童クラブを利用させてもらってますが、おやつ代1ヶ月1000円払っても、平日毎日取りに行くのは（利用していない時）難しいので、まとめてもらえたらいい。月に3回の利用でも1ヶ月分3500円利用料がかかるので、日割り計算して欲しい。

2-2 自由記述

記述内容
給食費無償化はありがたい。子ども医療費を無償にして欲しい。産婦人科が欲しい。
子ども医療手当や給食費無料などの支援や図書館での本の福袋やつうちょうなどおもしろい取り組みがあり、学校での取り組みなど大竹市の子育て環境には大変満足しています。ただ古いままで歩道のない道路がある、医療機関の少なさ、子供が遊ぶ場所が少ないなど不便な部分もあると思います。
子どもの学びの場（スポーツイベント、学問イベント）をたくさん開催してほしい。
スピードを出す車などが多く、子供を1人で外に出させることができない。不審者情報もあるし、パトロールを強化してほしい。玖波には買い物ができる場所がなく、老人は困る。歩いて行ける距離のスーパーが必要。それができないならコープのような宅配業者をつけ、老人は宅配料無料などの措置をとる。
PTA や子供会の参加を任意にして欲しい。義務は今の状況で協力できない。もちろん、協力できる事はしたいので。
親子で遊べる商業施設を充実させてほしい。古くなった公園を整備してほしい。遊具を充実してほしい。子ども医療費を無償化してほしい。以前、子どもの保育園のことで市の健康福祉課窓口へ相談した際、不親切な対応だったので改善してほしい。期待しています。
子供が安心して遊べる場所や児童館など小学生が遊べる所をもうすこし作ってほしい。放課後児童クラブも選択肢がないためその職員などと合わない場合、仕事を制限しなければならなくなり困る。
給食費の無料はありがたかった。これからの進学に際して、通学の便が悪い。JR が止まるとおわり。もっと市内へ向けてのバスなど整備してほしい。中学校から（私学）学費の補助をしてほしい。
病院にかかる 500 円を 0 円にしてほしい。そこがなくなるだけですごく助かります。
低学年の子を持つ親として、幅の狭い道を通学している小学生の安全の担保が非常に不安。運転スキルが低下した高齢者【自転車含む】も目につくため、道路の色分けや通学路の歩道の確保など、警察と協力ができればより安心して送り出せるように思います。給食費の無償化については大変助かっており、感謝しています。子育て支援の組織については、アンケートまで知りませんでした。
親元が遠い、父親の勤務時間によっては夜必ずいると限らない中、子供会、自治会、学校の集まりが 18～19 時くらいにあるのがかなりしんどい。
働いていないですが、兄弟の参観日や行事などの時に、小学生は預かりがないので困っています。希望の日にちだけで良いので預かりのひかりをして欲しいです。子供が帰るのに間に合わず、1人で待たせている時も不安でした。ふだんはひかりに籍がなくても、年に数回で良いので預かってもらいたいです。
PTA、子供会の活動、会議が負担でした。
インフルエンザの予防接種に多少なりとも補助がでると助かります。特に 12 歳未満は 2 回接種しなければならないので。

記述内容
小学校からスクールSや子供相談室を紹介頂きましたが、以前は日中に親が送るもしくは子供が自ら出向かないといけないもので、かなりハードルが高いものでした。今はソーシャルワーカーの方が週に一回来て頂けよく声をかけて頂いていて、前向きに取り組んでいます！子供相談室にネット環境を作って頂けると通いやすかったかと思います。
フルタイムで働いていると土曜日などひかり児童クラブはなぜか平日は18時半までで土曜日は18時なのがか納得がいけない。土曜日も働いている親、看護、介護、保育等、市役所のように、土日祝日休みではない人の事を考えていただきたい。保育所も同様、なぜか土曜は18時まで。土日祝日は母親は働かない方が良いのか？等子どものあずけ場の時間問題よく考えていただきたいです。
用水路に柵もないため、子どもが用水路に入って枝などを拾っているのをよく見かけます。対策をお願いします。また、通学路にも関わらずガードレールがないところがあります。こちらでも対策をお願いします。
保育所と学童保育の年始年末の休みが一致しておらず、親の休みの調整に苦しんだ。やむを得ず留守番させることも…。毎年どうにかしてほしいと思っています。
子育て環境に力を入れているとは到底思えない。
子どもに対する支援は所得制限なしにするべき。
何をするにも子育ては大竹ではむずかしいと思っています。子供と過ごせる場所が無さすぎると思います。必ず大竹外で過ごしています。小さな子供もなかなか楽しませられる場がなさすぎて他へ行きます。病院も少ないですし、いつも他へ行っています。何もない、不便が正直な感想です…。
通学路にガードレールを増やしてほしい。屋内か雨でも遊べる屋根がついている公園を造ってほしい。
公園で子供が遊んでいたら、ゲートボールをするからと追い出されたことがあります。近くにゲートボールができる所があるにも関わらず。その後、子供たちはその公園に寄り付かなくなりました。
体は食べたもので出来ています、健全な食事は健全な人間を作ります、もはや牛乳や小麦粉は特に日本人にはあわずホルモン剤や農薬が沢山含まれていて健康を害するものだと近年言われてます、古く利権で押し付けられたものを未だに学校に取り入れなくてしっかり勉強して農薬も使われてないような野菜を使っていただきたい。
勉強になる講座(科学館イベント、イングリッシュキャンプなど)が岩国や広島市にしかなく、市外の児童は参加不可のことが多いので安価な料金での参加ができない。夏休みの講座はとても良くて、いつも参加しています。
大竹市の将来に繋がる定住促進のため、近隣自治体と同程度以上の施策を希望します。具体的には、高校生までの医療費無料化や、岩国基地関連のエアコン設置補助金などを検討してもらえるとありがたいです。
屋内で体を動かして遊べる施設、居場所を作してほしい。

記述内容
水路が多く、自転車などで通行する際、落ちる危険を感じます。特に深く幅の広い水路には蓋をしていただきたいです。
保護者への支援ではなく、直接子どもに支援できることを増やしてほしいです。
サッカーや野球で遊べる公園が少ないから、出来る場所を増やしてほしい。放課後、学校も週1回ぐらい遊べたらいい。
以前、放課後児童クラブを利用させてもらっていて思ったのですが月額利用料金を利用日数で決まればいいと思いました。学年が上がるごとに、6時間授業が増えて児童クラブで過ごす時間が減るので6時間の日は利用しなくなります。利用日数が減っても月額なので払うのがもったいなくなります。けれど、土曜日は利用したいから児童クラブを辞めるまでにすごく悩みました。土曜日のみの利用ができて金額も割安だと助かると思いました。結局、利用日数と金額が割に合わなくなりもったいないと思ったので辞めました。本人の自由に遊びたいという希望もありました。もう少しいろいろなパターンの利用の仕方と金額があると幅が広がるなあと思いました。まだ、下に年少の子がいるのでその子が小学生に上がる時にまた利用させてもらいたいのでその時には、幅が広がっていればいいなと思っています。
道路は狭い所があるので、歩道は整備してほしい。チャイムは夏でも17:00または17:30にしてほしい。学童の中で習い事が出来るとうれしい。学校で絵の具セットや習字セットを洗って保管できるようにしてほしい。学区備品(制服)を土日でも買えるようにしてほしい。阿多田島の海水浴場や錦龍公園の復活させてほしい。小方駅の設立(習い事に行きやすい)。
他県から転入してきましたが、大竹の道路の舗装の悪さにびっくりしました。子供達が安心して自転車に乗れるように安全な道路にして欲しいです。子供が思いっきりボール遊びできる公園がないので、せめて小学校のグラウンドを休日使わせて欲しいです。前に住んでいた地域では休日もグラウンドを開放していました。よろしくお願いします。
子どもの登校時に、通学路に要所立ちして下さっている栄町等の方が気さくに声をかけてくれたり、気にかけてくれたり、とても感謝しています。子どももおじちゃん達が大好きです。
小学校のくつの色まで指定されるのが大変です。冬は男女も関係なく、長ズボンを許可してほしい。よくコケるのにスカート、半ズボンだと傷が深くなるので…。ヤマザキデイリーから大竹小までの道の歩道がせまいので、たまに車で走る時にヒヤヒヤするので考えてほしい。
ボールを使える公園を増やしてほしいです。大竹市中心部にはない。栄公園や晴海公園まで連れてサッカーをしていました。ほとんどの公園はボール使用禁止でどこでサッカーをすれば良いの?という感じでした。子どもが小さいとき、土・日で熱が出た時、市内で診療してくれる所がなくて困りました。西医療センターも断られ、岩国の方へ回ってくれと言われました。せめて西医療センターで子どもをみてる体制を取ってほしいです。寒い日に高い熱を出した小さな子供を行った事のない病院へ連れて行くのは大変でした。
病院代を無料にしてほしい。

記述内容
子どもの大学費用に不安を感じている。大型ショッピング施設がほしい。子どもの物が購入でき、ママ達の子連れで集まれる飲食店があればいいと思う。中学生、高校生などが遊ぶ施設が近くにほしい。
大竹市の情報は遅い。X（旧 Twitter）などでタイムリーにどんどん情報を上げて欲しい。FB などたまに何か載ってるだけで、あまり見ても意味のあるものはない。例えば今、何をやっていてどういう状況であるとかどんどんアップして欲しい。コロナの時など特に近隣の市町村の X（旧 Twitter）をやっているところは、情報がタイムリーで対応も早かった。大竹市はそういうのが無く、こちらから役所に出向かなければ何も分からないケースが多い。時代に合わせて受け身ではなく、どんどん自ら情報発信してってください。例えば、その昔、西医療センターの夜間を含めた小児科の受信可能時間変更など大きくありましたが、そういうのも年1の健診に引っかかる方にしかプリントで配られないなど、全くタイムリーでもないし、市内の生活に必要な情報共有が全くされていない。もっと真剣にやって欲しい。
ボール遊びができる公園を増やしてほしい。
もう少し気軽に子育てなどの悩みを相談できる場があるといいと思う。特に悩んでいる親の気持ちを軽くできる場があると、結局子供にもいい方向に対応ができるから。会議室のようなところではなく、カフェのようにくつろげる場が一番親も参加しやすいと思います。
小学校と中学校の教師の一部に不満あり。
子供にとって安全で安心して生活できる市であってほしいし、それは親達とも密に連携して作っていく必要があると思っています。行政だけでなく、本当に必要としている事を子そだて世代と一緒に考えていくべきだと思います。
もう少し経済的支援があれば、子どもにしてやれる事が増えると思います。（習い事、イベント行事への参加等）検討よろしくお願い致します。
岩国には夏に無料開放する屋外プールがあるが、大竹は小学校でもプールが使えず、水遊びをする所がない。小方小のプールまでも遠いし、公園にあれば子どもは喜ぶと思う。海も近いし、海水を使えたりすればよいのに。
子どもの医療費を無料にして欲しい。給食費無料化はこのまま続けてほしい。給食はほぼ全て手作り（出汁やゼリーなども）と聞いて素晴らしいと思うので、このまま続けてほしい。自治会の仕事、子供会の仕事、PTA など、負担が大きすぎる。
何らかの理由で小学校、中学校又は高校に行けなくなってしまった場合に学校の代わりに通う同等の教育などを受けることができる教育機関があればいいと思う。
岩国市と同じようにしてほしい。例えば、インフルエンザワクチン接種のお金をタダにするとか、医療費タダとか…。
病院が少ない。特に、耳鼻科、皮膚科を増やしてほしい。
子育ての環境に関係あるかどうか分かりませんが、屋内プール（1年中開設している）が、大竹市にあると利用したい（子供が…）と思いました。放課後児童クラブ以外で、学校帰りに寄れる施設がもっとあると助かると思います。（習い事、勉強などができる等）

記述内容
インフルエンザワクチンの助成をしてほしい。
公園等はよく整備されていると思いますが、その他特に子育てで支援されているなど感じる ことが無い。
近所の公園で年配の方がゲートボールをしており、遊具なども何も無いためゲートボール専 用の公園の様になっている。野球のボールとバットを持っていると、禁止だと言われた事が ある(柔らかいボールと、プラスチックのバットで、小学校2年生頃の話)。
岩国市や和木町と比べると劣っている面もあると思う(支援面で)。ボール遊びができる公 園があまりないので、学校のグラウンドを開放して欲しい。大竹市が今後も存続していくた めには子育て支援の充実が必須だと思うので、よろしくお願いします。
本当は今すぐでも働けるなら働きたい！！でも、現状、一度子育てでやめてから職を探すの は難しい。働きたくても働けないママはとても多いです。
児童クラブを土曜日のみ利用させてほしい。平日は利用しない枠がほしい。土曜日のみ、高 学年の子の預け先があれば、1日中放置することなく、見守ってもらえると仕事をしていて 安心。
こいこいクーポンをまた配ってほしいです。
所得制限なしの支援をして欲しいです。
習い事の選択肢が少ない。岩国や廿日市まで通うのは親が動く必要があるので難しい面があ る。皮膚科と耳鼻科が1軒ずつしかないため、病院の誘致を積極的にしてほしい。晴海公園 やさかえ公園は比較的きれいにされているが、そのほかの所はあまりきれいとはいえない。
伸び伸びできない。公園で遊ぶ事を老人にとっても遠慮している。すぐに苦情が入る。老人優 先で息がつまる。
習い事(スポーツクラブ)施設の誘致をしてほしい。※まるくる大野みたいなもの。
通学路のアスファルトを色付けして欲しい。街に街灯が少ない。
県が違うが、岩国市と比較すると少し不足しているように見えてしまう。(インフルエンザ 予防接種、医療費負担…)しかし、支援はあるので大変助かっています！
玖波3丁目の公園のトイレがきたない、くらい。子どもがいやがります。アゼリアホールの 前で、子ども達があつまっている。スケボーをしたりと、やめてほしい。アゼリアで卓球、 バドミントンの教室があるとよいな。
他市町村と比べ、シルバー世代よりも子育てに関心を持った行政だと思います。現状に不満 はありません。今後がんばっていただきたいです。
給食費の全額支援、とても助かります。子どもたちも給食がおいしいといつも言っています。
一人親にとってはもう少し金銭面を充実させてほしい。働き場所も少ない。同居(祖父母) していると一人親には厳しい。
ボール遊びができない公園が多く「ボール遊びをしていたら、怒られた」という話を色々 な所から聞きます。主に年配の方が、子供たちに対して厳しいと感じます。もっと、伸び伸 びさせてあげたいと思います。もちろん、子供が悪い事したら、注意して頂く事は賛成で す。ルールを守りながら、しっかり外で遊ばせたいです。

記述内容
交通事故が起こってます。子供に配慮した環境や施策の考案をお願いしたい。市の未来にとって子は宝のはず。まずは危険な箇所を洗い出して無理な運転をさせない交通環境整備を進めて欲しい。
小中高等学校の活動状況（部活が何がある等）が分かりにくい。進学する時に用意するものやそれにともなう金額を早めに（できれば HP などを目安の金額が分かる）教えてほしい。制服一式、かばん等そろえるのにもかなりの金額がいるのに、分からないので不安。おさがりがもらえるような人もいないので、制服等のリサイクル品を安く買えるような場所ができるととても助かる。大竹小で昔 PTA がやっていたが、コロナ等でなくなった。市の主導でやってもらえると買いに行きやすい。（イベント等でしか販売がなく、買うのがむずかしかった）いつでも行ける所がほしい。
木野には安心して遊べる場所がほとんどありません。木野小学校跡地のグラウンドに遊具などを置いて子供達が集まって遊べるようにして欲しいです。
もう少し、気軽に遊べる場所ができて欲しい（屋外、屋内ともに）。
所得によらず経済面でのサポートが欲しい。
屋内で遊べる施設がほしい、雨天時。
1. 休日や放課後、子どもだけで遊ばせようと思っても家の近くに友達がいなかったり、手ごろな公園がなかったりします。授業後に校庭などで遊べたらいいと思います。2. 子どもは幼稚園出身ですが、大竹市には公立の幼稚園がないため選択肢がありません。保育園の子と比べると毎日の弁当作り等があり、負担感がありました。また、保育園に通う方から給食で色々なメニューが出るから助かるという話を聞くと保育園を選択できた家庭はいいなと思いました。週に何日かでも給食センターなどから給食を出してもらえるといいなと思います。（幼稚園自体には不満はないですが…）3. 給食費をいくらか家庭負担にしてもいいので、もう少しくだもの（デザート）や牛肉などがメニューに出てほしいと感じます。
夜間救急を充実させてほしい。
給食費や医療費はとても助かっています。ありがとうございます。学校が急に休みになった場合、近くに親がいないため預ける場所がなく、兄弟に面倒をみてもらうという事もあり、子供達だけで家に居る事があるので、安心して仕事に行けるような環境があれば良いなと思います。
子供のインフルエンザ予防接種の補助をしてほしい。他の市や県では補助があって羨ましいです。
医療費：これまで暮らした街より高い。市バス：小学生利用料（できれば大人も）引き下げを希望します。大竹市は車社会ですが、市バスの利用料金も関係していると考えられます。改善により以下の好循環が生まれると考えられます（生活の在り方改善、eco 配慮、交通状況緩和、子供の安全）。
小児科の夜間、休日診療。または、岩国(医療センター)での医療費受給者補助の適用。

記述内容
障害児に関する支援が全て活用できているのか分かりません。情報が正しく受け取れているのか疑問です。また大きな公園等ありますが、いつも健常児さんがたくさんいらっちゃって遊びにくい印象です。障害のある子でも安全に楽しく遊べる場所があればと思います。障害のある子を抱えて仕事も思うようには出来ません。しかしお金は育てるのにどんどんかかりますし、なかなか生きていくのが大変です。
放課後や休日、学校の運動場を開放してほしい。
年末など他の市では保育園がない時でも通園できるようにしていただいて本当に感謝しています。臨時の手当てなどの振り込みも大竹市はとても早く、またコイちゃんクーポンなどの支援もとてもたすかっています。色々考えていただいてありがとうございます。希望としては、年末、ゴールデンウィークなどの長期の祝日など、1、2日でもいいので保育園や小学生が過ごせる場所を作してほしいです。また、利用できる日程などなるべく早くスケジュールを教えていただくと、会社に伝えやすく、子育て、仕事の両立がよりよくできると思います。
商業施設は充実しているが、病院・クリニック数に不満あり。例えば、産婦人科がない。これだと産めないと思った。婦人科もないに等しい。3人目は諦めざるを得ない。通院費 2000 円に疑問。皮ふ科、アレルギー科などがあってもよいと思う。歯科はもう増やさないで…。公園整備が中途半端…。特に晴海公園。雨や天候に左右されない遊び場が必要。市役所の福祉課などは行きづらい。プライバシーに配慮できていない。もう行くことはないかなと思います。相談機関が紹介されていても敷居が高く、最初の一步が踏み出せない。このアンケートは何か意味がありますか？児童クラブは 18 時半まで開会しています。書き方が 24 時間制でとありました。19 時とはかけないので 18 時で書きました。(保育所は 19 時まで預かってくれるようですが) 返信用封筒、のりづけしたり、テープでとめるのが手間。両面テープなどはって下さい。子育て世代は忙しいのです。
ボールを使ったらダメ、公園なのに大声で話したらダメ、学校のグラウンドを放課後に使ったらダメ。禁止ばかりで子供が自由に遊べる場所がありません。だから、家でとじこもってゲームばかりになる。運動不足で体力も落ちる。不登校の子も増えたり、良くない方向にいつてしまいます。子供は遊びながら学べることがたくさんあります。もっと自由に子供だけで遊べる環境を整えてほしいです。老人だけが住みやすいまちでいいのでしょうか？少子化がどんどん進んでしまうのではないのでしょうか？厳しい意見ですみません。
街灯が少ないので、子供が部活をして帰って来る時間には真っ暗で、子供も怖がっている。学校でのお金のかかる決まり事が多い。白いくつでないとダメや白ソックスでないとダメなど。白はすぐに汚れるのにあえてすべて白じゃないとダメな理由が見当たらない。放課後や休日に学校で遊ばせて欲しい。小方地区にバスケットゴールのある公園がない。
学校へ行けない子の居場所が、あってないようなもの。こども相談室も今は計 4 名ぐらいしか子供がいけないし、廿日市市のようにフリースクールや、学校での教室以外の居場所をもうけてほしいです。大竹小は教室に入れない子が過ごせる場所があるけど、小方小にはない。改善願います。

記述内容
急な発熱でも市の休日診療は子どもは断られて、舟入病院まで行きとても困った。徒歩で行ける公園の中にボール使用できる場所がなく、車で連れて行く必要があり、子どもがかわいそう。
うちの子は発達障害グレーゾーンで、学校では支援級に通っています。学校での障害児への対応は良くていつも感謝しています。(手帳等を持っていなくても支援級に入れるところ、支援級に属していても通常級との関わりがあるところ、支援級の先生方や支援員の方々の対応が手厚く児童をきちんと見てくださるところ等)強いて言えば、障害児に対する運動療育を充実させてほしいです。
通学時の横断歩道には毎日年配の方が立っていらっしゃる地域は他ではあまりありません。大竹市はとても良い場所です。子供も親も家庭で悩む方が多くいると思うので、気軽に相談、解決はムリでも聞いてもらえる場所があったらと思います。去年4月に児童係の方に悩みを聞いて頂きありがとうございました。
物価高騰により、共働きでも生活は苦しいです。できれば経済的支援をお願いしたいですが、難しいと思います。なので、せめてコイちゃんクーポンを定期的に発行していただけると助かります。
トライアルやコスモスなど生活が助かるお店が増えてとても嬉しいです。せっかく大きな公園もあるので、古くなってきたゆめタウン大竹を建て替えるか、新たな施設にしたり出来たら、もっと人も増えるだろうなと感じます。
小方ヶ丘ですが、バスがないので子供達、車のない人達に不便な気がする。また、工事も今している為、道も坂の為、割とあぶない。
我が家の近くの公園ではボール使用禁止、リップスティック禁止など、自分の子供の頃と比べると制限が多く子供のびのびと遊べる場所が少なくなったような気がします。
給食費が無料なのは大変助かります。ありがとうございます。
令和10年に旧小方中体育館がなくなるという話を聞いた。スポーツを通して、たくさんのことを学べるができると思うが体育館がなくなること、そのきっかけがなくなってしまうのではないかと心配しています。子どもたちのために、体育館を完全になくすことはやめていただきたい。
子供もインフルエンザなど補助金が欲しい。
放課後の居場所として、児童館があると良いなと思います。
物価高になってしまい、子どもに我慢させることが増えてしまった。大手の企業などは賃上げや手当がつくが、中小企業はそうはいかない。また、母子や低所得者からは市から支援が受けられて助かっていると聞くが、それに入れずぎりぎりのラインでもらえない人が一番しんどい生活を送っているのではないかなと思う。子どもに対しての支援は平等に行った方がよいのではないかなと思う。必要ないと思う人は自ら断ると思う。そこを考えてほしいと思う。
子供の医療費を無料にしてほしい。子育て世帯への手当がほしい。前年度に比べて、収入が激減した世帯の手当がほしい。出産などで収入がない間、きつい。

記述内容
小学校のグラウンドで以前はサッカーをして遊んでいたのに、コロナの時期に閉鎖されて、結局近所の公園ではサッカーをしてはいけないと言われ、子どもが自分で行って遊べる場所がなくなった。以前は学校に行けばとりあえず誰か友達が来るから行ってくる！！（休日や放課後は）という感じだったのに、その場もうばわれて、近所の小さい公園で鬼ごっこをしては怒られ、本当にかわいそう。結局、家でゲーム、という悪い方向に進んでいます。夏休みのプールも保護者がついて行かないとそもそも行けなくなったし、子どもたちの遊ぶ場所がどんどん家の中になっています…。総体での卓球が無料なのはすごく助かっています！！
公園などルールが多すぎて遊べない。学校グラウンドも放課後、休日は利用できないので、子供が自分達で行って気軽に遊ぶ所がない為、家でゲームが主流になっている。（ボールを使った遊びがしたいと言っている）
子供が大きくなるにつれ、通学費の負担が大きくなるので、遠方に通う学生支援が欲しい。駅の駐輪場高くないですか？他の市にくらべ割高。大きなショッピングモールがあればうれしい。就労施設も増えて母親が働きやすい。小方駅の駅計画を早く進めて欲しい！！玖波駅までの道がわかりにくいし、危険箇所が多い。
阿多田へ帰る船の時間まで学校の待機室で待たせてもらうのですが、管理者がいない為グラウンドにも出られず（子供の安全の為だと思います）、長いと数時間こもりきりなので図書館が利用できたりとかボードゲームを置いたりとか（誰が管理する？となると思いますが）、もう少し気にかけてやってもらえると嬉しいです。フェリーの往復も毎日1時間あるので、ひま～でも外に出たらダメ～な時間が長いのは子供にとってはけっこうな苦行かなと思います。
病院代や発達障害の支援などをもっと充実させてほしい。
子供が産まれたのに、何カ月たっても保健師さんの訪問が全然なくて、いまだに疑問です。病院の方から保健師さんから連絡があるから自宅ですずっと連絡あるまで待っていたんですけど、何もなくて不安でした。下の子は小学生ですが、子育てに関することが分かりません。
所得制限をかけて支援の対象外にしないで欲しい。所得が多い分、税金は沢山払っています。子供を育てるのにお金がかかるのは皆一緒です。取られるばかりでしんどいです。
小学生まではいいが、中学・高校になった際に小方駅があると非常に助かる。
自然も充実しているが環境整備が整っていない。近場で錦龍の滝等あるが沿道や川沿いを整備すれば、大型連休も大竹で過ごせる。自分も大竹で育った為、大竹の良さを伝えたいが、大型ショッピングセンター等、子供が楽しめる場所は市外の為、休日は市外に出てしまう。建設中の道路も歩道が無く、子供達だけで遊ぶ時は不安。
生理用品の無料配布ではなく「購入費用」の支給をしてほしいです。子供が安全に登校できるよう、その時間に合わせてもっと見回っていただけたらうれしいです。
家庭や子どもの状況によっては、その後のアンケートに答えなくても良いような配慮をしてもらいたかったです。今の私には子育てする中で喜びなんかありません。

記述内容
今まで使用できていた小学校のグラウンドが使用できなくなって子供達の遊べる場所がなくなりすごく困っている。のびのび運動できる環境ではなくなったので、家にこもりがちになって困っている。グラウンドを自由に使用できるようにしてほしい。
大竹市内での出産が出来る場所があればと思う。
ジェイボード、スケボーが出来る広場がほしい。こいこいバスのバス停を小方位にあったら便利。小方2丁目から小方ヶ丘北辺りの周辺に街灯を増やしてほしい。
ボールを使用できる公園がない。晴海公園がキレイになってきていて、遊ぶのにとっても良いです。今からの変化に期待してます。
最近ではボール遊びなど自由に遊べる場所が少ない。その為、家の中で遊ぶ子が増えている。体力低下、仕方ない。体を動かす遊びを楽しめるような場所が少ないから。
スポ少等での団体の大竹総合体育館のアリーナの利用料金の値下げを希望します。
スポーツ施設の充実。大竹総合市民会館は冷暖房設備がない。今どきありえない。晴海運動公園球技場は芝生が長すぎて足がとられケガのリスクが高い。きめ細かな配慮が無い。
子育て世代に行われるイベントが平日の日中ばかりで仕事を休まないと参加できない。土日の開催も検討してほしい。
晴海公園で遊ぶ子供の躰が悪く、子供を安心して遊ばせられない為、市外の公園まで遊びに行っている。子育ての支援であれば、親に対しての教育も考えてもらいたい。
子育てに関する様々な悩みのテーマごとに、講座や相談会を開いてほしいです。(性教育、食事、成長段階ごとの接し方の変化など) また、土日に開催してほしいです。
仕事をしていると習い事等させてあげられない(時間的に送迎の都合で)ので、保育所や児童クラブでの課外活動(英語、体操、スポーツ教室、ダンス、習字等)を取り入れて欲しい。オプション料金がかかっても良いので。
LINEで大竹市の児童の様々な情報を調べてほしい。
共働きの親が安心して育児ができる自治体になって欲しいです。転勤してきた同僚には大竹市をおすすめできず、心苦しいです。廿日市大野まるくるのように、土日子ども達が明るく集まれる安全な場所があるとよいです。フルタイムで広島市内で働く親を想定した子育て支援をお願いしたいです。シルバーさんやファミリーサポートを使いたくても、平日昼間に相談する時間はなく、ネット相談や予約に対応して欲しいです。公園に不審者が入らないような、柵で囲われた安全な遊び場が欲しいです。(こどもだけで公園に行かせるのが不安)。子どもが自転車で遊びにいけるような道路整備をお願いします。サマースクールなど良い事業はたくさんありますが、親の送迎必須では働く親は使えません。有料でも送迎セットがあるようなまたは一日預かってくれるような事業企画をお願いしたいです。子育て世代におすすめできる大竹市になると嬉しいです。
子ども食堂を充実させて欲しい。屋内・屋外で子供が安全に遊ぶ(いつでも)場所を充実させて欲しい。
玖波地区に関して、公園が古くてさみしい。子どもが集まらない。
公園の設備などを充実させてほしい。

記述内容
教育費の無償化を希望する。
学校以外(校区内)、年齢関係なく安心・安全に遊べる場があればいいと思う。玖波小、玖波中は少人数ですが、少人数だからこそできる学習面活動をもう少し充実したものにして欲しいです。
大竹市全体でというより、栗谷地区での意見です。
経済的負担の軽減。インフル等の助成金など。安心して暮らせる町にしてください。栗谷など山間地域の子供が増えるような取り組みをしてほしい。
小学生以上の年齢の子供が遊べる屋内施設があったらよいと思います。天気が悪い日が続くと、ゲームばかりになってしまうので、児童館のようなものがあると体を動かして遊べると思います。英語のタブレット学習なども積極的に取り入れてもらえたらいいと思います。
医療費の補助が非常にありがたい(500円の件)。
金銭面の支援が多いと助かります。
隣町の岩国市や廿日市の方が充実しているように思える。習い事の数や習いやすさ等。2号線や線路があるので、低学年は注意しないと危ないし、道が悪い。
大竹市は少し田舎で、人口が少ないので公園等そんなに混まなくて良いと思います。海と山が近くて便利で良いと思います。小方小学校だけ遠足に下瀬美術館に行くのは不公平だと思います。市内の小学校すべて行くべきだと思います。大竹小学校のプールにも、屋根があった方が良いと思います。小方小学校と同じようにして下さい！！
ひかりに入れたいと思うが、よいウワサを聞かないので、夏休みなどに利用したいと思うが、何かめめ事にまきこまれたくないと思って利用できない。家で子供たちだけで留守番させることが多くなり、仕事でもよく電話をし、なかなか仕事にも支障が出る。
R5 年度は給食費を大竹市が負担してくれてとても助かりました。このまま支援が継続してくれることを願います。
夏休み中、体力がありあまっている子どもが、玖波公民館を利用させてもらい、運動させてもらえる環境はとても有難かったです。また、子ども同士のみでの利用もOKなことにも共働き夫婦にとっても感謝です。季節問わず利用できる施設が増えると子どもの居場所ができるのでご検討頂けたらと思います。
給食費無償化はありがたい。子ども医療費を無償にして欲しい。産婦人科が欲しい。
子ども医療手当や給食費無料などの支援や図書館での本の福袋やつうちょうなどおもしろい取り組みがあり、学校での取り組みなど大竹市の子育て環境には大変満足しています。ただ古いままで歩道のない道路がある、医療機関の少なさ、子供が遊ぶ場所が少ないなど不便な部分もあると思います。